

坂出市
子ども・子育て支援に関する
ニーズ調査結果報告書

平成 26 年 3 月

目 次

I	調査の概要.....	1
1	調査目的.....	1
2	実施要領.....	1
3	報告書の見方.....	1
II	就学前児童保護者対象調査結果.....	2
1	回答者の属性.....	2
2	子どもの育ちをめぐる環境について.....	5
3	保護者の就労状況.....	11
4	平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について.....	16
5	土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について.....	25
6	病気の際の対応について.....	31
7	不定期の教育・保育事業及び宿泊を伴う一時預かり等事業の利用状況.....	37
8	地域の子育て支援事業の利用状況.....	43
9	小学校就学後の放課後の過ごし方.....	50
10	育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について.....	58
III	小学生保護者対象調査結果.....	69
1	回答者の属性.....	69
2	子どもの育ちをめぐる環境について.....	72
3	保護者の就労状況.....	76
4	病気の際の対応について.....	82
5	不定期の教育・保育事業及び宿泊を伴う一時預かり等事業の利用状況.....	87
6	放課後の過ごし方.....	90
7	育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について.....	97

I 調査の概要

1 調査目的

本市では、平成27年度から本格施行される予定である「子ども・子育て支援新制度」に向けて、「坂出市子ども・子育て審議会」を設置し、子ども・子育て支援事業計画の策定など、新制度に向けた準備を進めているところです。

この度、本市では、計画策定に係る基礎資料として、就学前児童・小学生の保護者の方を対象に子育て状況、教育・保育ニーズ、子育て支援サービスの利用状況等を把握するため、「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」を実施しました。

2 実施要領

- 調査地域 坂出市全域
- 調査対象 坂出市内在住の「未就学児」のいる世帯・保護者（就学前児童調査）1,500人
坂出市内在住の「小学生」のいる世帯・保護者（小学生調査）500人
- 調査期間 平成25年10月
- 調査方法 住民基本台帳を基に対象児童のいる世帯を無作為抽出し、郵送配布・郵送回収
- 回収結果 就学前児童調査 754件（回収率：50.3%）
小学生調査 241件（回収率：48.2%）
調査合計 995件（回収率：49.8%）

3 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において、「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
- グラフ及び表の「N数（number of case）」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。

II 就学前児童保護者対象調査結果

1 回答者の属性

問1 居住地区（単数回答）

- 居住地区は、「東部地区」が最も高く（15.4%）、次いで「林田地区」（12.5%）、「中央地区」（12.3%）となっています。

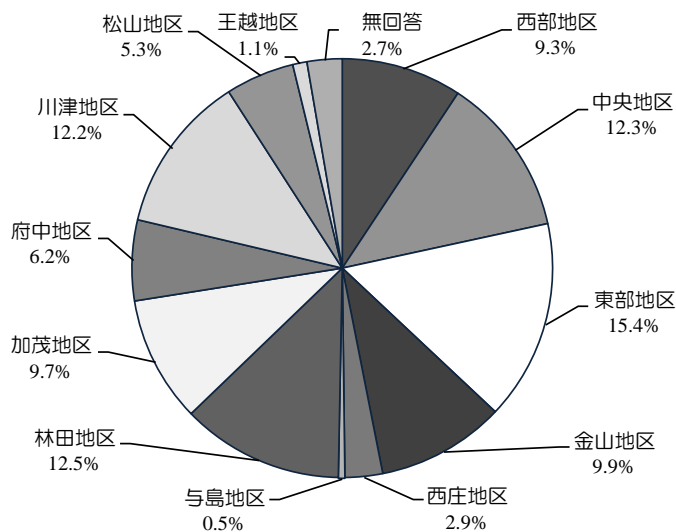


図 居住地区 (N=754)

問2 対象の子どもの年齢（数量回答）

- 子どもの年齢は、「5歳」が最も高くなっています（20.2%）。

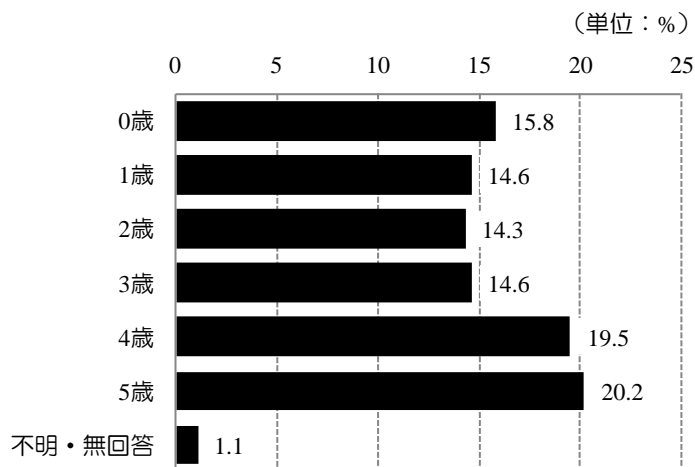


図 子どもの年齢 (N=754)

問3 子どもの人数及び末子の年齢（数量回答）

- 子どもの人数は、「2人」が最も高くなっています（43.6%）。
- 2人以上の場合、末子の年齢は、「0歳」が最も高くなっています（28.8%）。

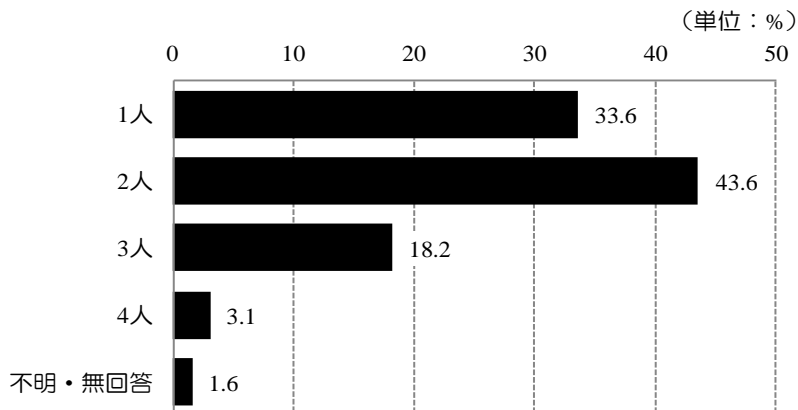


図 子どもの人数 (N=754)

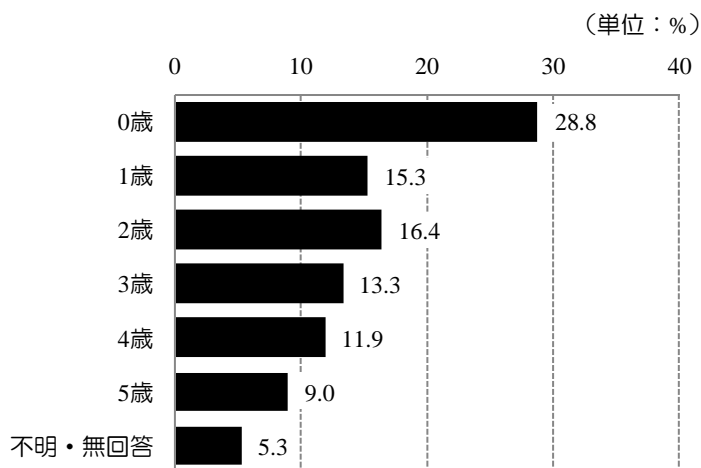


図 末子の年齢 (N=584)

問4 調査票記入者（単数回答）

- 調査票記入者は、「母親」が最も高くなっています（93.6%）。

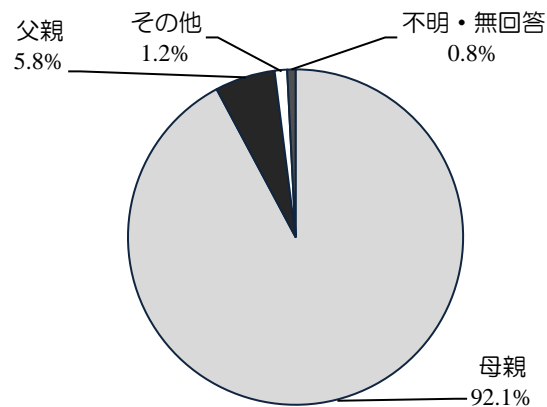


図 調査票記入者 (N=754)

問5 調査票記入者の配偶者の有無（単数回答）

- 調査票記入者の配偶者の有無は、92.7%の方が「配偶者がいる」と回答しています。

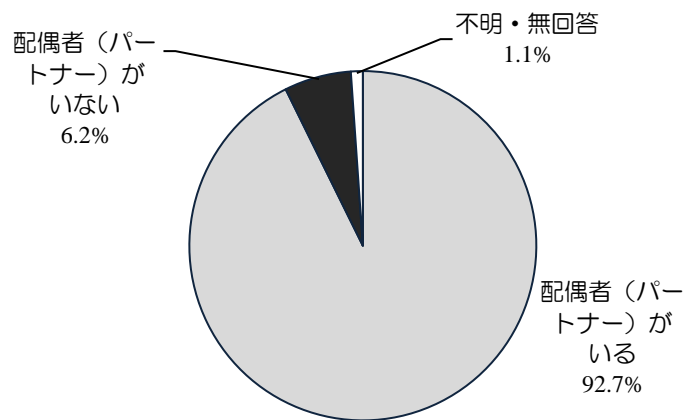


図 調査票記入者の配偶者の有無（N=754）

問6 子どもの子育て（教育含む）を主に行っている人（単数回答）

- 子どもの子育て（教育含む）を主に行っている人は、「父母ともに」が最も高くなっています。（56.2%）。

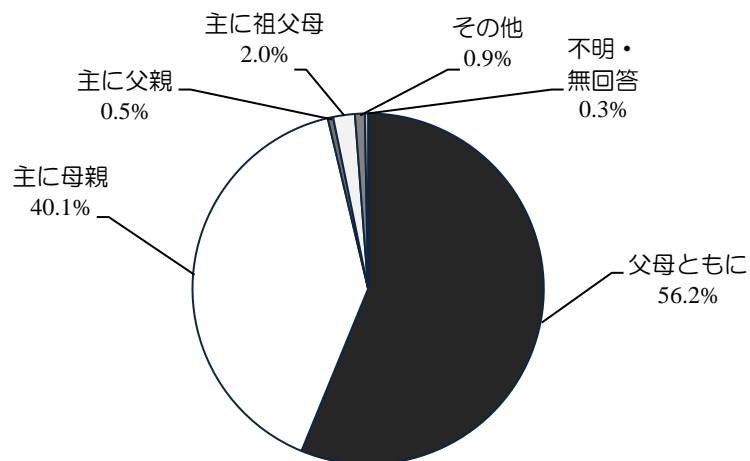


図 子育てを主に行っている人（N=754）

2 子どもの育ちをめぐる環境について

問7 子どもの子育て（教育含む）に日常的に関わっている人（複数回答）

- 子どもの子育て（教育含む）に日常的に関わっている人は、「父母ともに」が最も高くなっています（57.4%）。

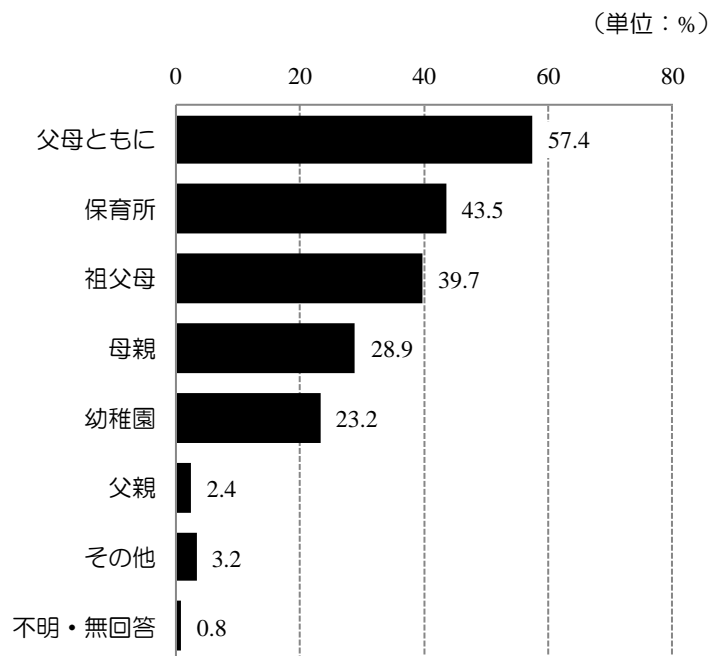


図 子育てに日常的に関わっている人 (N=754)

問8 子どもの子育て（教育含む）にもっとも影響すると思われる環境（複数回答）

- 子どもの子育て（教育含む）に、もっとも影響すると思われる環境は、「家庭」が最も高くなっています（88.7%）。

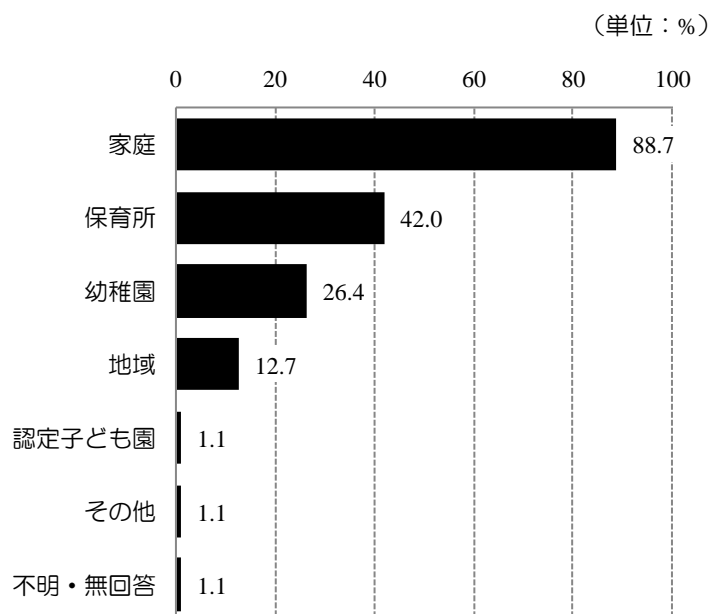


図 子育てに影響する環境 (N=754)

問9 日頃、子どもをみてくれる親族・知人の有無（複数回答）

- 日頃、子どもをみてくれる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が最も高くなっています（52.1%）。

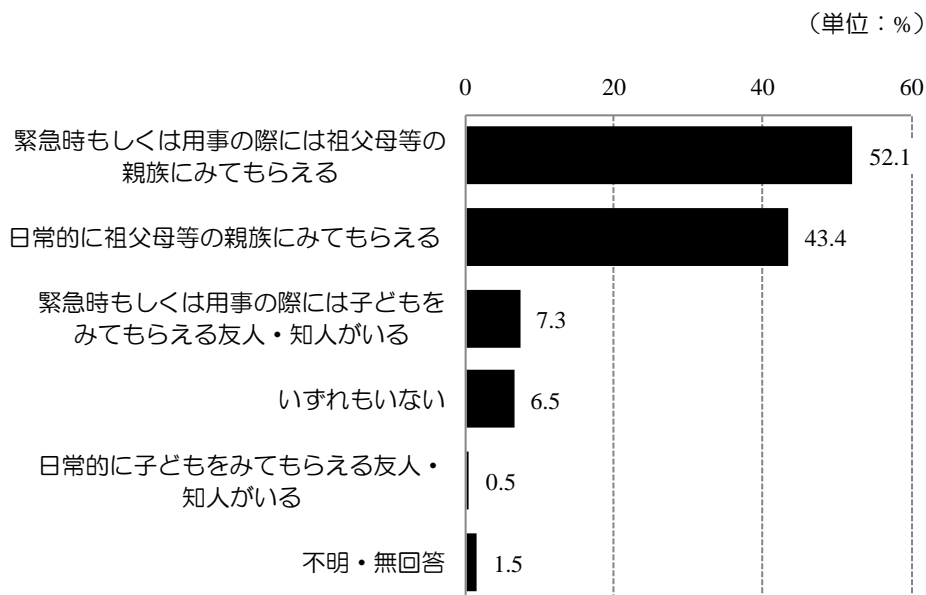


図 子どもをみてくれる人の有無 (N=754)

問9-1 祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況（複数回答）

※ 問9で「日常的または緊急時に祖父母等にみてもらえる」と回答した方を集計

- 祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況について、「親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなくみてもらえる」が最も高くなっています（49.7%）。

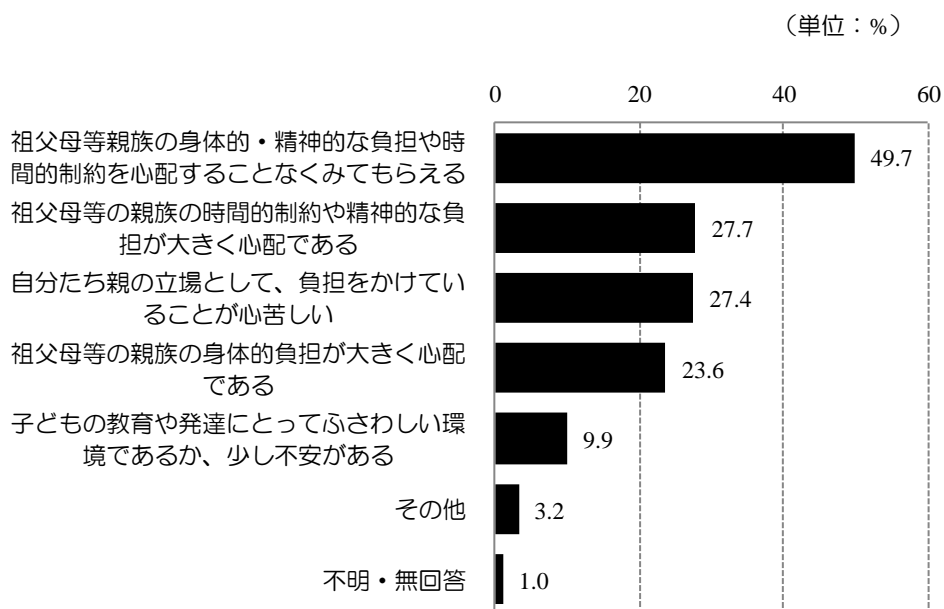


図 祖父母等が子どもをみてくれている状況 (N=678)

問9-2 友人・知人に子どもをみてもらっている状況（複数回答）

※ 問9で「日常的にまたは緊急時に友人・知人にみてもらえる」と回答した方を集計

- 友人・知人に子どもをみてもらっている状況について、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなくみてもらえる」が最も高くなっています（36.8%）。

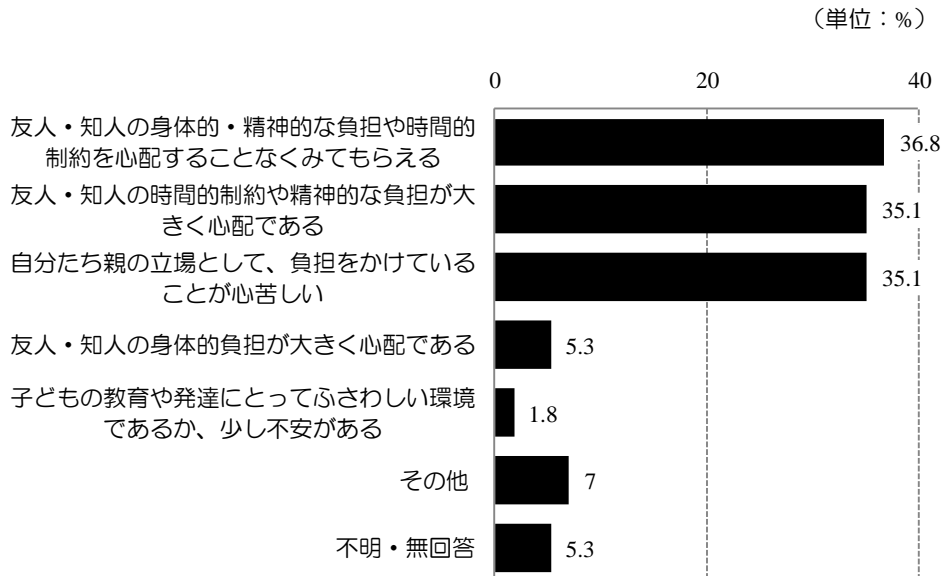


図 友人・知人が子どもをみてくれている状況 (N=57)

問 10 子育て（教育を含む）の相談をできる人（場所）の有無（単数回答）

- お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人（場所）の有無は、93.6%の方が「いる／ある」と回答しています。

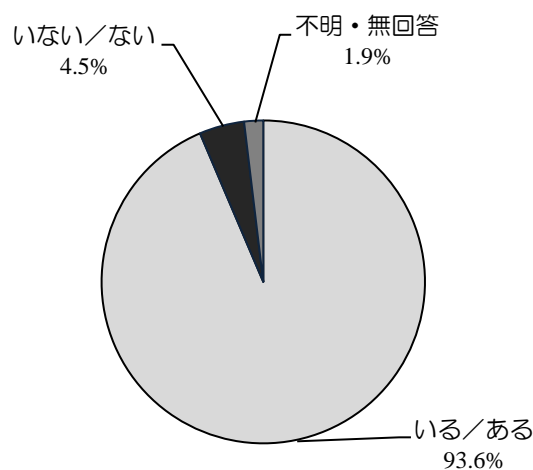


図 相談できる人の有無 (N=754)

事業利用状況別相談できる先の有無

- 定期的な教育・保育事業を利用していない方で、子育てについて相談できる人(場所)が「いる/ある」が高くなっています(96.0%)。

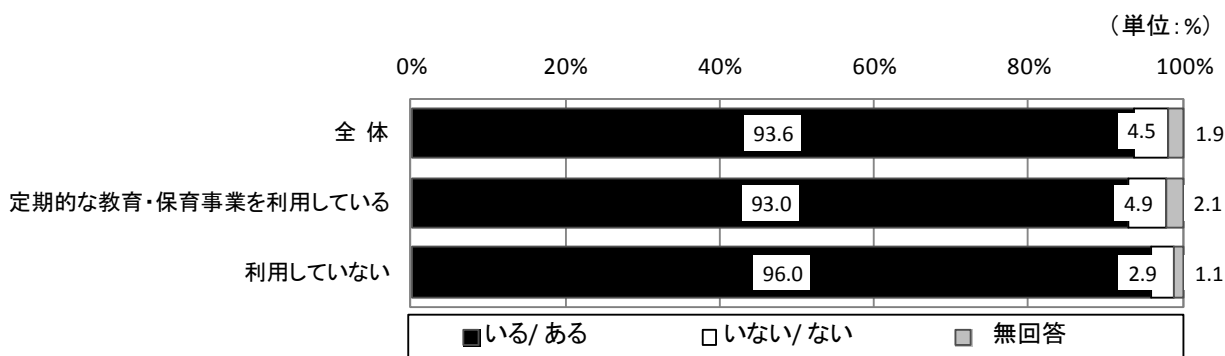


図 事業利用状況別相談できる人の有無
(N=754、利用している N=571、利用していない N=174)

問10-1 子育て(教育を含む)に関して相談できる先(複数回答)

※ 問10で子育ての相談ができる人(場所)が「いる/ある」と回答した方を集計

- 子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先(場所)は、「祖父母等の親族」が最も高く(85.7%)、次いで、「友人や知人」(73.5%)となっています。

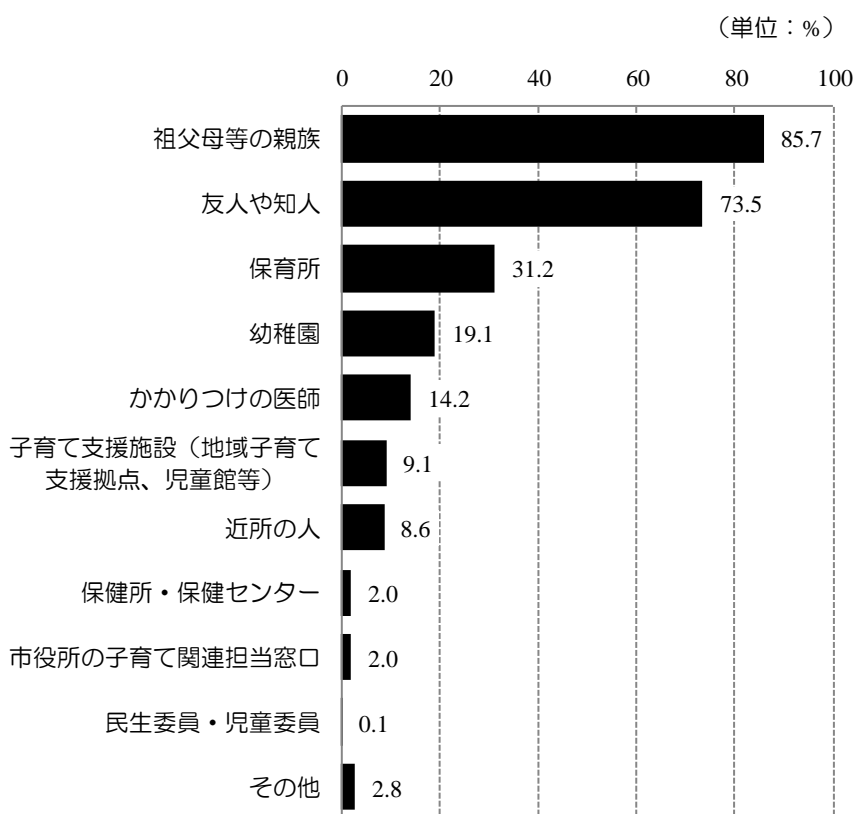


図 相談先 (N=706)

定期的な教育・保育事業利用状況別相談先

- 定期的な教育・保育事業を利用している方で、相談先が「祖父母等の親族」が最も高くなっています（86.3%）。次いで、「友人や知人」では定期的な利用をしていない方が高くなっています（77.2%）。

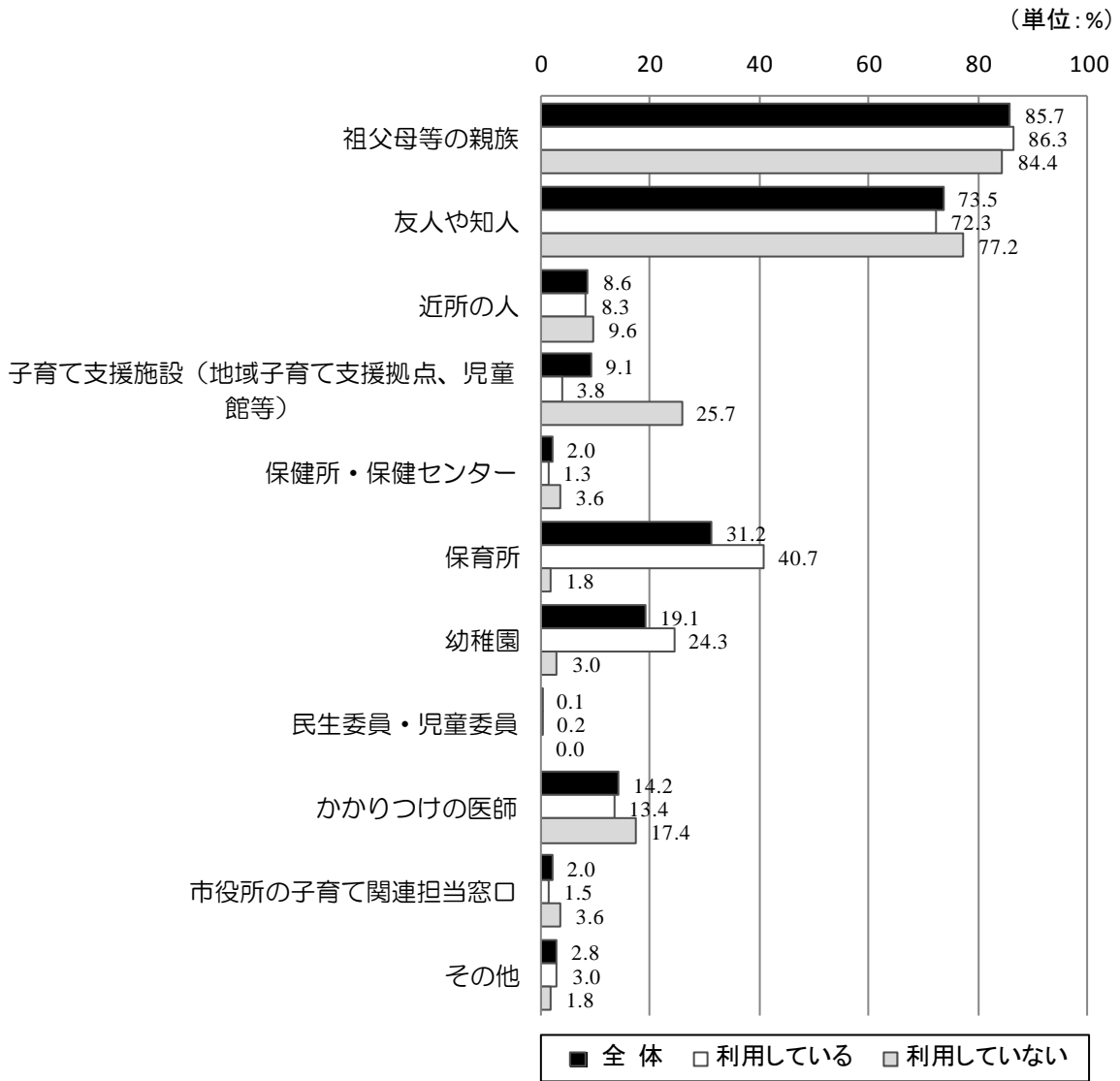
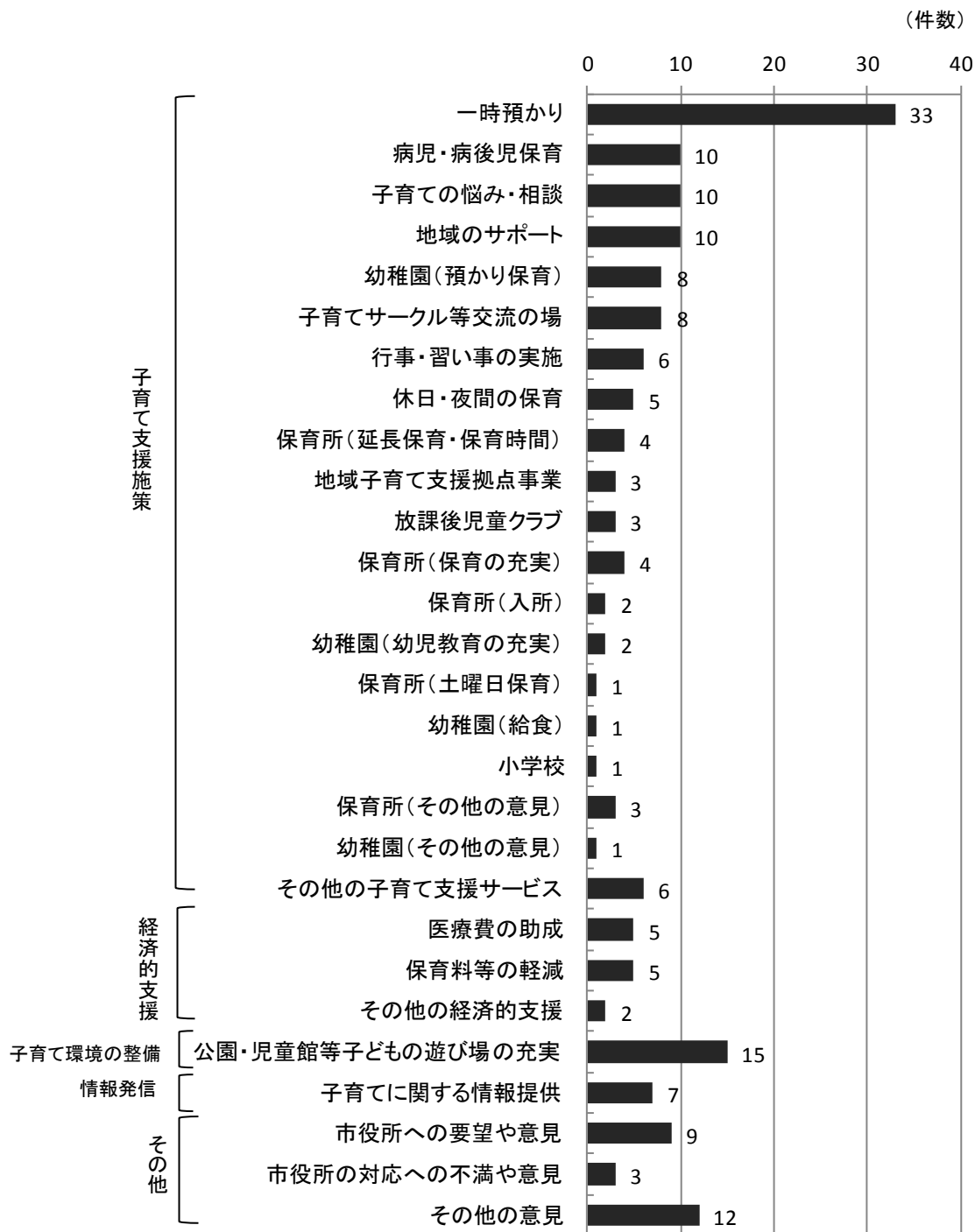


図 事業利用状況別相談先

[全体 (N=754)、利用している人 (N=571)、利用していない人 (N=174)]

問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいか（自由回答）



3 保護者の就労状況

問 12 母親・父親の就労状況（単数回答）

- 母親の就労状況は、「フルタイムで就労中」が最も高くなっています（30.8%）。
- 父親の就労状況は、「フルタイムで就労中」が最も高くなっています（87.0%）。

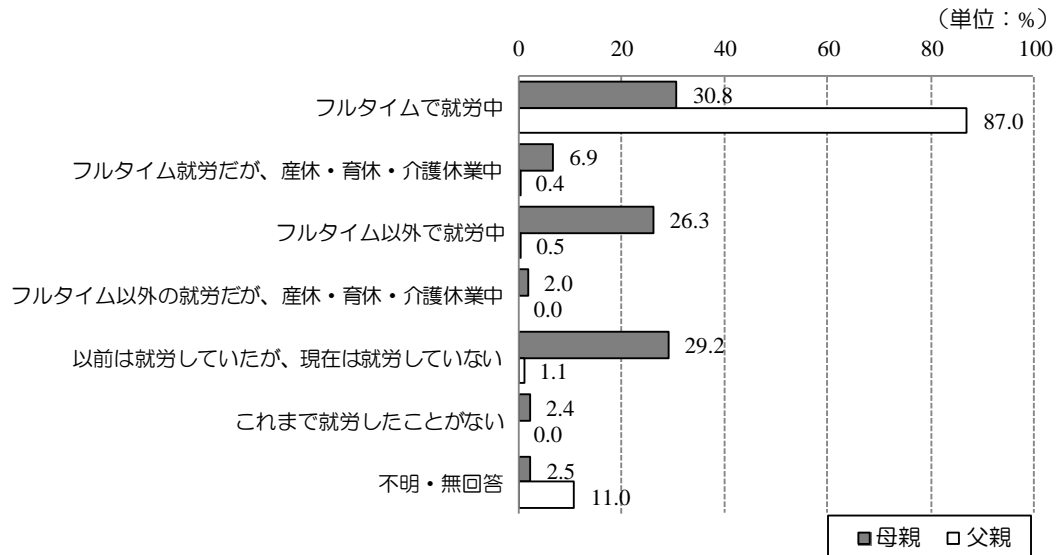


図 就労状況[母親 (N=754)、父親 (N=754)]

就労日数/週、就労時間/日、出宅・帰宅時間

※ 問 12 で「フルタイムで就労中」「フルタイム就労だが産休・育休・介護休業中」「フルタイム以外で就労中」「フルタイム以外の就労だが産休・育休・介護休業中」と回答した方を集計
就労日数/週（数量回答）

- 母親の1週当たりの就労日数は、「5日」が最も高く（65.8%）、次いで「6日」（15.5%）、「4日」（8.0%）となっています。
- 父親の1週当たりの就労日数は、「5日」が最も高く（51.6%）、次いで「6日」（39.7%）、「7日」（3.3%）となっています。

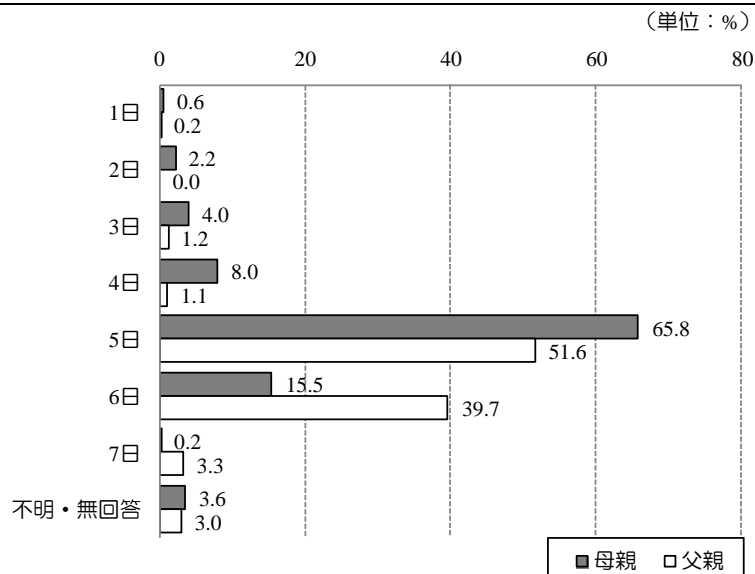


図 就労日数/週[母親 (N=497)、父親 (N=663)]

就労時間/日（数量回答）

- 母親の1日当たりの就労時間は、「7～9時間」が最も高く（50.7%）、次いで「4～6時間」（31.8%）、「10時間以上」（10.3%）となっています。
- 父親の1日当たりの就労時間は、「10時間以上」が最も高くなっています（52.8%）。

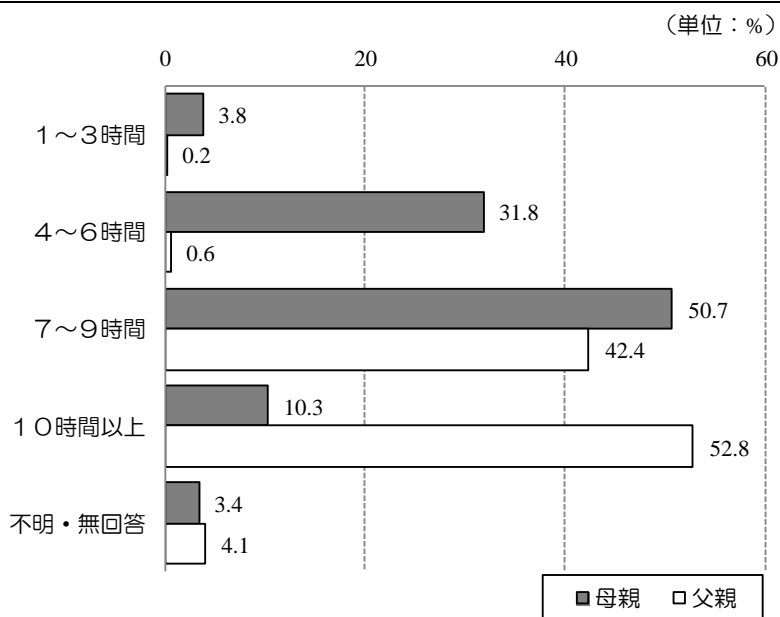


図 就労時間/日[母親 (N=497)、父親 (N=663)]

出宅時間（数量回答）

- 母親の出宅時間は、「8時」が最も高く（44.7%）、次いで「7時」（26.4%）となっています。
- 父親の出宅時間は、「7時」が最も高く（46.8%）、次いで「8時」（24.9%）となっています。

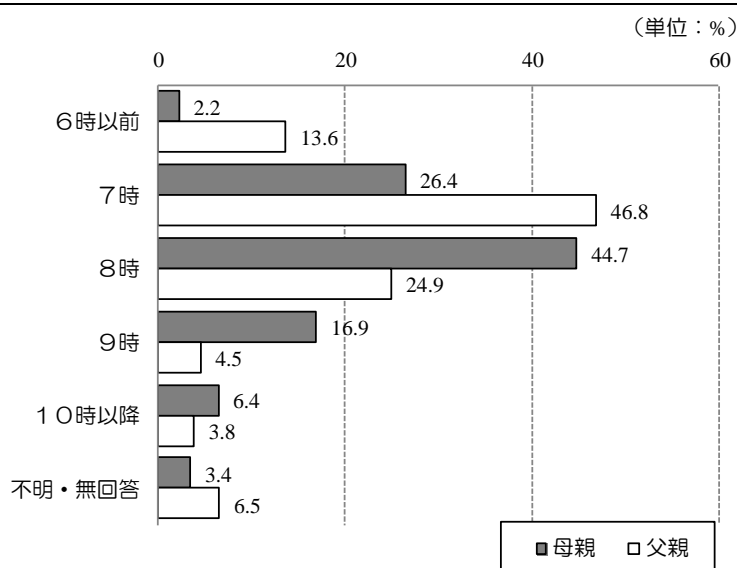


図 出宅時間[母親 (N=497)、父親 (N=663)]

帰宅時間（数量回答）

- 母親の帰宅時間は、「18時」が最も高く（30.6%）、次いで「16時以前」（25.8%）となっています。
- 父親の帰宅時間は、「21時以降」が最も高く（24.1%）、次いで「19時」（21.9%）となっています。

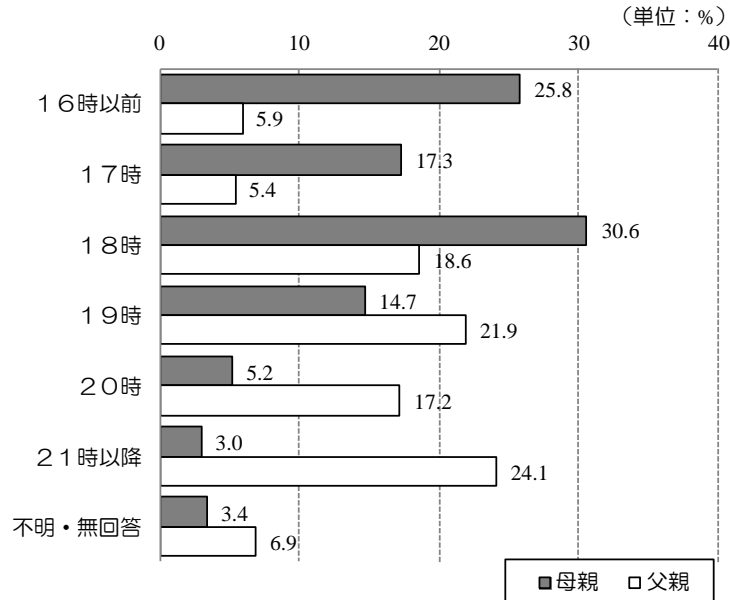


図 帰宅時間[母親 (N=497)、父親 (N=663)]

問 13 フルタイム就労への転換希望等（単数回答）

※ 問 12で「フルタイム以外で就労中」「フルタイム以外の就労だが、産休・育休・介護休業中」と回答した方を集計

- 母親では、「フルタイム以外での就労を続けることを希望」が最も高くなっています（50.7%）。

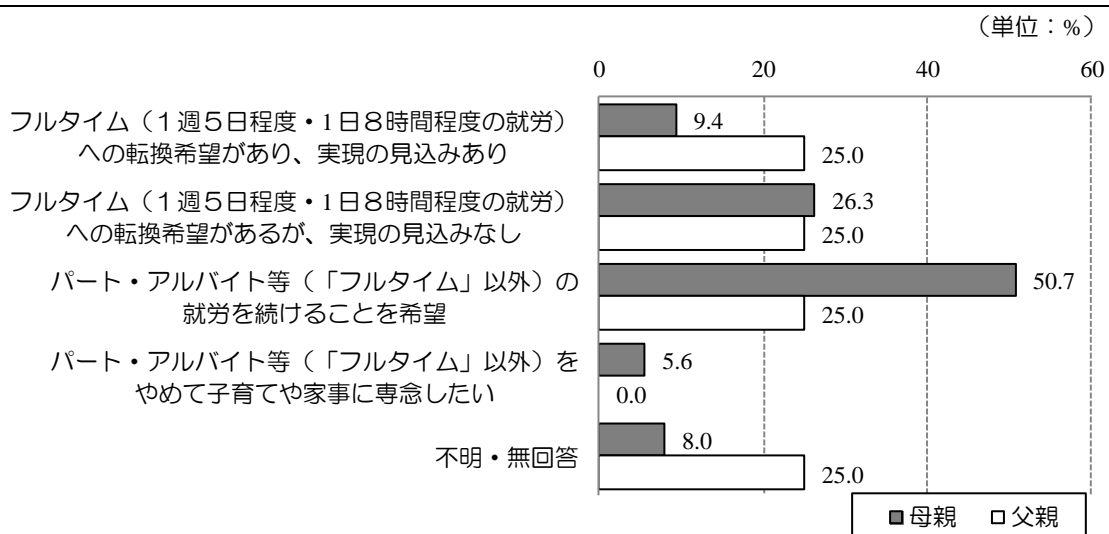


図 フルタイム就労への転換希望[母親 (N=213)、父親 (N=4)]

問 14 母親・父親の就労についての希望（単数回答）

※ 問 12 「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」と回答した方を集計

- 母親の就労希望は、「1年より先、就労したい」が最も高くなっています（46.2%）。
- 父親の就労希望は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が最も高くなっています（62.5%）。

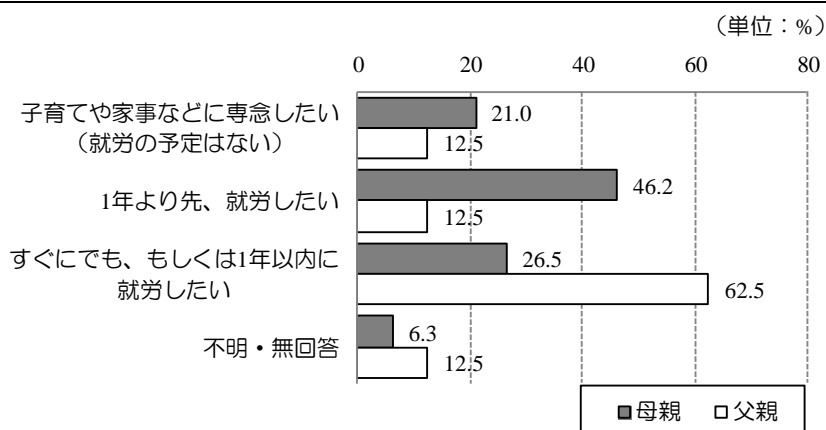


図 就労についての希望[母親 (N=238)、父親 (N=8)]

希望就労開始時期（数量回答）

※ 問 14 で「1年より先、就労したい」と回答した方を集計

- 母親の希望の就労開始時期は、一番下の子どもの年齢が「1～3歳」が最も高く（44.5%）、次いで「4～6歳」（37.3%）となっています。
- 父親の希望の就労開始時期は、一番下の子どもの年齢が「1～3歳」（100%）となっています。

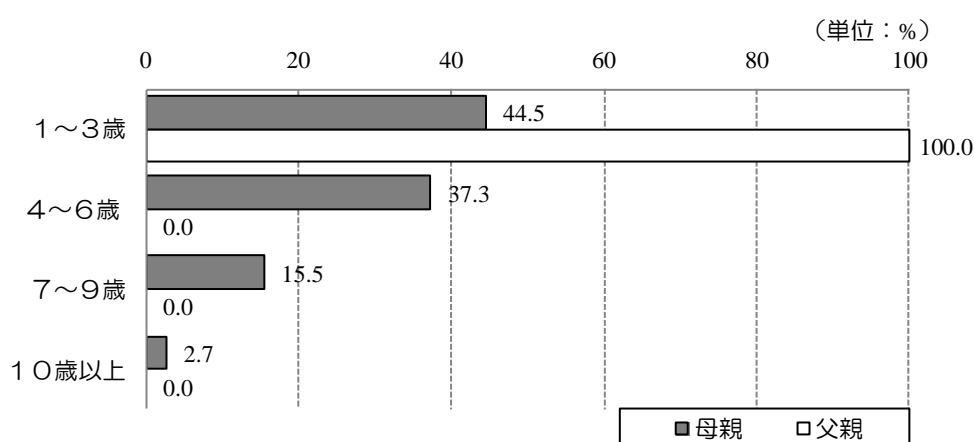


図 就労開始時期[母親 (N=110)、父親 (N=1)]

希望就労日数/週、希望就労時間/日

※ 問 14 で「すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」「1 年より先、就労したい」と回答した方を集計

希望就労日数/週（数量回答）

- 母親の 1 週あたりの希望就労日数は、「5 日」が最も高く（40.7%）、次いで「4 日」（33.3%）、「3 日」（22.2%）となっています。※父親は該当者がありません。

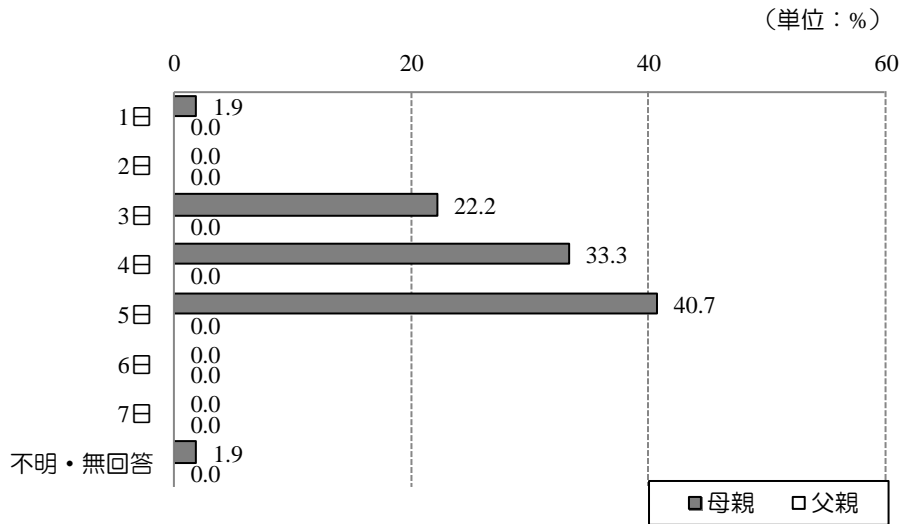


図 希望就労日数/週[母親 (N=54)、父親 (N=0)]

希望就労時間/日（数量回答）

- 母親の 1 日あたりの希望就労時間は、「4～6 時間」が最も高く（88.9%）、次いで「1～3 時間」（5.6%）、「7～9 時間」（3.7%）となっています。※父親は該当者がありません。

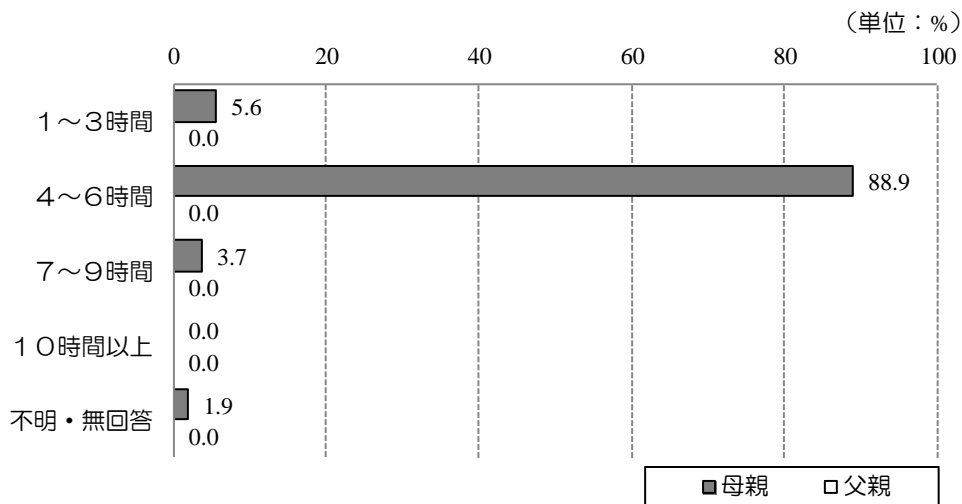


図 希望就労時間/日[母親 (N=54)、父親 (N=0)]

4 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問 15 定期的な教育・保育事業の利用有無

利用有無（単数回答）

- 「利用している」と回答した方は、7割以上（75.7%）となっています。

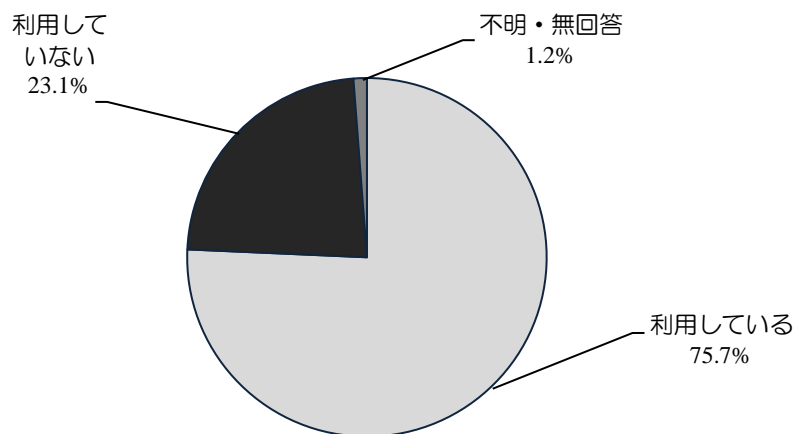


図 定期的な教育・保育事業の利用有無 (N=754)

年齢別利用有無（単数回答）

- 年齢別では、3～5歳が「利用している」と回答した方が最も高くなっています（98.0%）。

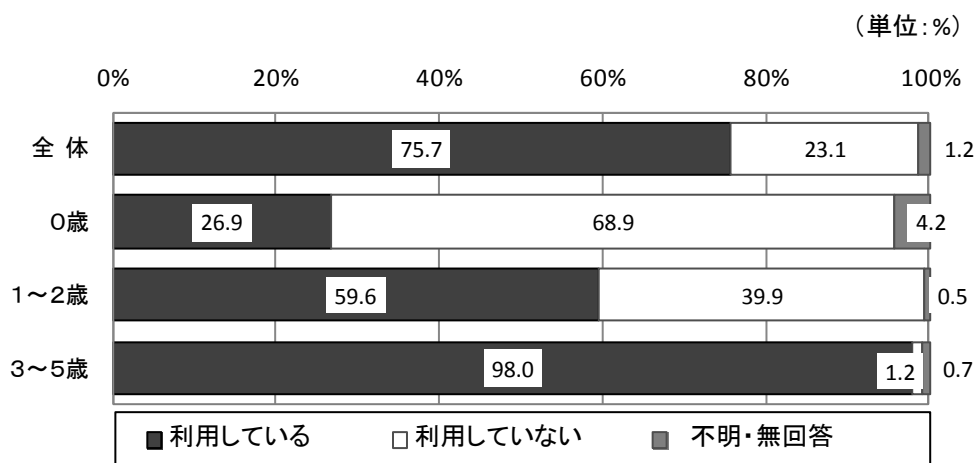


図 定期的な教育・保育事業の年齢別利用有無

[全体 (N=754)、0歳 (N=119)、1～2歳 (N=218)、3～5歳 (N=409)]

問 15-1 定期的に利用している教育・保育の施設・事業（複数回答）

- 定期的に利用している平日の教育・保育の施設・事業は、「認可保育所」が最も高く（59.5%）、次いで「幼稚園」（36.3%）、「幼稚園の預かり保育」（2.8%）となっています。

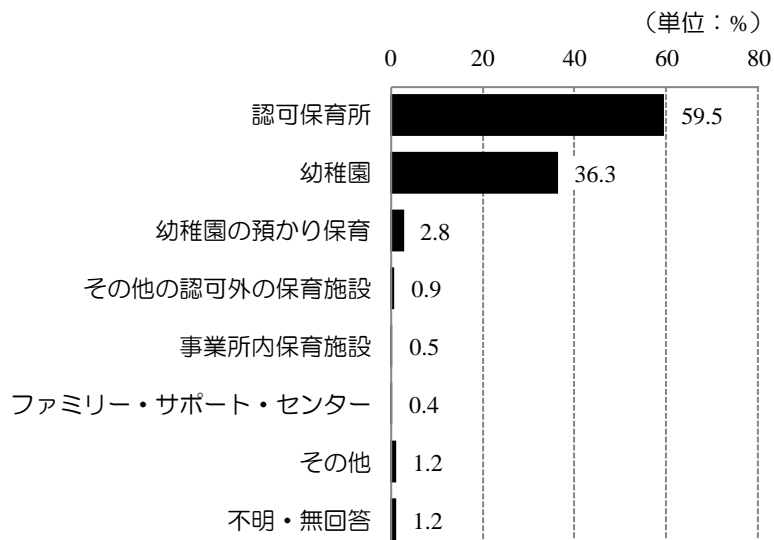


図 定期的に利用している平日の教育・保育事業（N=571）
年齢別利用事業（複数回答）

- 年齢別では、1～2歳の「認可保育所」利用が最も高くなっています（88.5%）。

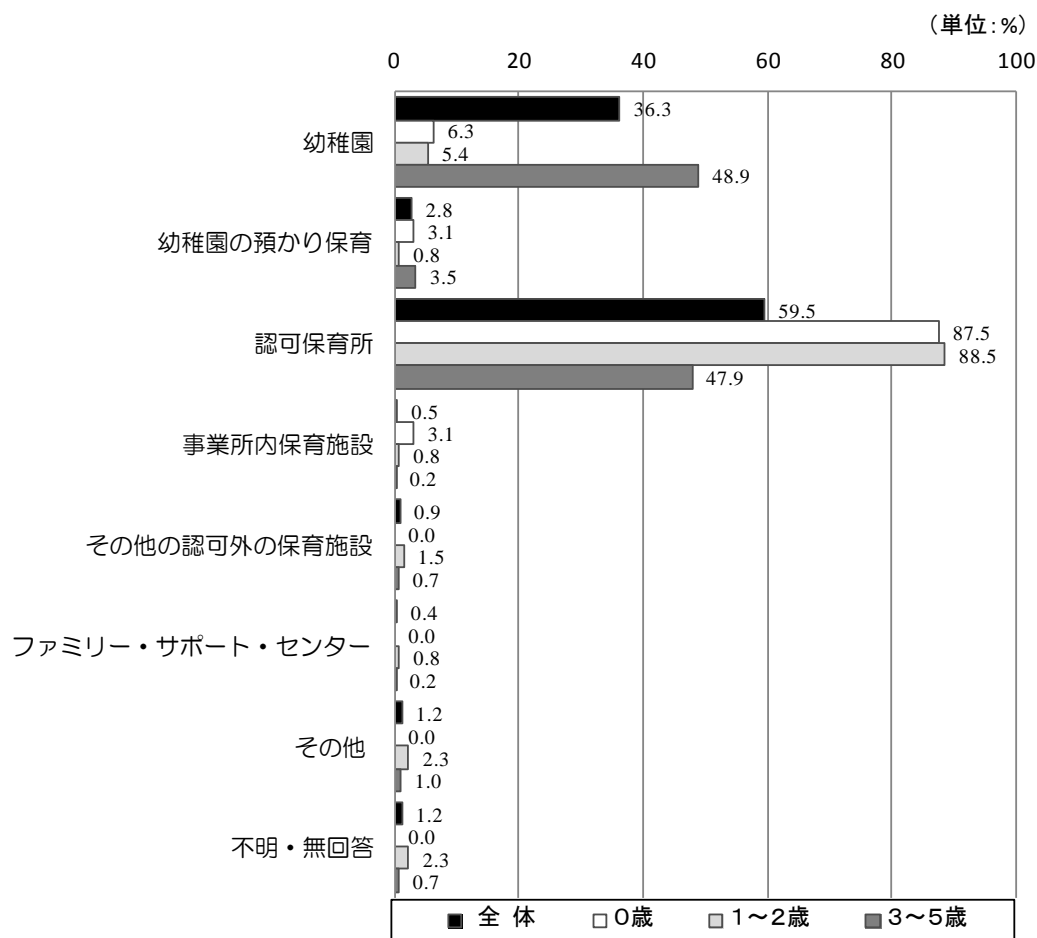


図 年齢別利用事業
[全体 (N=571)、0歳 (N=32)、1～2歳 (N=130)、3～5歳 (N=401)]

問 15-2 利用頻度 日数/週・時間/日・時間帯（現在・希望）

【現在】

利用日数/週（数量回答）

- 1週当たりの利用日数は、「5日」が最も高くなっています（89.0%）。

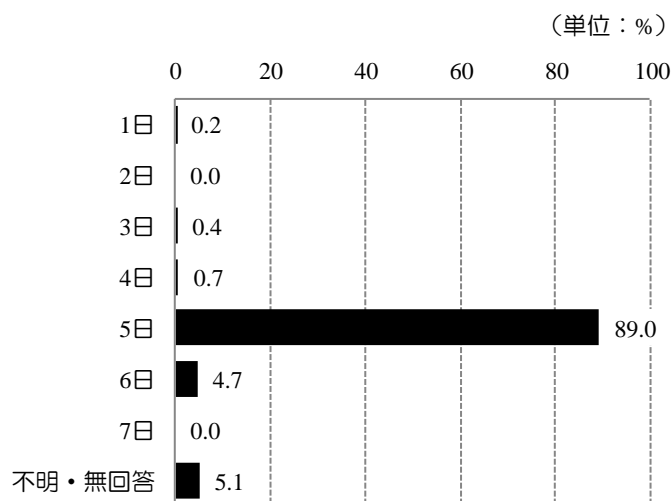


図 利用日数/週 現在 (N=571)

利用時間/日（数量回答）

- 1日当たりの利用時間は、「5時間以内」が最も高く（22.9%）、次いで「8時間」（22.2%）、「9時間」（16.6%）となっています。「8時間以上」の長時間利用は、約5割（50.8%）となっています。

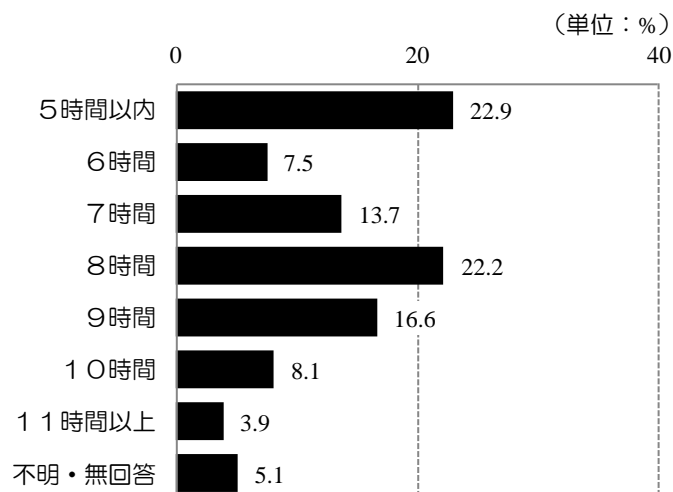


図 利用時間/日 現在 (N=571)

利用時間帯（数量回答）

- 開始時間は「9時」が最も高く（55.5%）、次いで「8時」（33.1%）となっています。
- 終了時間は、「15時以前」が最も高く（31.9%）、次いで「17時」（29.2%）となっています。

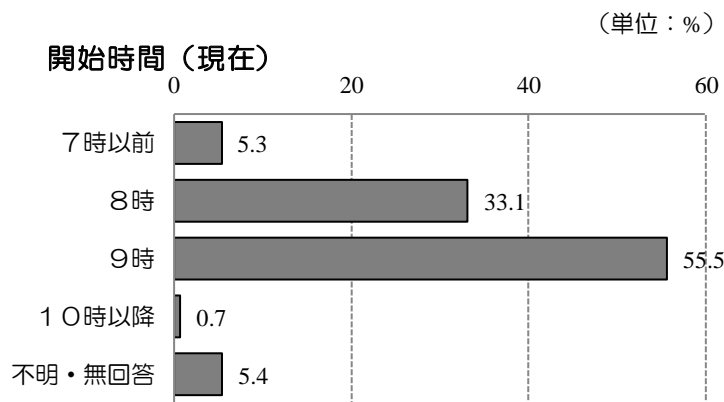


図 利用時間帯 現在 (N=571)

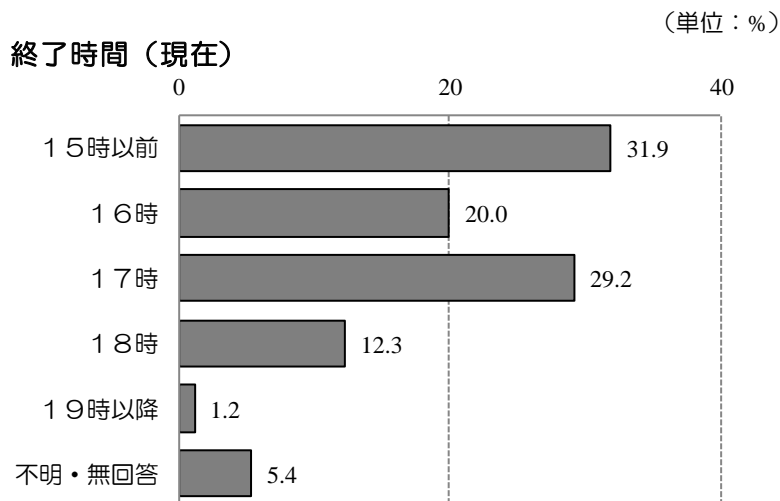


図 利用時間帯 現在 (N=571)

【希望】

利用日数/週（数量回答）

- 1週あたりの利用希望日数は、「5日」が最も高くなっています（55.7%）。

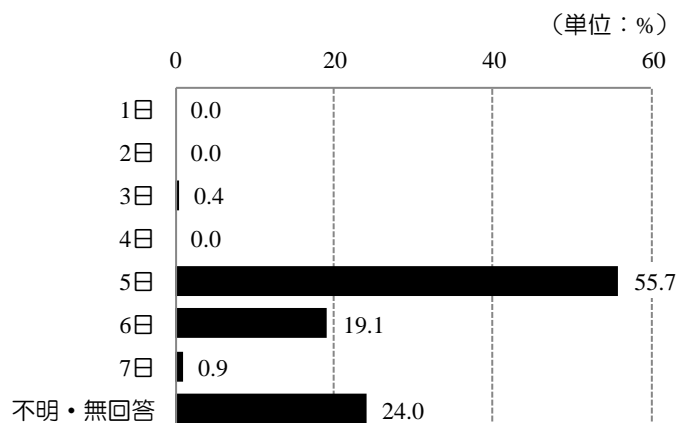


図 利用日数/週 希望 (N=571)

利用時間/日（数量回答）

- 1日あたりの希望利用時間は、「8時間」が最も高く（15.2%）、次いで「9時間」（14.5%）、「11時間以上」（11.2%）となっています。

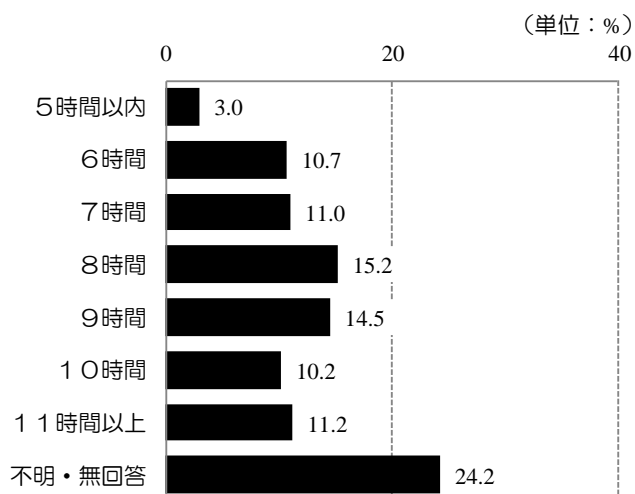


図 利用時間/日 希望 (N=571)

利用時間帯（数量回答）

- 希望開始時間は「9時」が最も高く（38.0%）、次いで「8時」（27.5%）となっています。
- 希望終了時間は、「17時」が最も高く（22.4%）、次いで「18時」（16.5%）となっています。

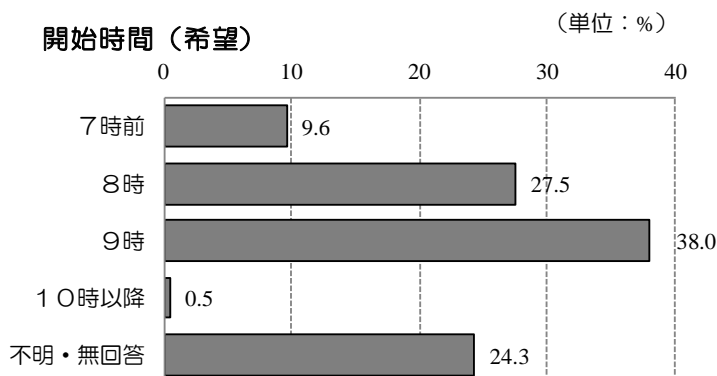


図 利用時間帯 希望 (N=571)

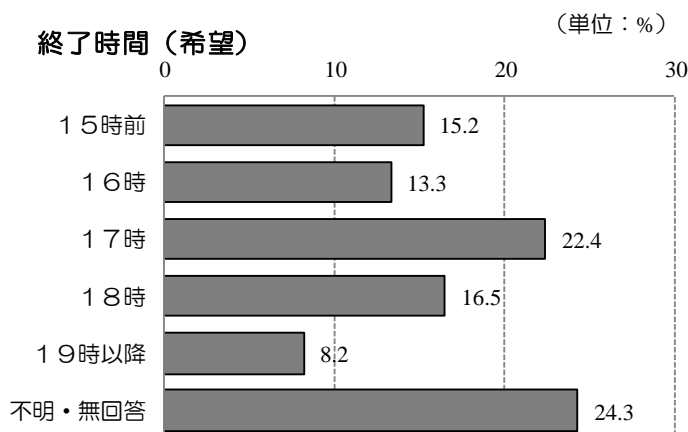


図 利用時間帯 希望 (N=571)

問 15-3 現在、利用している場所

利用場所（単数回答）

- 利用している場所は、「坂出市内」が高くなっています（96.7%）。

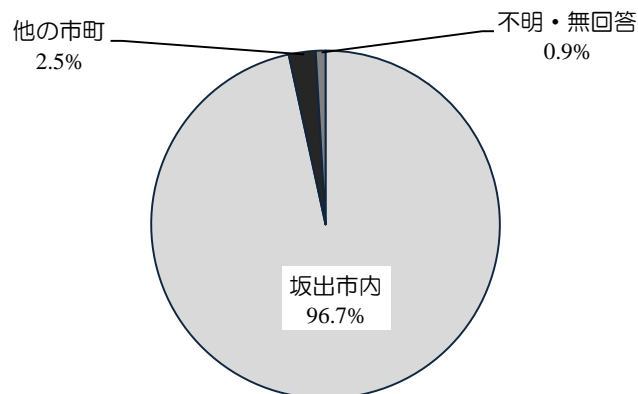


図 利用している場所 (N=571)

問 15-4 平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由（複数回答）

- 利用している理由は、「子育てをしている方が現在就労している」が最も高く（64.4%）、次いで、「子どもの教育や発達のため」（63.4%）となっています。

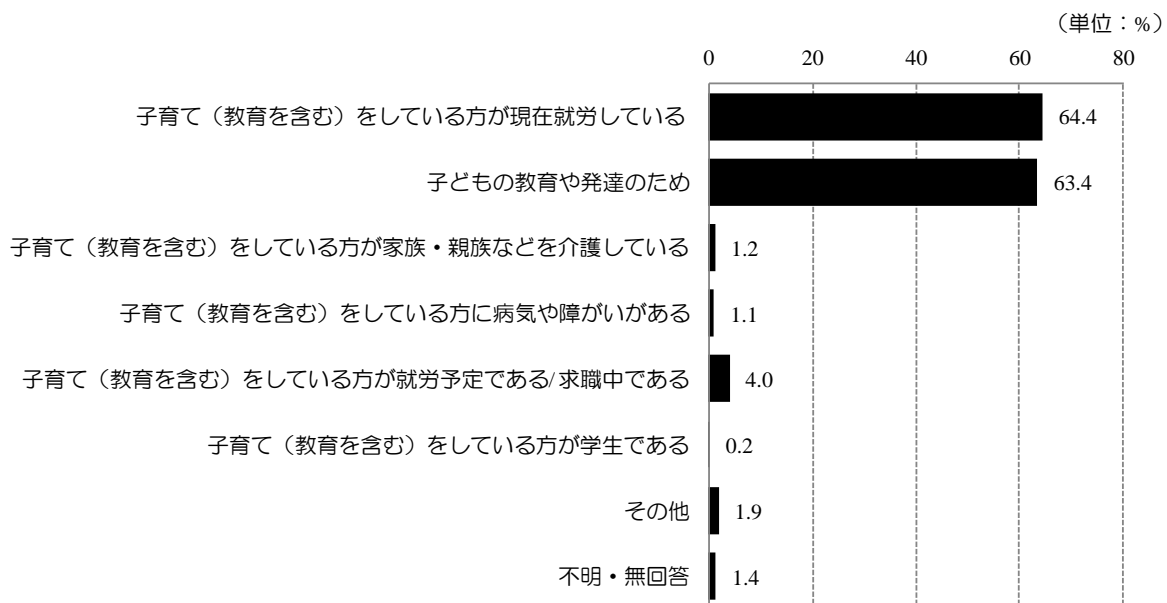


図 平日、定期的に利用している理由 (N=571)

問 15-5 平日に定期的に教育・保育事業を利用していない理由（複数回答）

※ 問 15 で「利用していない」と回答した方を集計

- 利用していない理由は、「（子どもの教育・発達のため、母親か父親が就労していない等の理由で）利用の必要がない」が最も高く（52.3%）、次いで、「子どもがまだ小さいため」（48.3%）となっています。

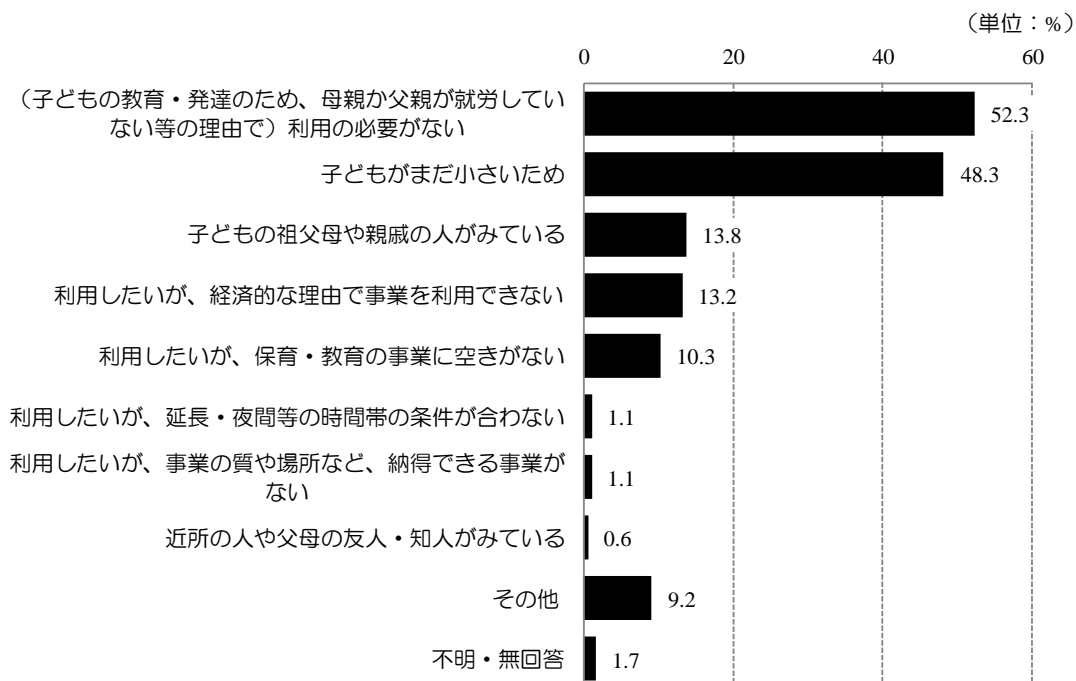


図 平日、定期的に利用していない理由 (N=174)

利用時の子どもの年齢

※ 問 15-5 で「子どもがまだ小さいため」と回答した方を集計（数量回答）

- 「3歳」くらいになったら利用しようと考えている方が最も高くなっています（56.0%）。

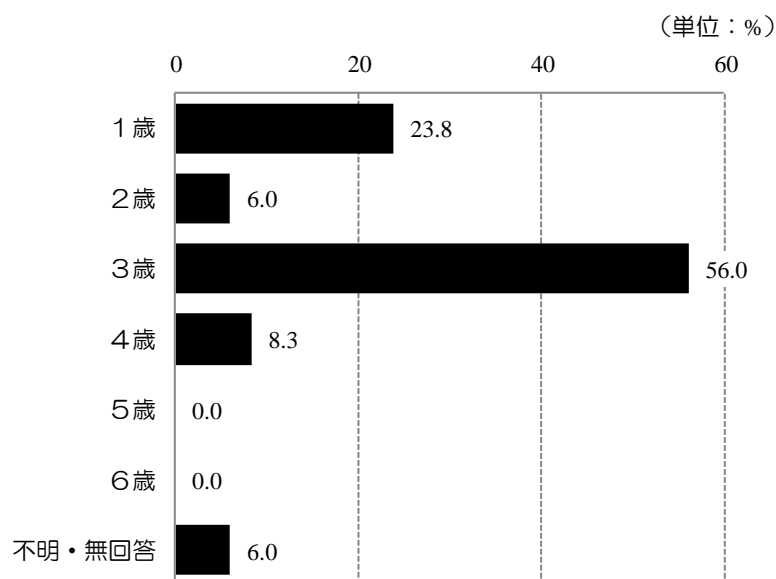


図 子どもの年齢 (N=84)

問 16 平日、定期的に利用したい教育・保育事業（複数回答）

- 平日、定期的に利用したい事業は、「幼稚園」が最も高く（49.2%）、次いで、「認可保育所」（48.8%）となっています。

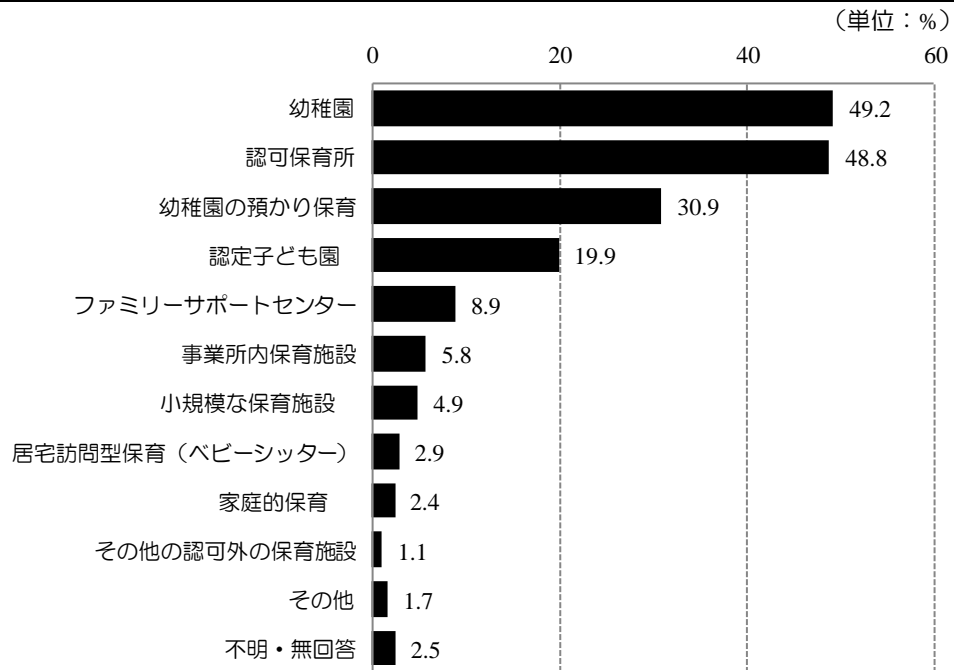


図 利用したい事業 (N=754)

- 年齢別では、0歳の「認可保育所」希望が最も高くなっています（67.2%）。

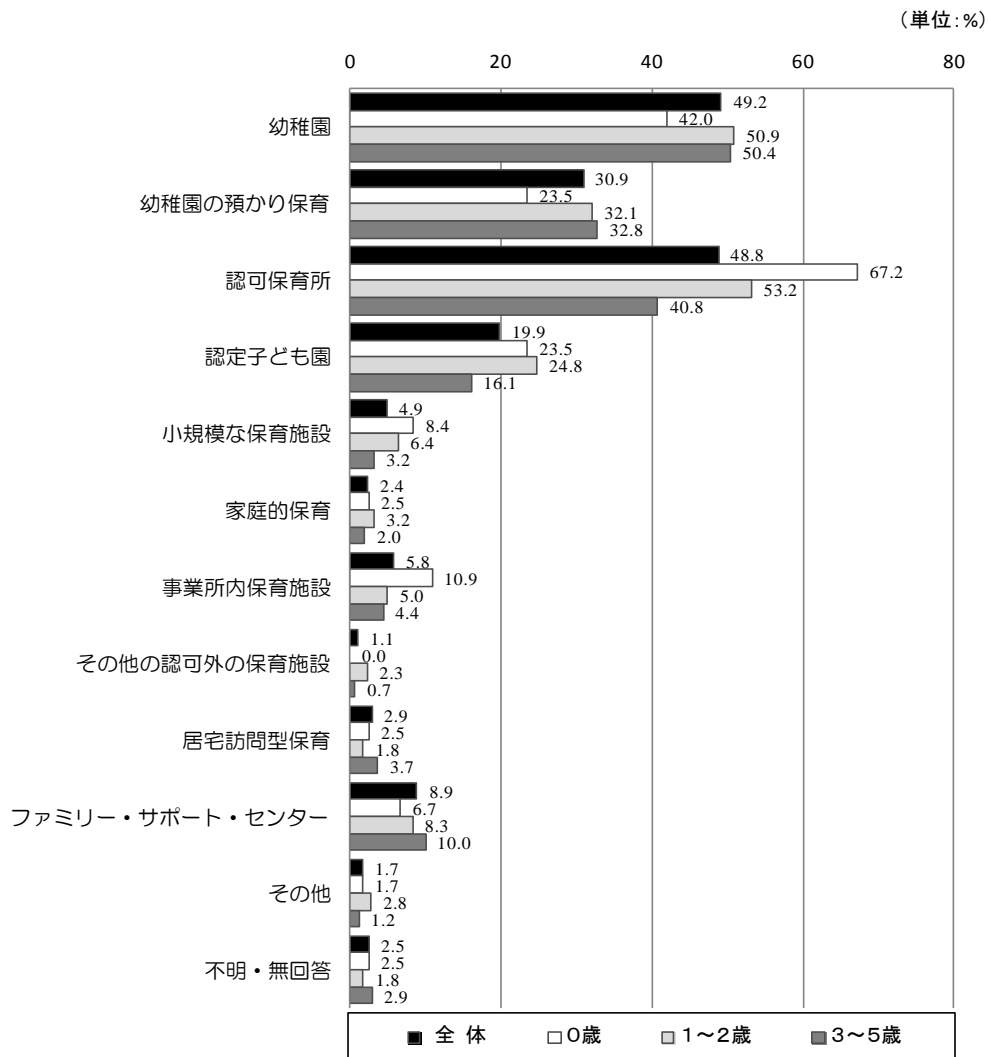


図 年齢別利用したい事業

[全体 (N=371)、0歳 (N=50)、1~2歳 (N=111)、3~5歳 (N=206)]

問 16-1 利用したい場所

利用場所 (単数回答)

- 利用したい場所は、「坂出市内」が高くなっています（94.7%）。

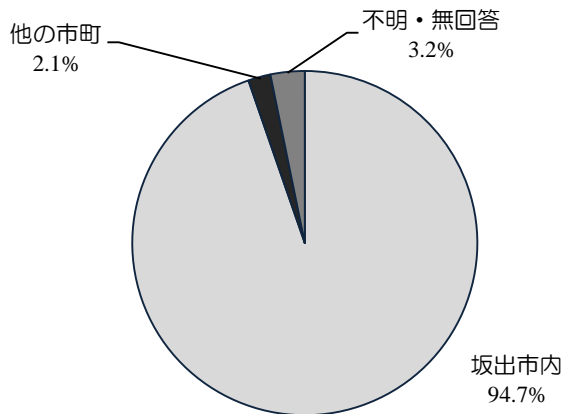


図 利用したい場所 (N=754)

5 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

【土曜・日曜の利用希望】

問 17 土曜、日曜・祝日の教育・保育事業の利用希望

【土曜日】の利用希望（単数回答）

- 利用希望は、「利用する必要はない」が最も高くなっています（58.6%）。

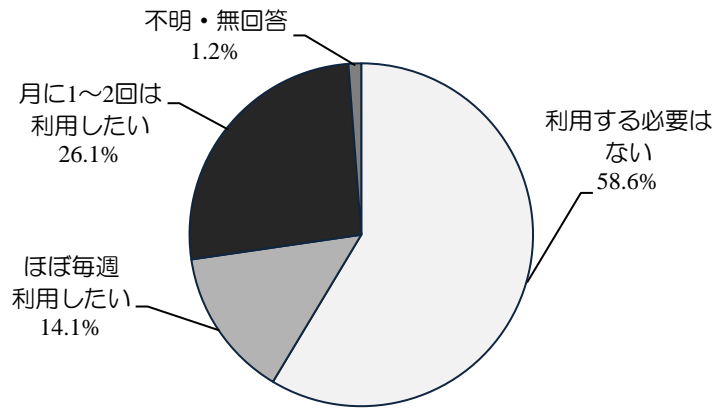


図 土曜日の利用希望 (N=754)

利用時間帯（数量回答）

- 希望の開始時間は、「9時」が最も高くなっています（45.2%）。

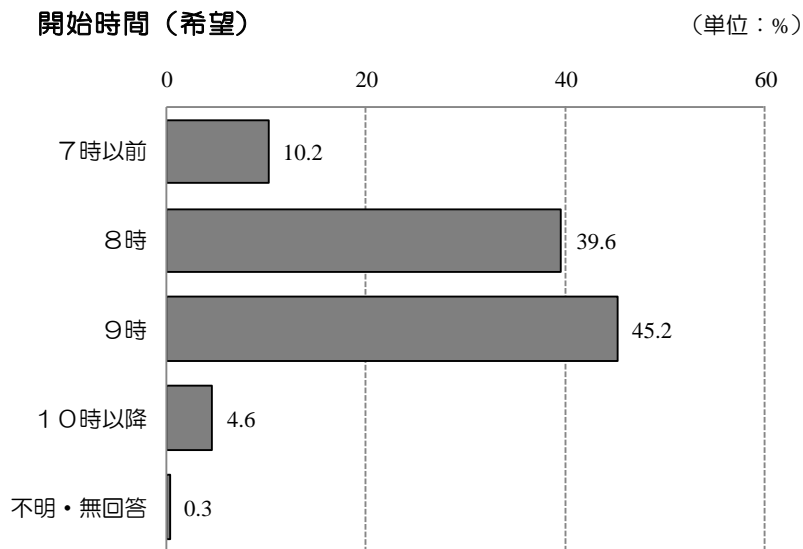


図 土曜日の利用時間帯 希望 (N=303)

終了時間（数量回答）

- 希望終了時間は、「17時」が最も高くなっています（33.3%）。

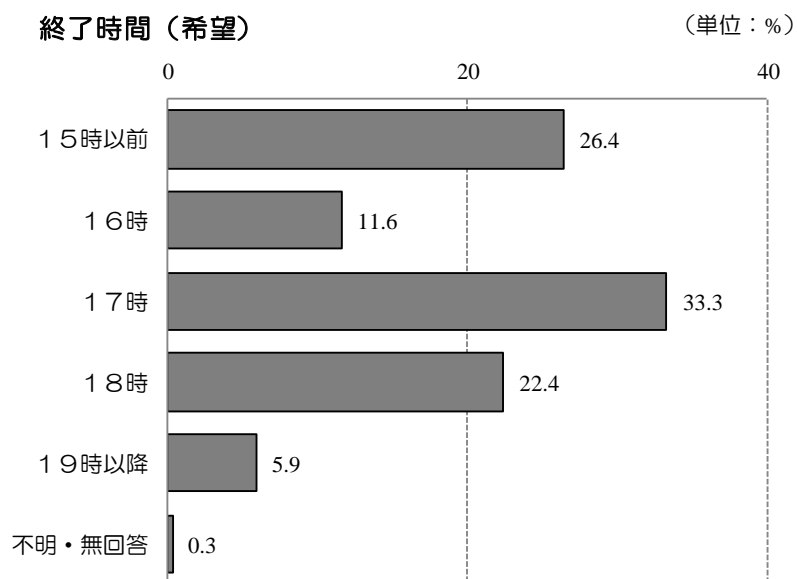


図 土曜日の利用時間帯 希望（N=303）

【日曜・祝日】の利用希望（単数回答）

- 利用希望は、「利用する必要はない」が最も高くなっています（79.3%）。

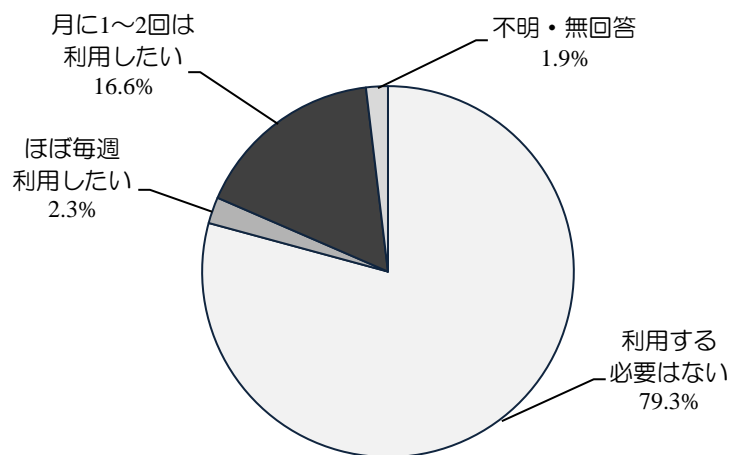
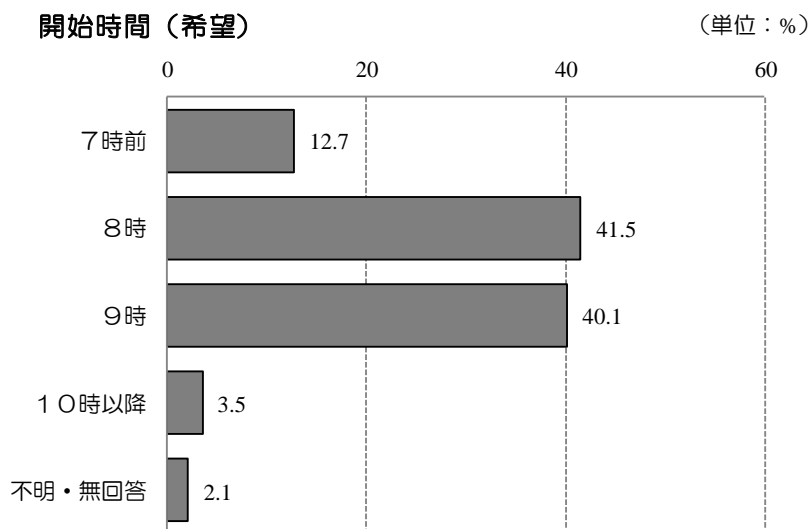


図 日曜・祝日の利用希望（N=754）

開始時間（数量回答）

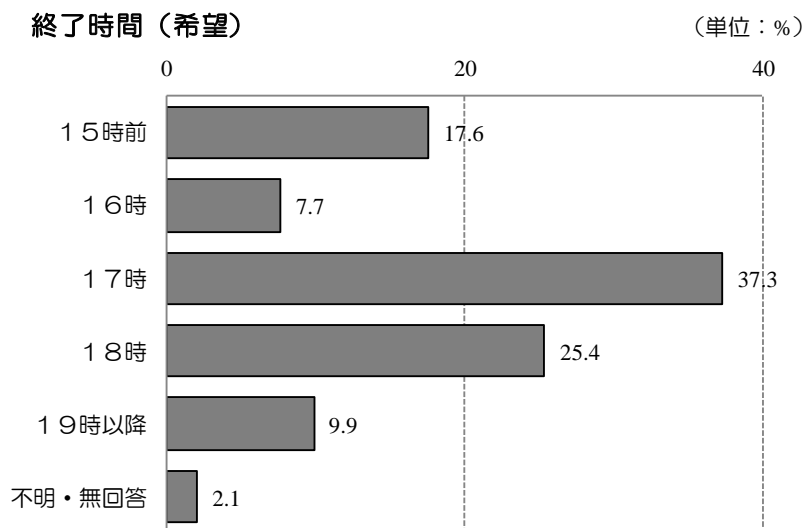
- 希望開始時間は、「8時」が最も高くなっています（41.5%）。



☒ 日曜・祝日の利用時間帯 希望 (N=142)

終了時間（数量回答）

- 希望終了時間は、「17時」が最も高くなっています（37.3%）。



☒ 日曜・祝日の利用時間帯 希望 (N=142)

問17-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由（複数回答）

※ 問17で「月に1～2回は利用したい」と回答した方を集計

- たまに利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」が最も高くなっています（64.0%）。

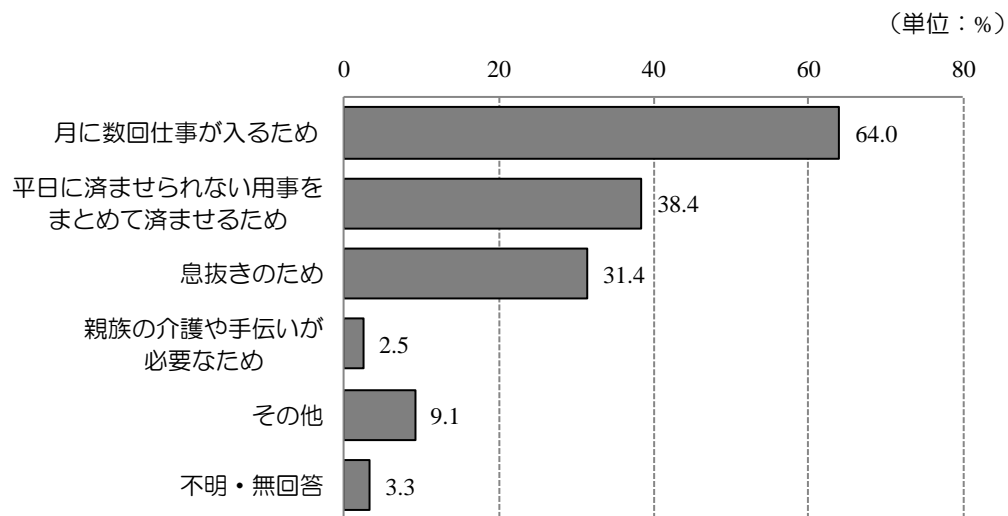


図 たまに利用したい理由 (N=242)

問18 長期休暇期間中の教育・保育施設の利用希望

※ 「幼稚園」を利用している方を集計

利用希望（単数回答）

- 長期の休暇期間中の利用希望は、「利用する必要はない」が最も高くなっています（34.4%）。次いで、「休みの期間中ほぼ毎日利用したい」（31.1%）、「休みの期間中週に数日利用したい」（30.7%）となっています。

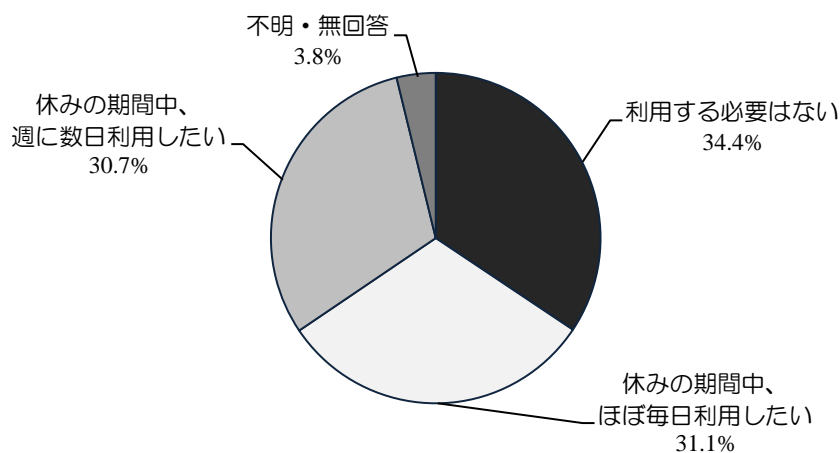


図 長期休暇中の利用希望 (N=212)

開始時間（数量回答）

- 希望開始時間は、「9時」が最も高くなっています（59.5%）。

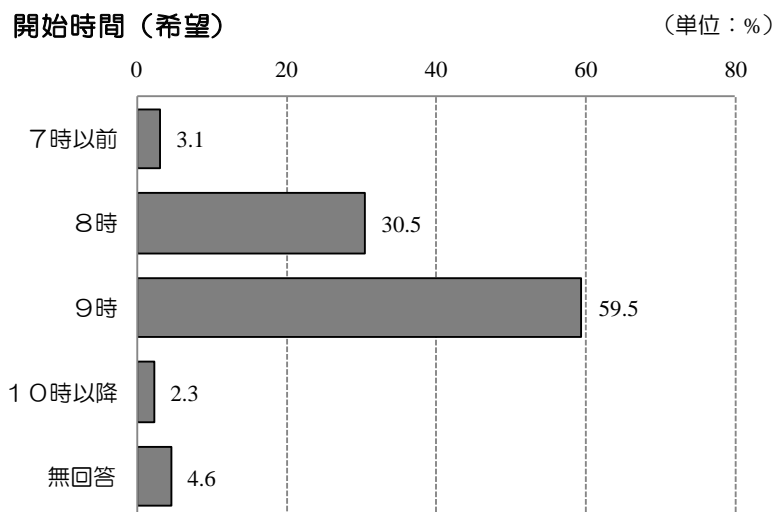


図 長期休暇中の利用時間帯 希望（N=131）

終了時間（数量回答）

- 希望終了時間は、「15時以前」が最も高くなっています（43.5%）。

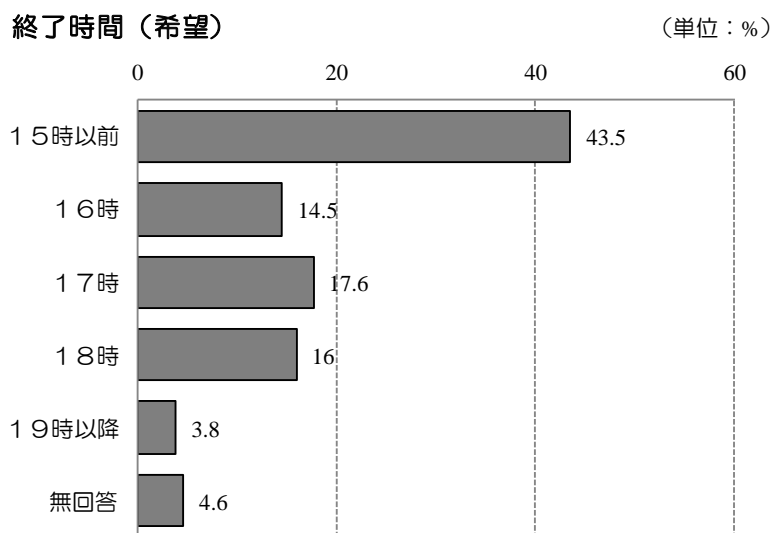


図 長期休暇中の利用時間帯 希望（N=131）

問 18-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由（複数回答）

※ 問 18 で「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した方を集計

- たまに利用したい理由は、「息抜きのため」が最も高くなっています（53.8%）。

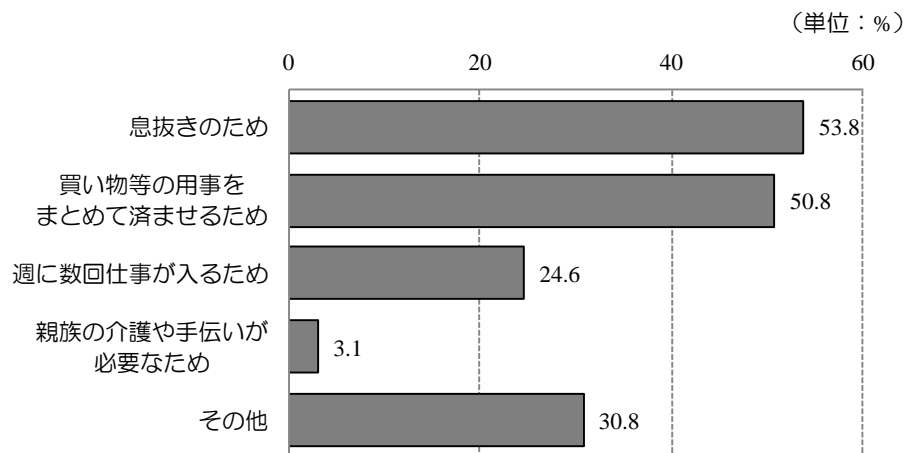


図 たまに利用したい理由 (N=65)

6 病気の際の対応について

【病気の際の対応】

問 19 子どもが病気やケガで普段の教育・保育事業を利用できなかった有無（単数回答）

※ 問 15 で平日の定期的な教育・保育事業を「利用している」と回答した方を集計

- 平日に定期的な教育・保育事業を利用している方の約 8 割（76.9%）が「あった」と回答しています。

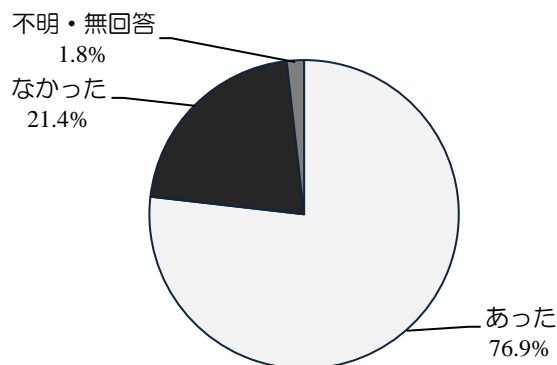


図 病気やケガで通常どおりに定期的な教育・保育事業を利用できなかったこと（N=571）

問 19-1 普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法

※ 問 19 で「あった」と回答した方を集計

対処方法（複数回答）

- 対処方法は、「母親が休んだ」が最も高く（66.1%）、次いで「親族・知人に子どもを看てもらった」（48.7%）となっています。

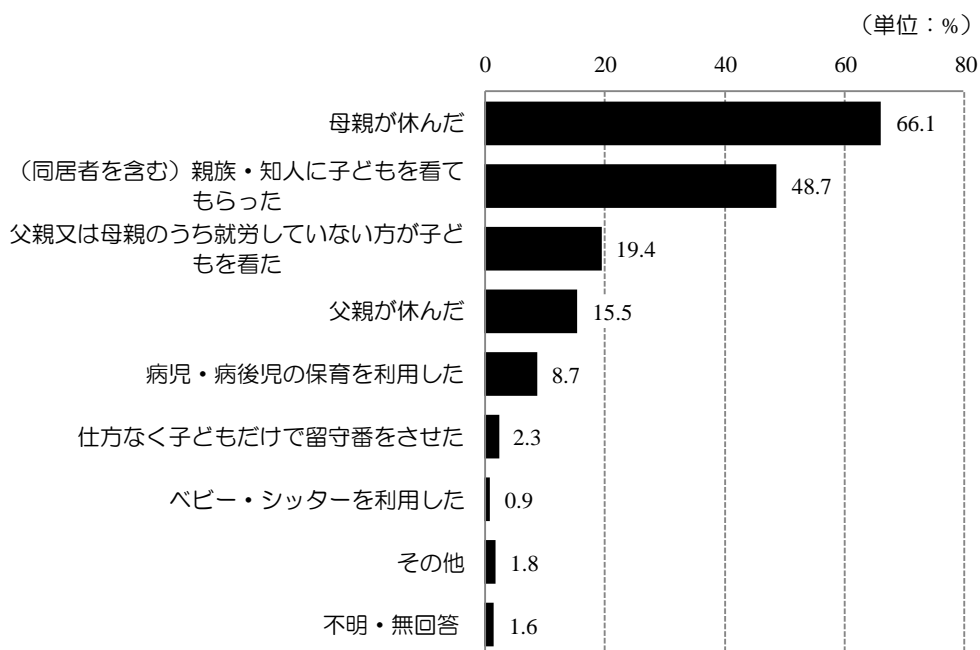


図 対処方法（N=439）

対処方法別日数（数量回答）

上段：回答数 下段：%	1日	2日	3日	4日	5日	6～10 日	11～20 日	21日～	不明・ 無回答
父親が休んだ(N=68)	10	14	13	2	11	7	1	1	9
	14.7	20.6	19.1	2.9	16.2	10.3	1.5	1.5	13.2
母親が休んだ(N=290)	30	26	32	5	52	82	40	10	13
	10.3	9.0	11.0	1.7	17.9	28.3	13.8	3.4	4.5
親族・知人に子どもを看ても らった(N=214)	11	17	30	9	53	51	26	12	5
	5.1	7.9	14.0	4.2	24.8	23.8	12.1	5.6	2.3
父親又は母親のうち就労していな い方が子どもを看た(N=85)	6	8	12	0	7	24	15	6	7
	7.1	9.4	14.1	0.0	8.2	28.2	17.6	7.1	8.2
病児・病後児保育を利用した (N=38)	7	7	5	1	3	5	4	2	4
	18.4	18.4	13.2	2.6	7.9	13.2	10.5	5.3	10.5
ベビーシッターを利用した (N=4)	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
子どもだけで留守番をさせ た(N=10)	1	4	0	0	1	0	0	0	4
	10.0	40.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	40.0
その他(N=8)	1	0	0	0	2	1	1	0	3
	12.5	0.0	0.0	0.0	25.0	12.5	12.5	0.0	37.5

表 対処方法別年間日数

問 19-2 病児・病後児保育の利用希望

※ 問 19-1 で「父親が休んだ」または「母親が休んだ」と回答した方を集計
利用希望（単数回答）

- 利用希望は、約 4 割（38.0%）の方が「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答しています。

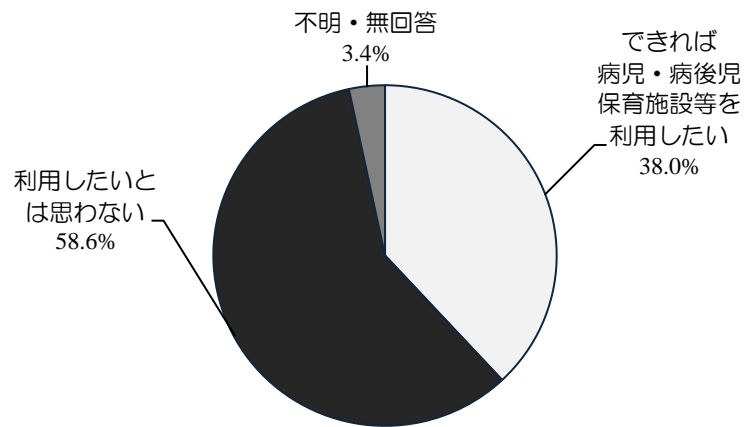


図 病児・病後児保育の利用希望（N=295）

利用日数/年間（数量回答）

- 利用希望日数は、「6～10日」が最も高く（39.3%）、次いで「5日」（17.0%）、「11～20日」（13.4%）となっています。

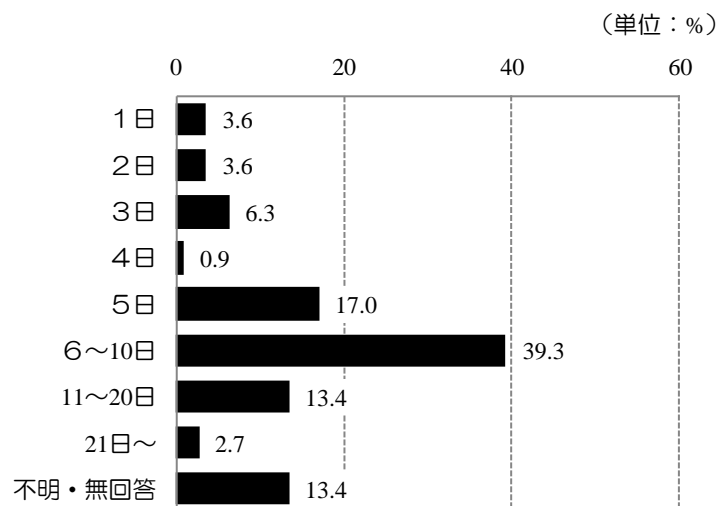


図 病児・病後児保育の利用日数/年間 希望（N=112）

問 19-3 希望の事業形態

※ 問 19-2 で「できれば病児・病後児保育を利用したい」と回答した方を集計
希望の事業形態（複数回答）

- 希望の事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」（78.6%）が最も高く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」（62.5%）となっています。

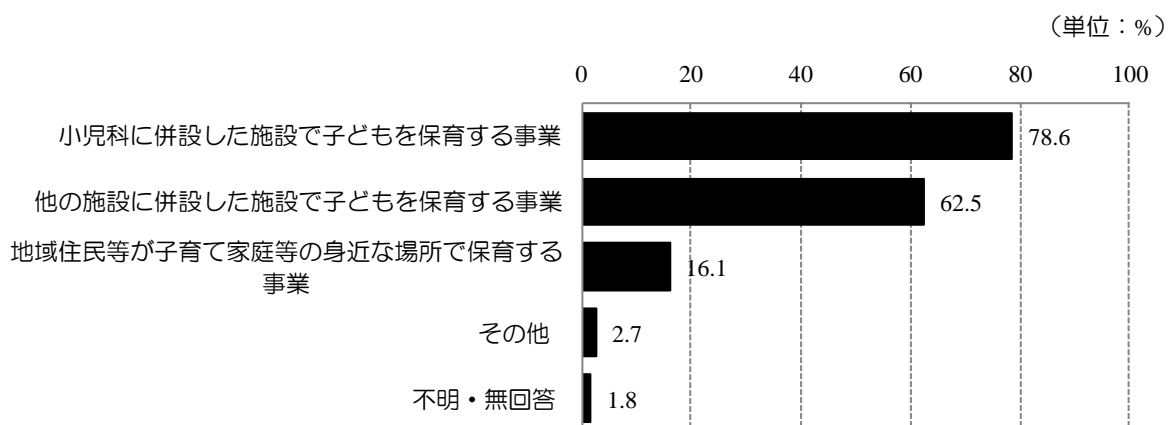


図 病児・病後児保育の事業形態 (N=112)

問 19-4 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由

※ 問 19-2 で「利用したいと思わない」と回答した方を集計
利用したいと思わない理由（複数回答）

- 「親が仕事を休んで対応する」（61.3%）が最も高く、次いで「他人にみてもらうのは不安」（49.7%）となっています。

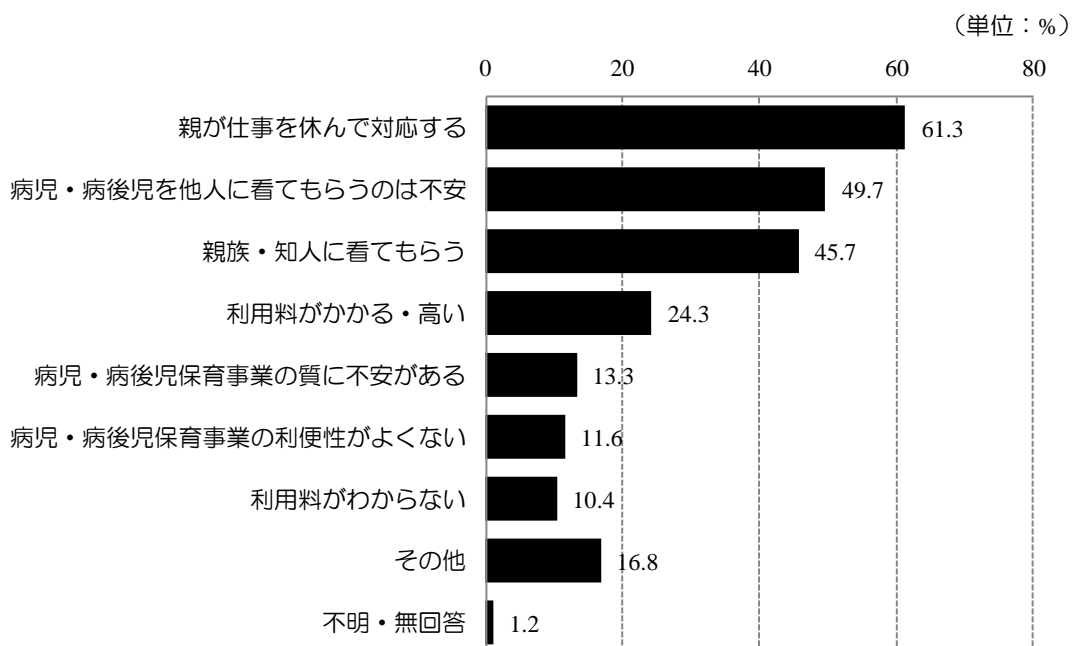


図 19-4 利用したいと思わない理由 (N=173)

問 19-5 普段の教育・保育事業が利用できなかった場合の希望

※ 問 19-1 で「父親または母親が休んだ」以外を回答した方を集計
病児・病後児への対応希望（単数回答）

- 「できれば仕事を休んで看たい」（44.9%）が最も高く、次いで「休んで看ることは非常に難しい」（22.3%）となっています。

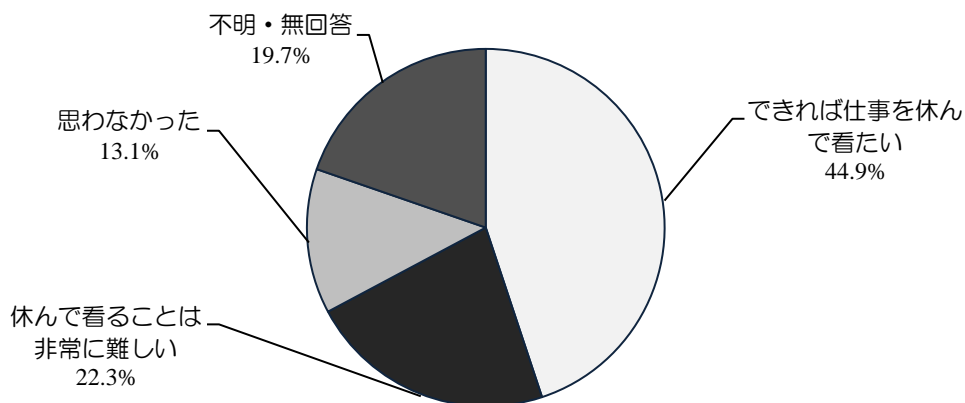


図 病児・病後児への対応希望（N=314）

休んで見たかった日数（数量回答）

- 仕事を休んで見たかった日数は、「6～10日」が最も高く（21.3%）、次いで「5日」（18.4%）となっています。

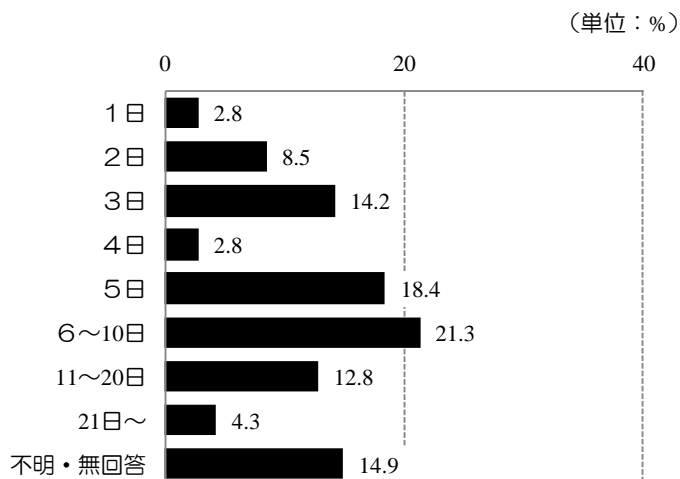


図 休んで見たかった日数（N=141）

問 19-6 「休んで見ることは非常に難しい」理由（複数回答）

※ 問 19-5 で「休んで見ることは非常に難しい」と回答した方を集計

- 「子どもの看護を理由に休めない」が最も高くなっています（48.6%）。

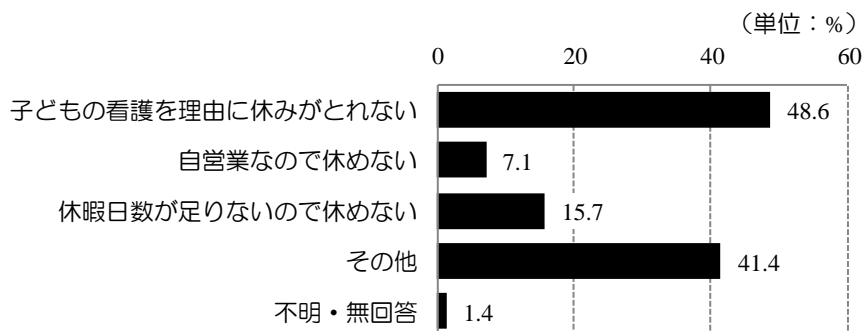


図 休んで見るのは難しい理由 (N=70)

7 不定期の教育・保育事業及び宿泊を伴う一時預かり等事業の利用状況

問 20 不定期に利用している教育・保育事業

利用状況（複数回答）

- 利用状況は、「利用していない」が最も高くなっています（82.1%）。
- 利用している事業では「一時預かり」が最も高くなっています（2.7%）。

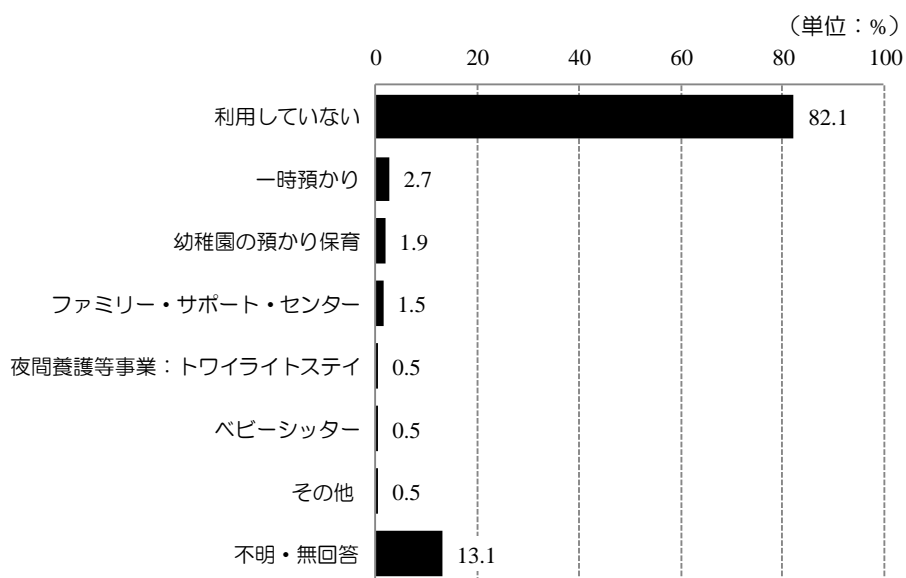


図 利用状況 (N=754)

表 利用日数/年間

上段：回答数 下段：%	1日	2日	3日	4日	5日	6～10日	11～20日	21日～	不明・無回答
一時預かり(N=20)	1 5.0	3 15.0	1 5.0	2 10.0	2 10.0	2 10.0	0 0.0	4 20.0	5 25.0
幼稚園の預かり保育(N=14)	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.1	1 7.1	8 57.1	3 21.4
ファミリー・サポート・センター(N=11)	1 9.1	1 9.1	1 9.1	0 0.0	1 9.1	1 9.1	1 9.1	0 0.0	5 45.5
夜間養護等事業：トワイライトステイ(N=4)	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0
ベビーシッター(N=4)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0
その他(N=4)	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0

問 20-1 利用していない理由（複数回答）

※ 問 20 で「利用していない」と回答した方を集計

- 利用していない理由は、「必要がないから」が最も高く（73.3%）、次いで「利用料がかかる・高い」（17.8%）、「利用方法がわからない」（15.5%）となっています。

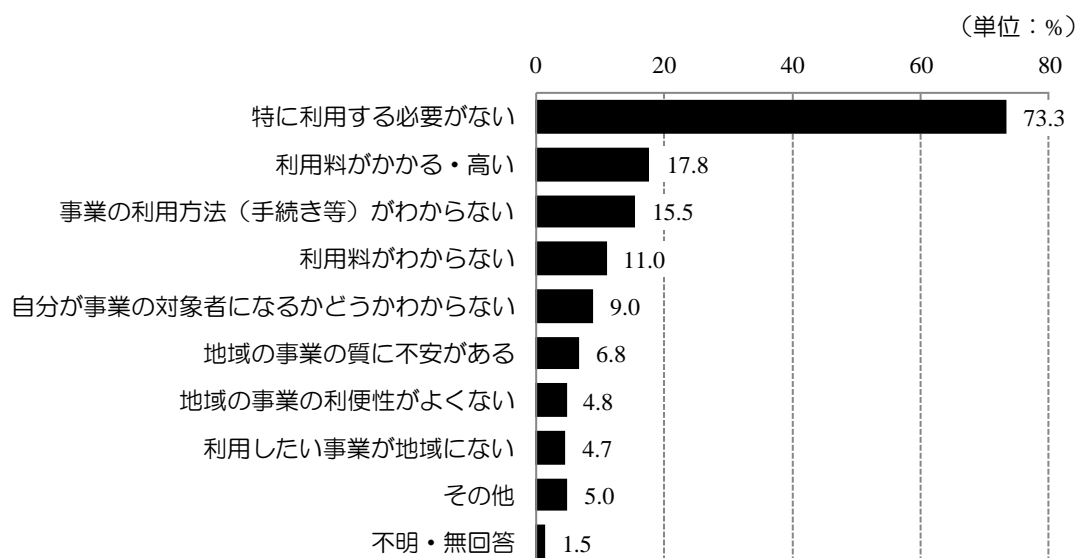


図 利用していない理由 (N=619)

問 21 不定期的な教育・保育事業の利用希望

利用希望（単数回答）

- 「利用する必要はない」（58.1%）が最も高くなっています。

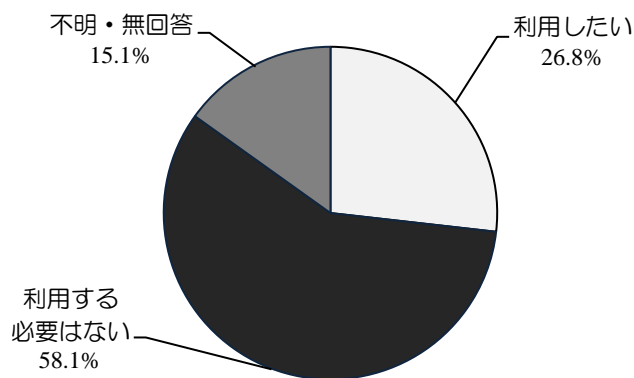


図 一時預かり事業の利用希望 (N=754)

一時預かり等の利用目的（複数回答）

※ 問 21 で「利用したい」と回答した方を集計

- 利用目的は、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が最も高く（56.9%）、次いで「私用、リフレッシュ目的」（56.4%）、となっています。

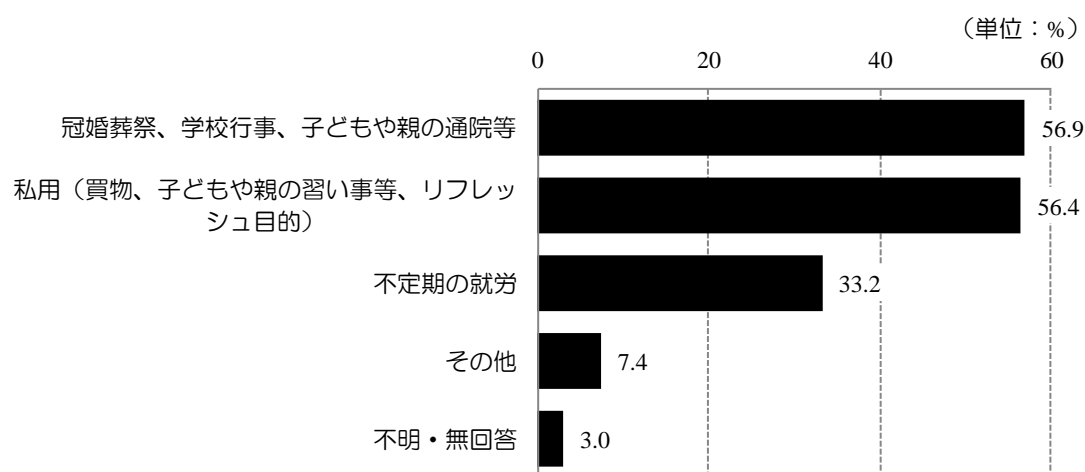


図 利用目的 (N=202)

目的別利用希望日数 年間計（数量回答）

上段：回答数 下段：%	1日	2日	3日	4日	5日	6～10日	11～20日	21日～	不明・無回答
	私用（買物、子どもや親の習い事等、リフレッシュ目的(N=114)	4 3.5	5 4.4	11 9.6	3 2.6	19 16.7	23 20.2	21 18.4	
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等(N=115)	4 3.5	9 7.8	10 8.7	3 2.6	30 26.1	24 20.9	12 10.4	6 5.2	17 14.8
不定期の就労(N=67)	2 3.0	3 4.5	3 4.5	0 0.0	9 13.4	8 11.9	14 20.9	14 20.9	14 20.9
その他(N=15)	0 0.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	2 13.3	1 6.7	0 0.0	6 40.0	5 33.3

表 目的別利用希望日数/年間

問 21-1 希望の事業形態（複数回答）

※ 問 21 で「利用したい」と回答した方を集計

- 希望の事業形態は、「大規模施設で子どもを保育する事業」が最も高く（73.8%）、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」（44.6%）となっています。

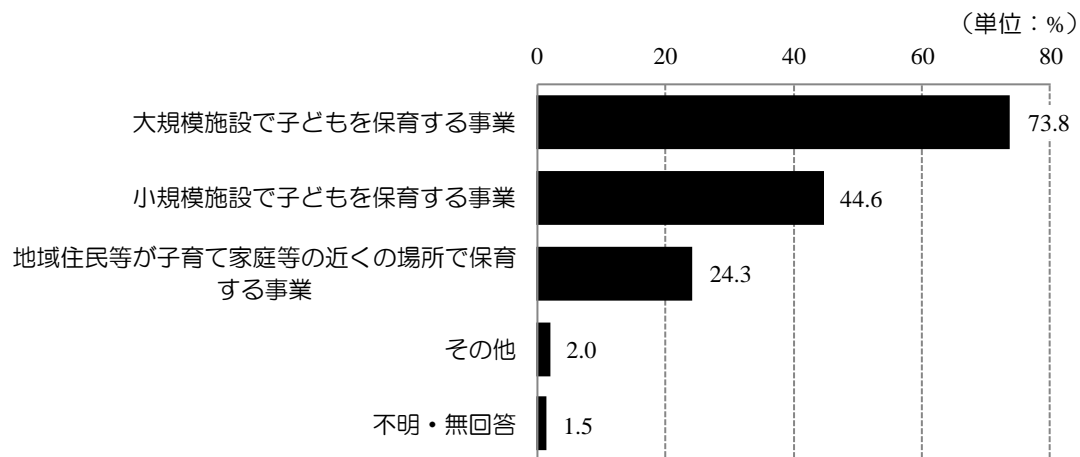


図 希望の事業形態 (N=202)

問 22 この 1 年間に保護者の用事により、泊まりがけの外出の有無

不在状況（単数回答）

- 保護者の用事により、泊まりがけで家族以外にみてもらったことが「あった」と回答した方は 20.4%となっています。

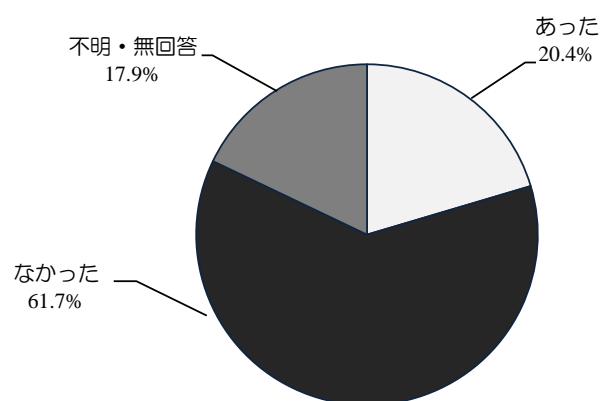


図 不在状況 (N=754)

対処方法（複数回答）

※ 問 22 で「あった」と回答した方を集計

- 対処方法は、「親族・知人にみてもらった」が最も高く（91.6%）、次いで「子どもを同行させた」（13.0%）となっています。

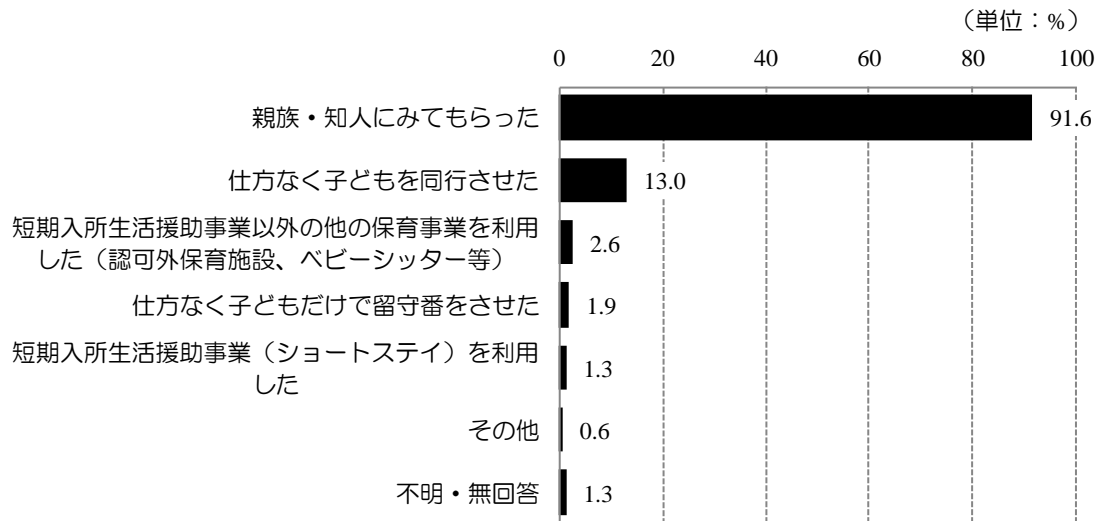


図 対処方法 (N=154)

年間泊数

上段：回答数 下段：%	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6~10泊	11~20泊	21泊~	不明・無回答
親族・知人にみてもらった (N=141)	27 19.1	24 17.0	16 11.3	7 5.0	13 9.2	30 21.3	14 9.9	4 2.8	6 4.3
短期入所生活援助事業を利用(N=2)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
短期入所生活援助事業以外(N=4)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0
子どもを同行させた (N=20)	5 25.0	5 25.0	3 15.0	0 0.0	1 5.0	3 15.0	0 0.0	0 0.0	3 15.0
子どもだけで留守番をさせた(N=3)	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7
その他(N=1)	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

表 年間泊数

問 22-1 問 22 で「親族・知人にみてもらった」場合の困難度（単数回答）

※ 問 22 で「親族・知人にみてもらった」と回答した方を集計

- 「特に困難ではない」が最も高く（57.5%）、次いで「どちらかというと困難」（32.6%）となっています。

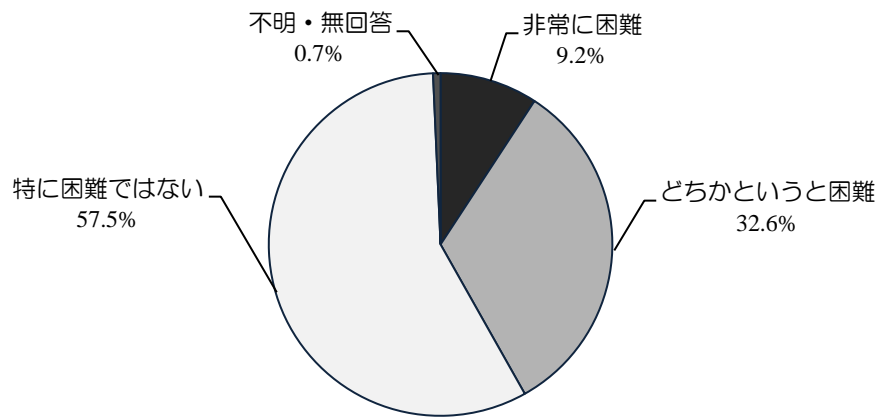


図 困難度（N=141）

8 地域の子育て支援事業の利用状況

問 23 地域子育て支援拠点事業の利用の有無

利用状況（単数回答）

- 「地域子育て支援拠点事業を利用」は 13.3%で、「利用していない」（84.1%）となっています。
- 定期的な保育事業を利用していない0～2歳では、地域子育て支援拠点事業を「利用していない」が高くなっています（57.3%）。

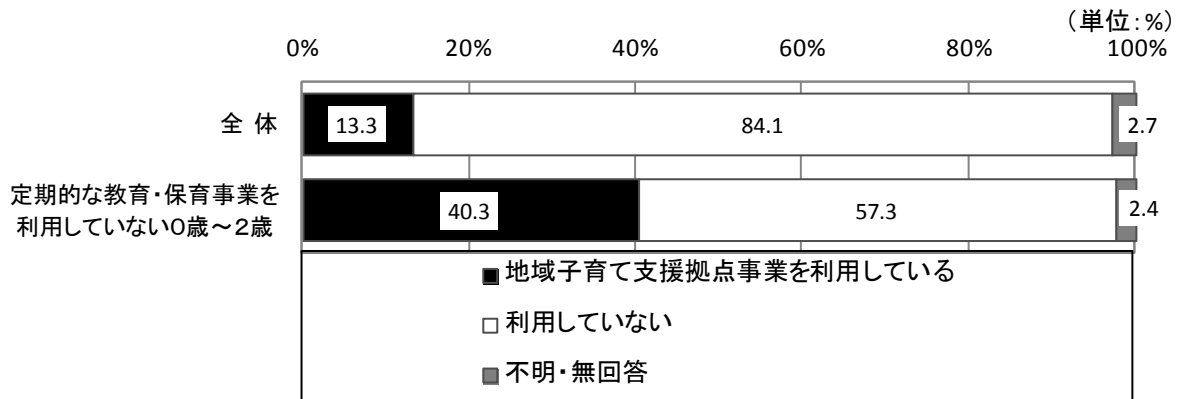


図 地域子育て支援事業の利用状況

[全体 (N=754)、定期的な教育・保育事業を利用していない0～2歳 (N=124)]

地域子育て支援拠点事業利用状況（数量回答）

- 地域子育て支援拠点事業の利用回数は、週あたり「2回」が最も高くなっています(15.0%)。
- 月あたりでは「1回」が最も高くなっています(32.0%)

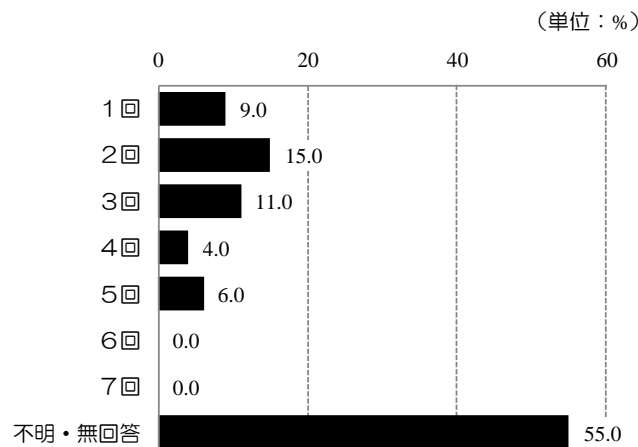


図 利用回数/週 (N=100)

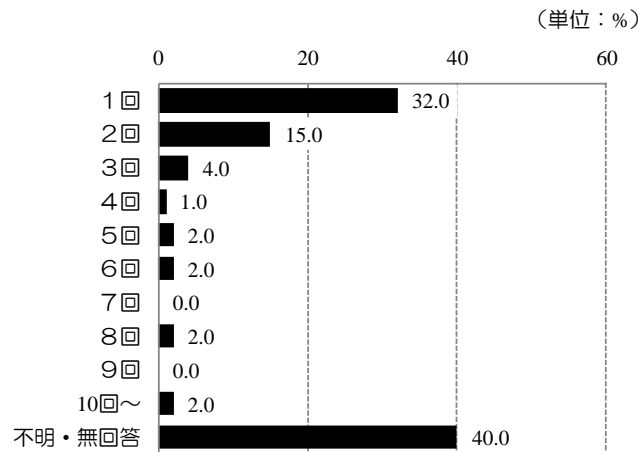


図 利用回数/月 (N=100)

問 24 地域子育て支援拠点事業の今後の利用について

今後の利用 (単数回答)

- 「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」(63.7%) が最も高く、次いで「利用していないが今後利用したい」(23.7%) となっています。
- 定期的な教育・保育事業を利用していない0～2歳では、「利用していないが、今後利用したい」が最も高くなっています (37.1%)。

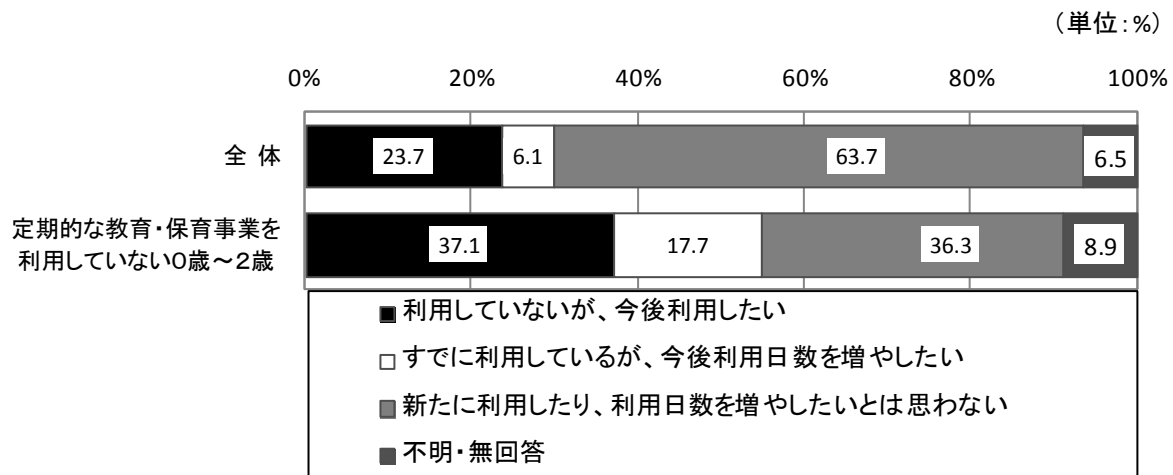


図 今後の利用希望

[全体 (N=754)、定期的な教育・保育事業を利用していない0～2歳 (N=124)]

地域子育て支援拠点事業 利用希望（数量回答）

- 「利用していないが、今後利用したい」は、週あたり「1回」が最も高くなっています（22.9%）。
- 月あたりでは「1回」が最も高くなっています（39.1%）。

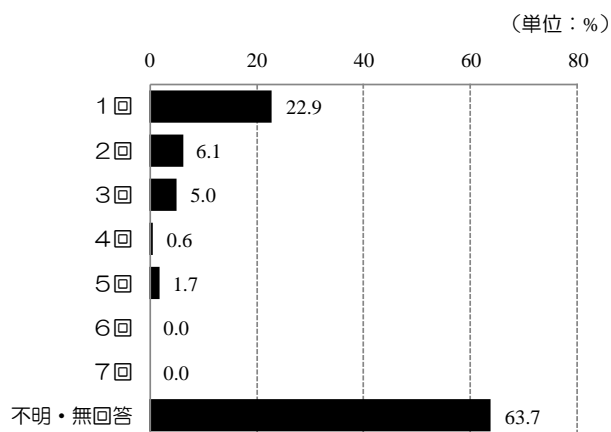


図 利用回数／週 (N=179)

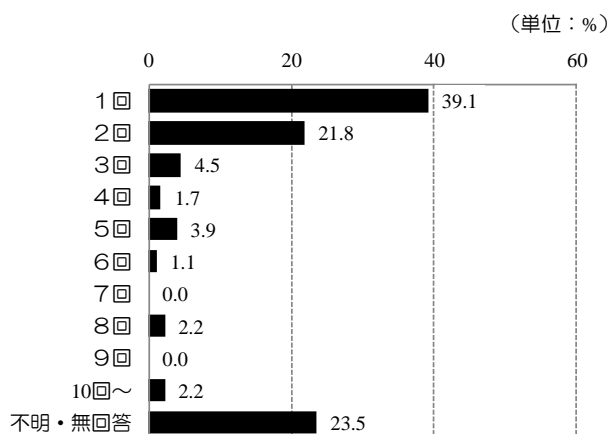


図 利用回数／月 (N=179)

地域子育て支援拠点事業 利用希望（数量回答）

- 「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」は、週あたり更に「1回」希望が最も高くなっています（26.1%）。
- 月あたりでは、更に「2回」程度希望が最も高くなっています（10.9%）。

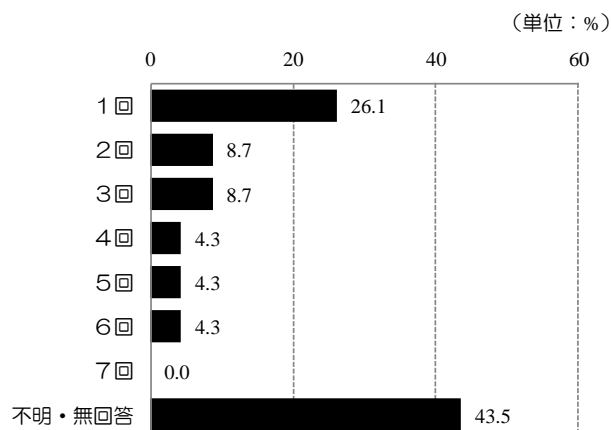


図 利用回数／週（N=46）

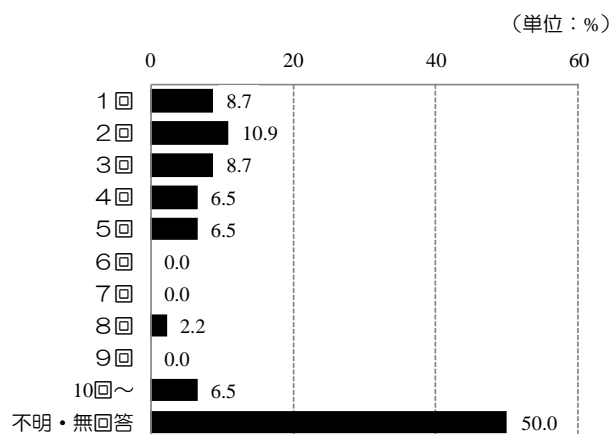


図 利用回数／月（N=46）

問 25 子育て支援サービス・事業の認知度／利用経験／今後の利用意向（単数回答）

【A】認知度

- 認知度は、「つどいの広場」が最も高く（81.0%）、次いで「母親（父親）学級、両親学級、育児学級」（75.7%）、「子育て支援センター」（75.2%）となっています。

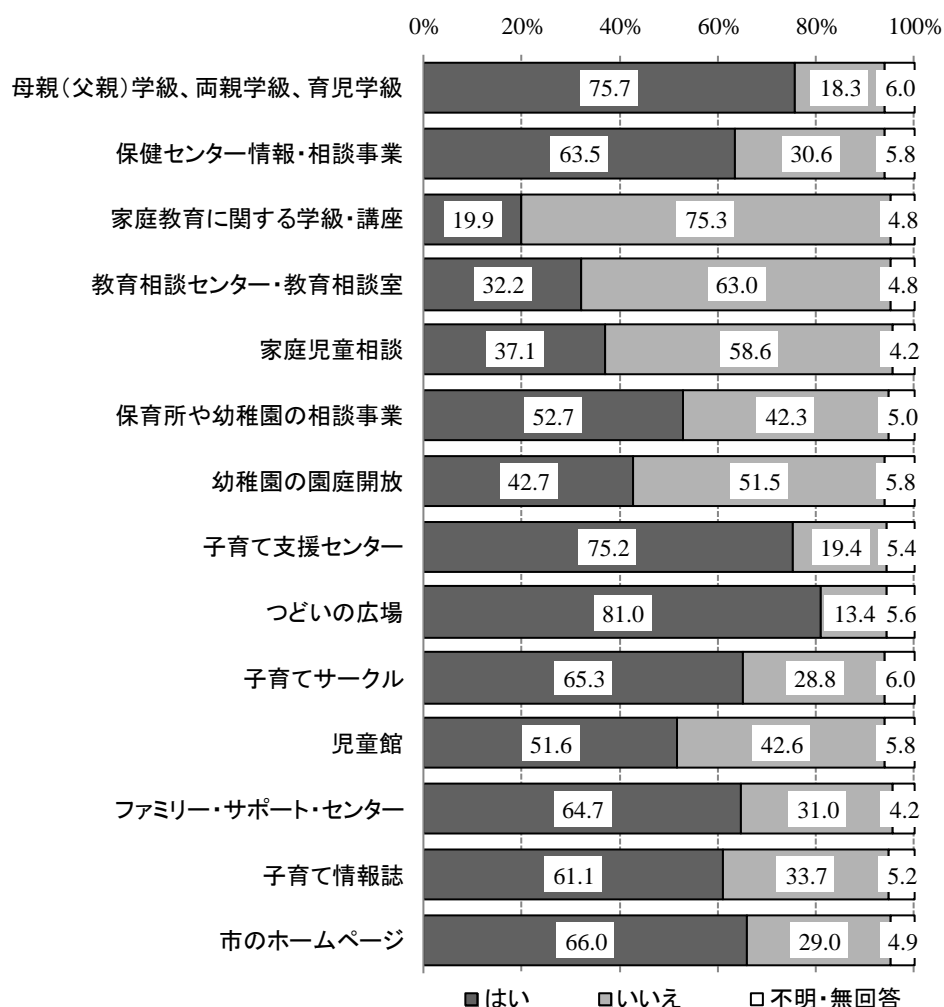


図 子育て支援サービス・事業の認知度（N=754）

【B】利用経験

- 利用経験は、「母親（父親）学級、両親学級、育児学級」が最も高く（39.7%）、次いで「市のホームページ」（31.3%）、「子育て情報誌」（31.0%）となっています。

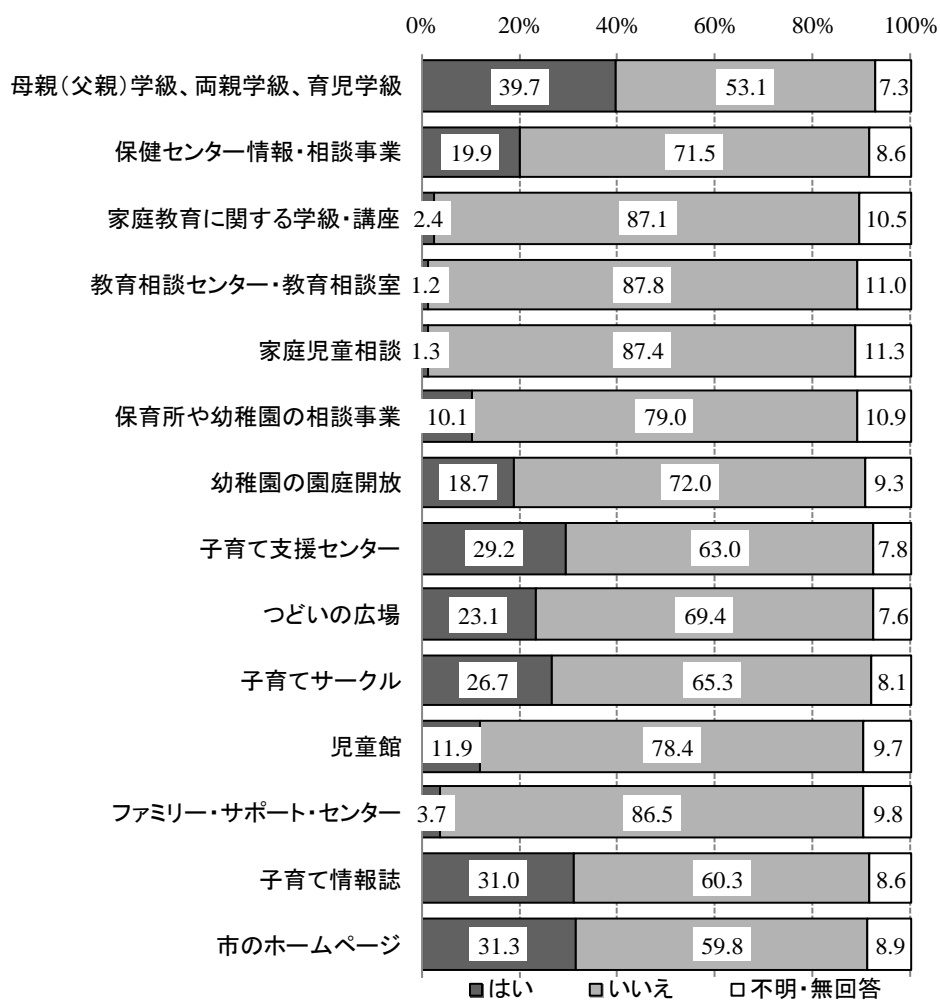


図 子育て支援サービス・事業の利用経験（N=754）

【C】今後の利用意向

- 今後利用したい子育て支援サービス・事業は、「子育て情報誌」が最も高く（51.3%）、次いで「市のホームページ」（50.7%）、「幼稚園の園庭開放」（48.1%）となっています。

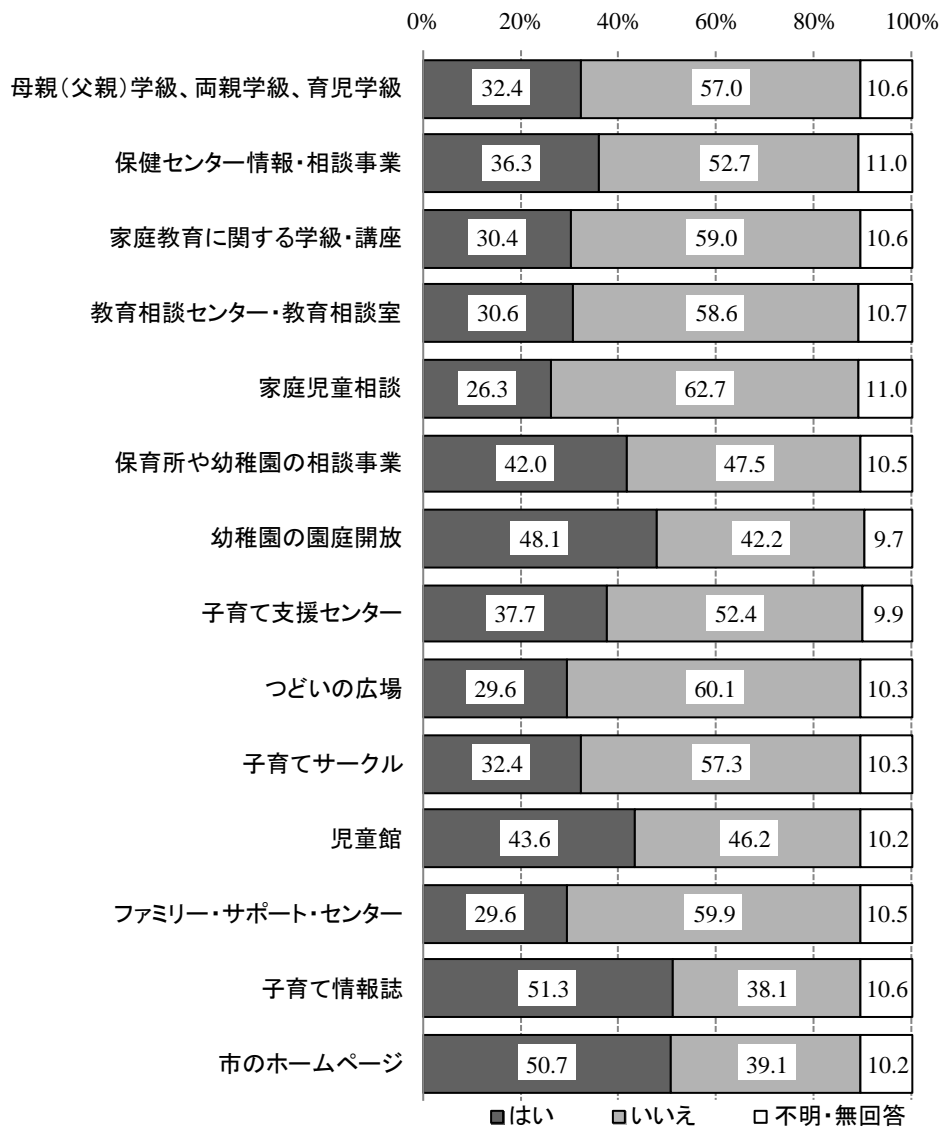


図 子育て支援サービス・事業の今後の利用意向 (N=754)

9 小学校就学後の放課後の過ごし方

※ 問 26～問 29 は、調査時点で5歳以上の就学前児童の保護者を対象に集計

問 26 小学校就学後（小学校 1～3 年生）における放課後の過ごし方

放課後の過ごし方（複数回答）

- 放課後の過ごし方の希望は、「放課後児童クラブ」が最も高く（52.0%）、次いで「自宅」（50.0%）、「習い事」（45.4%）となっています。

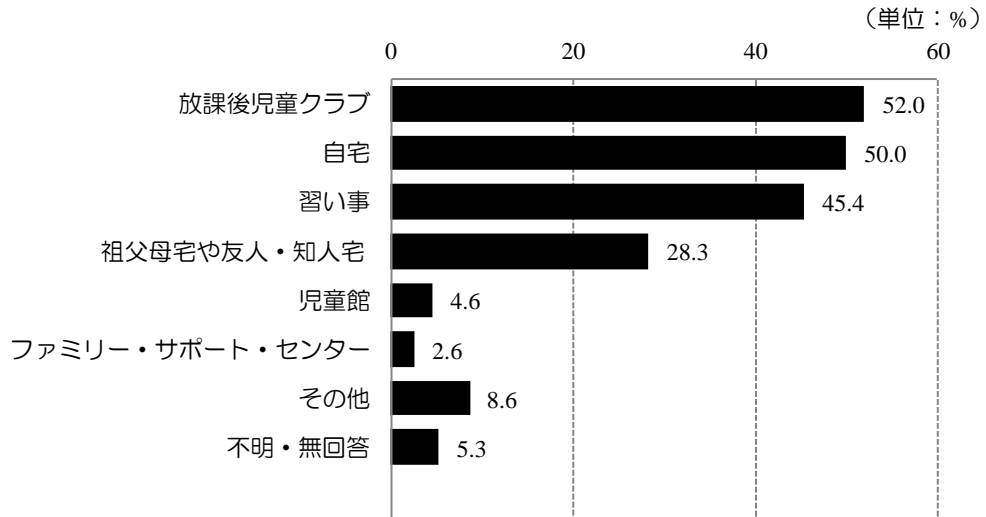


図 放課後の過ごし方 (N=152)

放課後児童クラブの利用希望時間（数量回答）

※ 問 26 で「放課後児童クラブ」と回答した方を集計

- 希望時間は、「17時まで」が最も高く（35.4%）、次いで「18時まで」（34.2%）となっています。

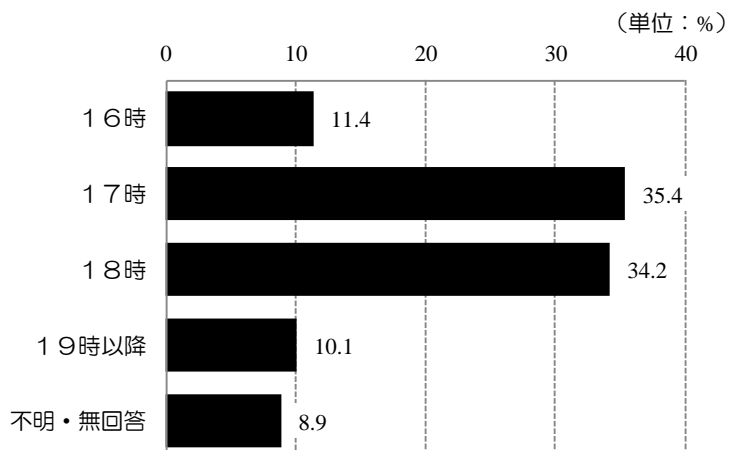


図 児童クラブの利用希望時間 (N=79)

希望日数

上段：回答数 下段：%	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	不明・ 無回答
自宅 (N=76)	5 6.6	8 10.5	11 14.5	11 14.5	30 39.5	0 0.0	3 3.9	8 10.5
祖父母宅や友人・知人宅 (N=43)	9 20.9	9 20.9	1 2.3	1 2.3	15 34.9	1 2.3	0 0.0	7 16.3
習い事(ピアノ教室、サッカー クラブ、学習塾など)(N=69)	32 46.4	24 34.8	8 11.6	2 2.9	2 2.9	0 0.0	0 0.0	1 1.4
児童館 (N=7)	0 0.0	2 28.6	0 0.0	0 0.0	2 28.6	0 0.0	0 0.0	3 42.9
放課後児童クラブ(N=79)	1 1.3	1 1.3	11 13.9	2 2.5	56 70.9	0 0.0	0 0.0	8 10.1
ファミリーサポートセンター (N=4)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0
その他(公民館、公園、 総合センターなど)(N=13)	6 46.2	3 23.1	0 0.0	0 0.0	1 7.7	0 0.0	0 0.0	3 23.1

表 希望日数/週

問 27 小学校高学年（小学校 4～6 年生）における放課後の過ごし方

放課後の過ごし方（複数回答）

- 放課後の過ごし方の希望は、「自宅」が最も高く（59.9%）、次いで「習い事」（52.6%）、
「放課後児童クラブ」（36.8%）となっています。

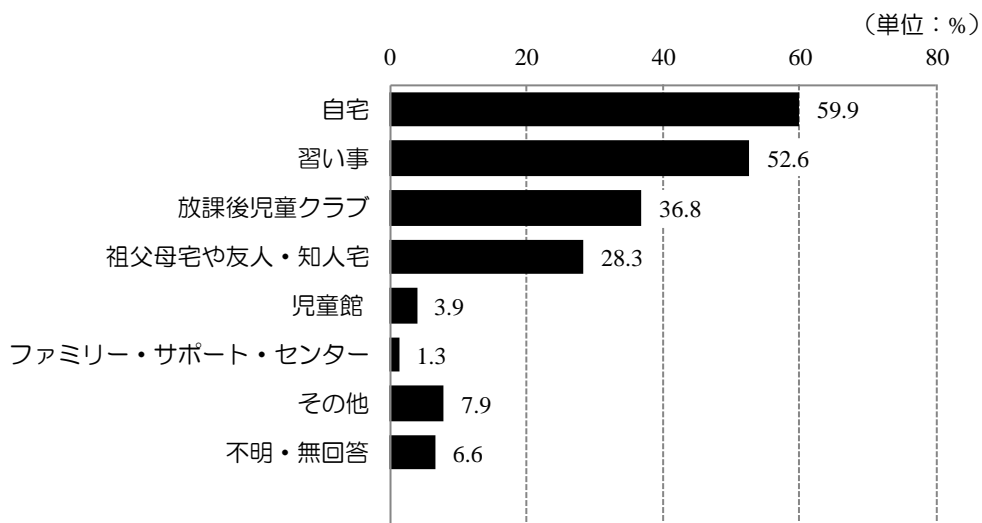


図 放課後の過ごし方（N=152）

放課後児童クラブの希望終了時間（数量回答）

※ 問 27 で「放課後児童クラブ」と回答した方を集計

- 放課後児童クラブの希望終了時間は、「17 時」が最も高く（35.7%）、次いで「18 時」（32.1%）となっています。

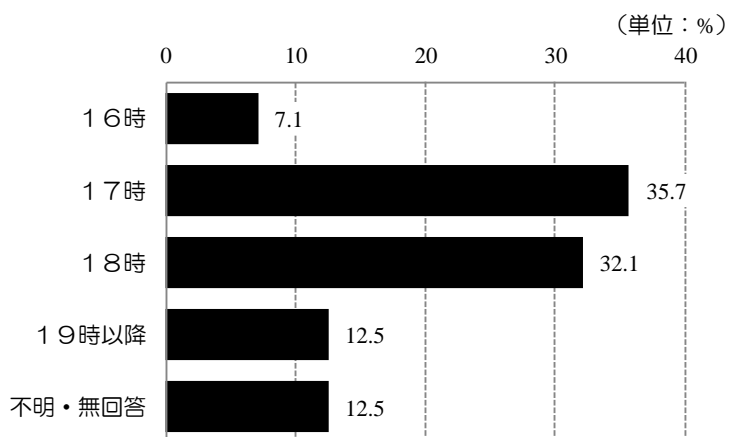


図 放課後児童クラブ 希望終了時間（N=56）

希望日数

上段：回答数 下段：%	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	不明・ 無回答
自宅 (N=91)	4 4.4	19 20.9	16 17.6	6 6.6	34 37.4	1 1.1	3 3.3	8 8.8
祖父母宅や友人・知人宅 (N=43)	9 20.9	8 18.6	4 9.3	0 0.0	16 37.2	1 2.3	0 0.0	5 11.6
習い事(ピアノ教室、サッカー クラブ、学習塾など)(N=80)	23 28.8	31 38.8	13 16.3	4 5.0	3 3.8	0 0.0	0 0.0	6 7.5
児童館 (N=6)	1 16.7	1 16.7	1 16.7	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	2 33.3
放課後児童クラブ(N=56)	0 0.0	5 8.9	9 16.1	5 8.9	29 51.8	0 0.0	0 0.0	8 14.3
ファミリーサポートセンター (N=2)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
その他(公民館、公園、総 合センターなど)(N=12)	5 41.7	4 33.3	0 0.0	0 0.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0	2 16.7

表 希望日数/週

問 28 土曜日と日曜・祝日の児童ホームの利用希望

※ 問 26 または問 27 で「放課後児童クラブ（学童保育）」を選ばれた方を対象

【土曜日】

利用希望（単数回答）

- 土曜日の利用希望は、「利用する必要はない」が最も高く（53.6%）、次いで「高学年になっても利用したい」（26.2%）となっています。

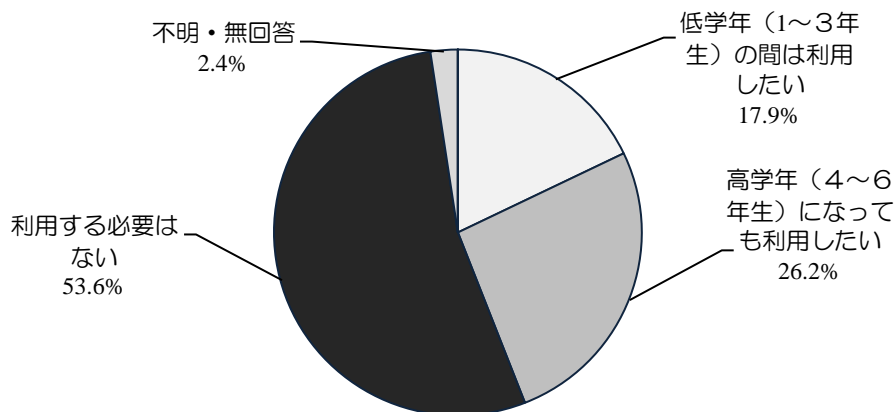


図 利用希望 土曜日 (N=84)

利用希望時間帯（数量回答）

※ 「利用したい」と回答した方を集計

- 開始時間は「8時」が最も高く（59.5%）、次いで「9時」（24.3%）となっています。
- 終了時間は、「18時」が最も高く（37.8%）、次いで「15時以前」（27.0%）となっています。

開始時間（希望）

（単位：％）

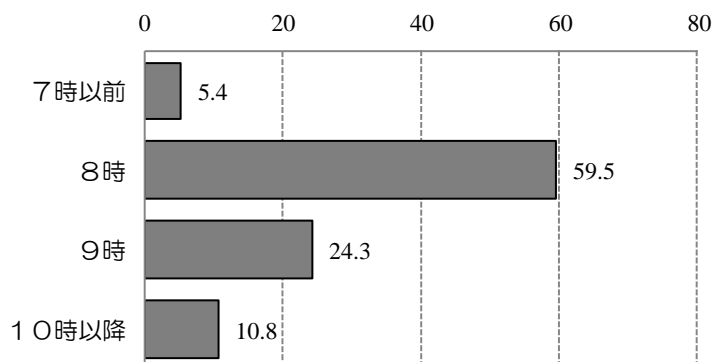


図 利用希望時間帯 土曜日 (N=37)

終了時間（希望）

（単位：％）

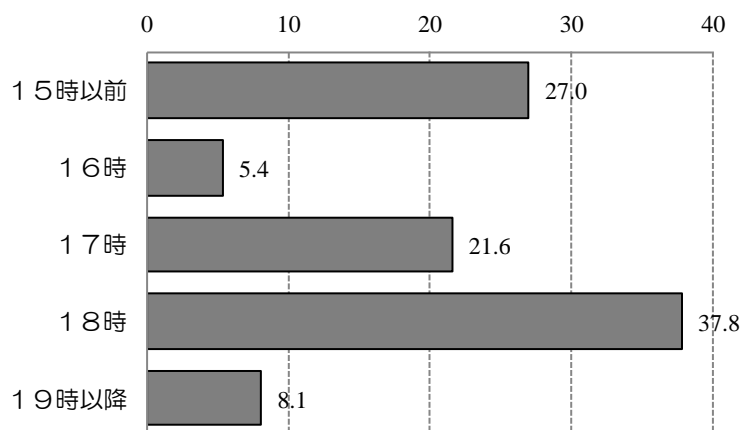


図 利用希望時間帯 土曜日 (N=37)

【日曜・祝日】

利用希望（単数回答）

- 利用希望は、「利用する必要はない」が最も高く（84.5%）、次いで「高学年になっても利用したい」（9.5%）となっています。

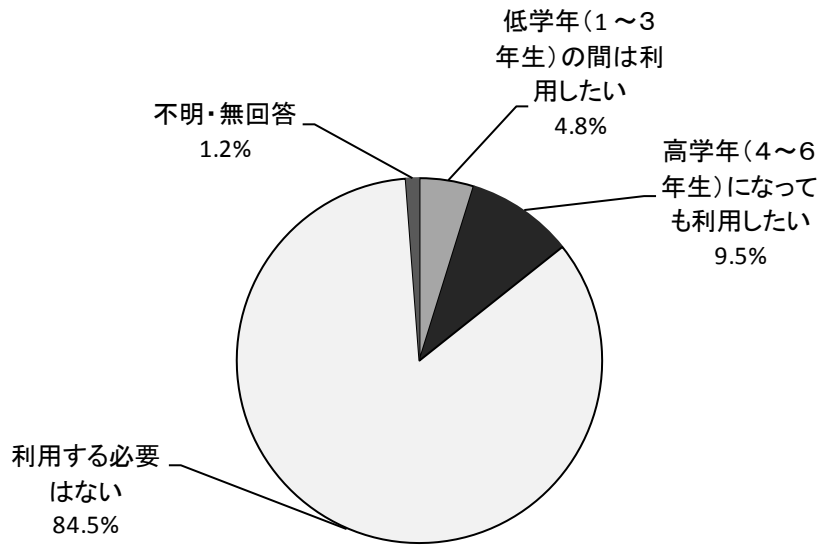


図 利用希望 日曜・祝日 (N=84)

利用希望時間帯（数量回答）

※ 「利用したい」と回答した方を集計

- 開始時間は「8時」が最も高く（58.3%）、次いで「9時」（16.7%）となっています。
- 終了時間は、「17時」が最も高く（41.7%）、次いで「18時」（25.0%）となっています。

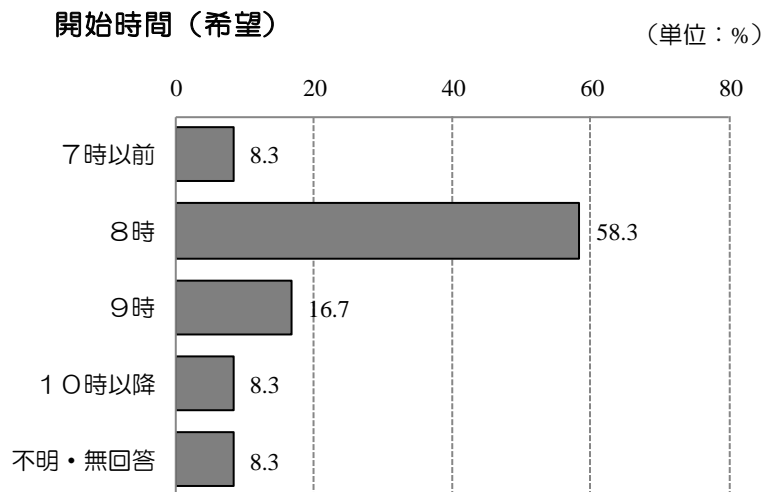


図 利用希望時間帯 日曜・祝日 (N=12)

終了時間(希望)

(単位：%)

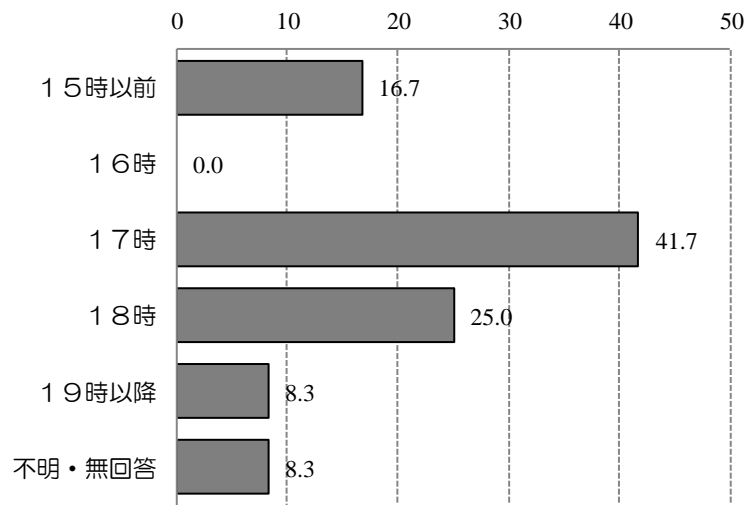


図 利用希望時間帯 日曜・祝日 (N=12)

問 29 長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望

利用希望 (単数回答)

- 利用希望は、「高学年になっても利用したい」が最も高くなっています (36.8%)。次いで、「低学年の間は利用したい」(31.6%)、「利用する必要はない」(23.0%)となっています。

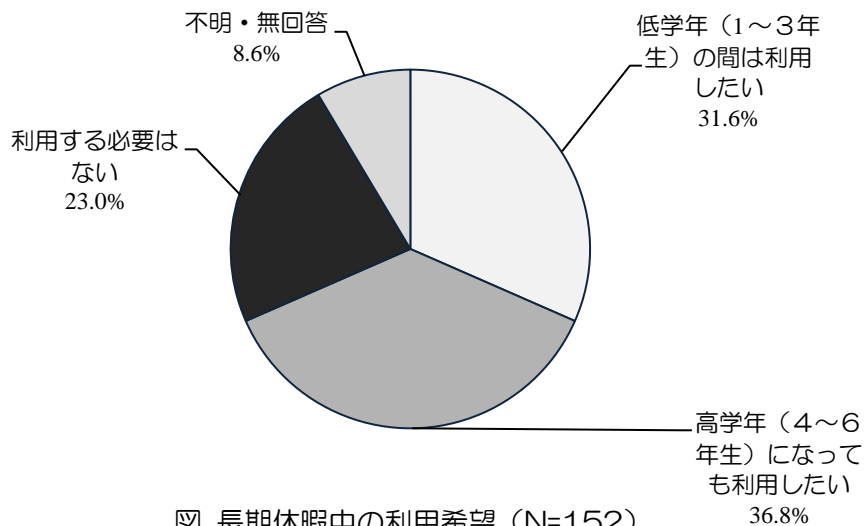


図 長期休暇中の利用希望 (N=152)

利用希望時間帯（数量回答）

※ 「利用したい」と回答した方を集計

- 開始時間は「8時」が最も高く（54.8%）、次いで「9時」（32.7%）となっています。
- 終了時間は、「17時」が最も高く（33.7%）、次いで「18時」（28.8%）となっています。

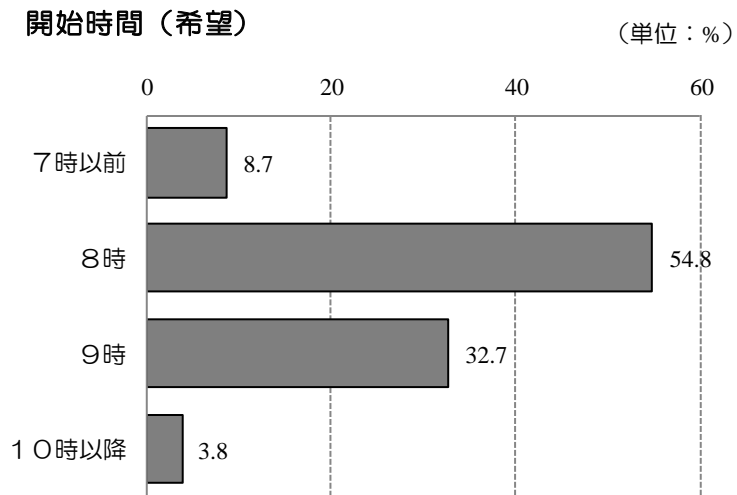


図 長期休暇中の利用時間帯 希望 (N=104)

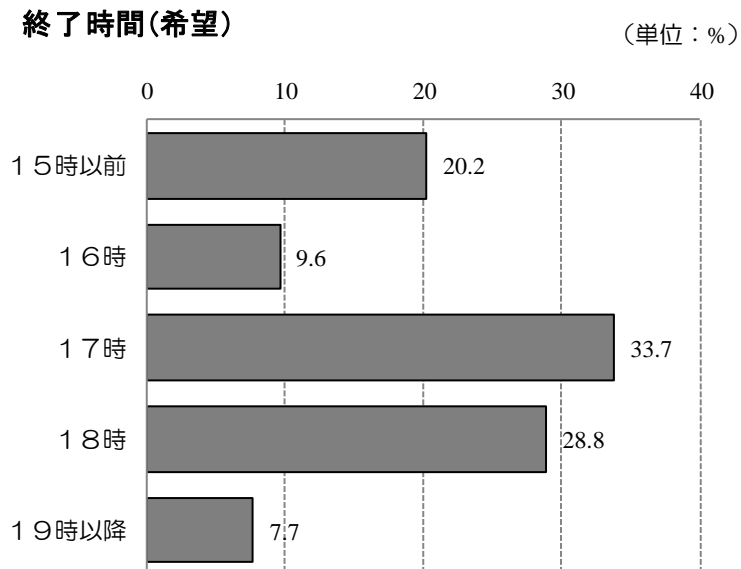


図 長期休暇中の利用時間帯 希望 (N=104)

10 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 30 育児休業取得者（単数回答）

- 育児休業取得者は、「母親」38.7%、「父親」1.2%、となっています。

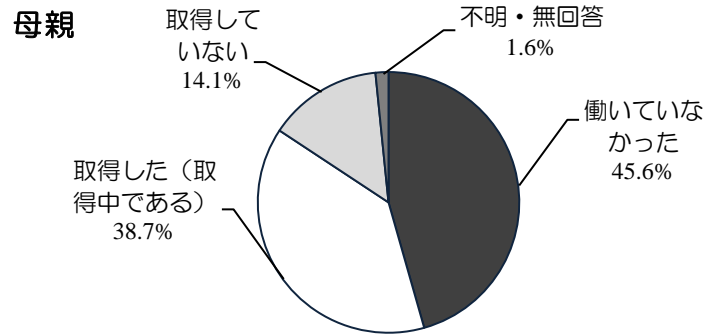


図 育児休業取得者（N=754）

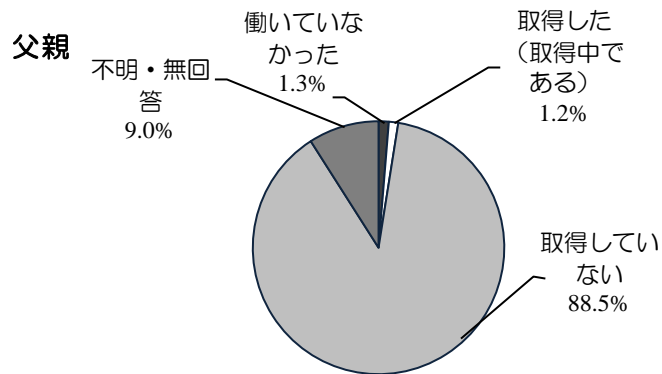


図 育児休業取得者（N=754）

育児休業を取得していない理由（数量回答）

※「取得していない」と回答した方を集計

- 育児休業を取得していない理由は、母親では「子育てや家事に専念するために退職した」（33.0%）が最も高く、次いで「職場に育児休業をとりにくい雰囲気があった」（18.9%）となっています。
- 父親の理由は、「仕事が忙しかった」が最も高く（40.3%）、次いで「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」（36.0%）となっています。

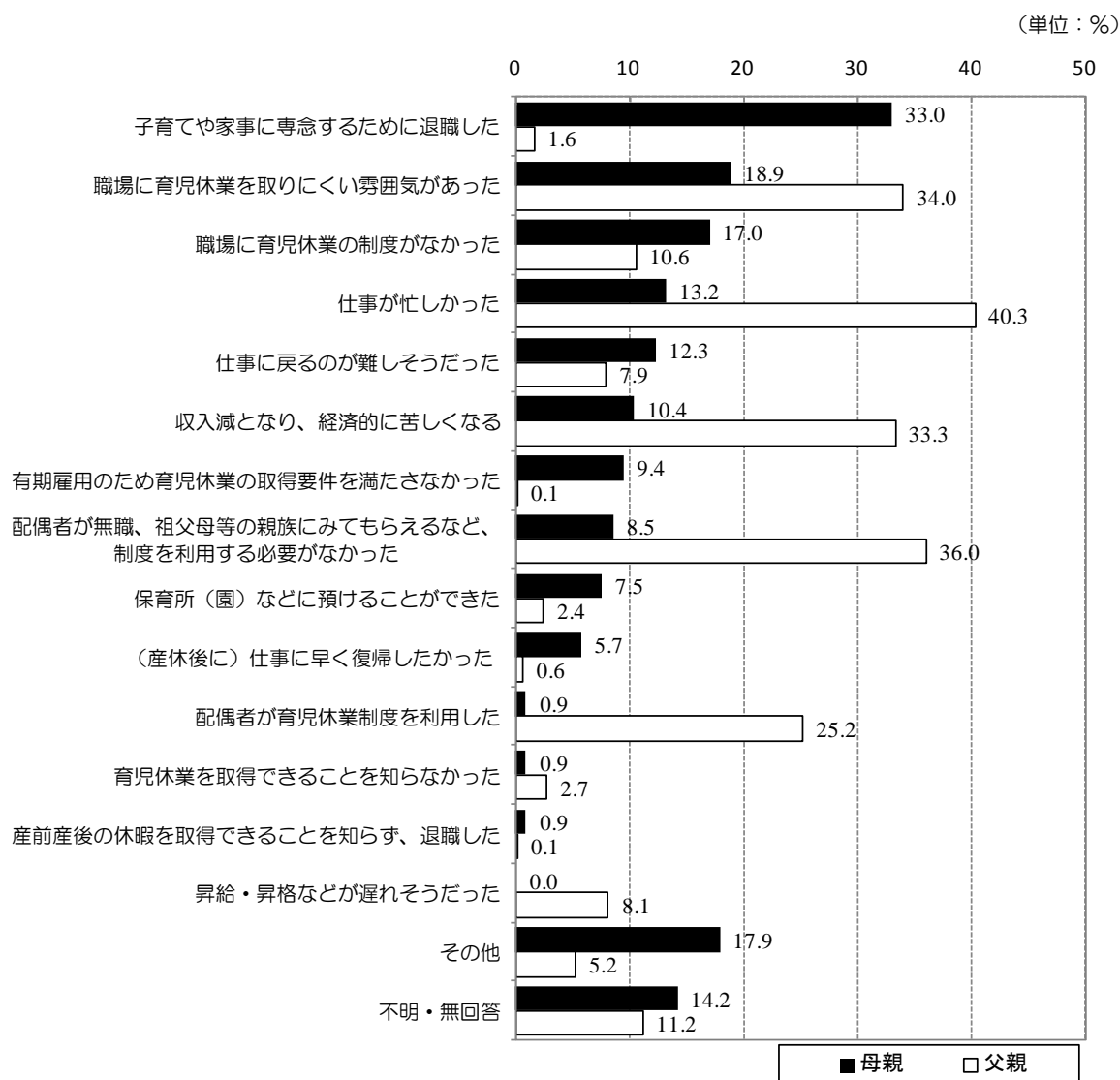


図 取得していない理由 母親（N=106）、父親（N=667）

問 30-1 育児休業給付・保険料免除の認知（単数回答）

- 育児休業給付・保険料免除について、「いずれも知っていた」36.7%、「いずれも知らなかった」32.0%となっています。

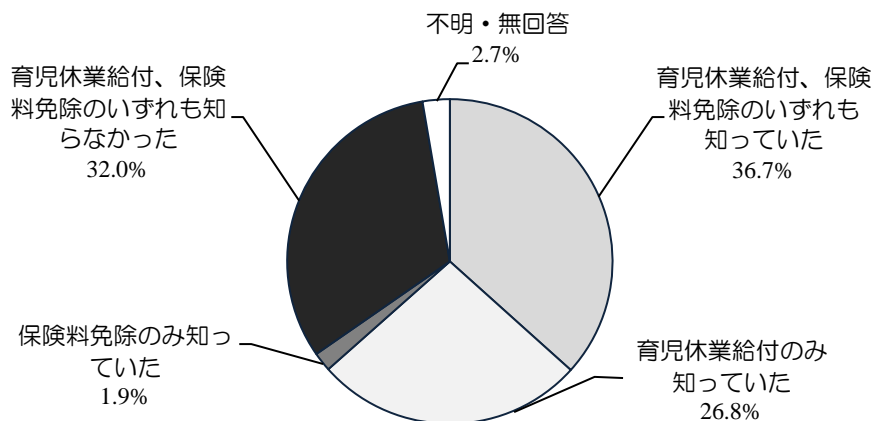


図 育児休業給付・保険料免除の認知 (N=754)

問 30-2 育児休業取得後の職場復帰（単数回答）

※ 問 30 で「取得した（取得中である）」を選ばれた方を対象

- 育児休業取得後について、母親・父親ともに「復帰した」が最も高く、「母親」81.8%、「父親」33.3%となっています。

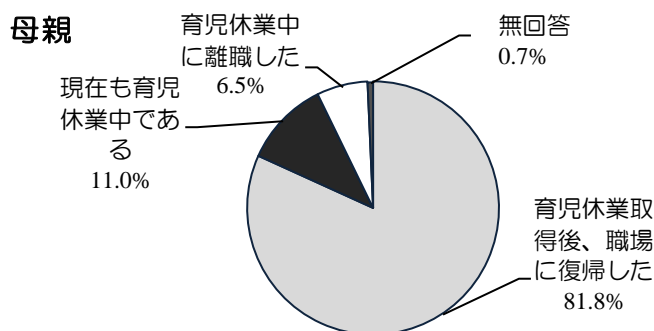


図 育児休業取得者 (N=292)

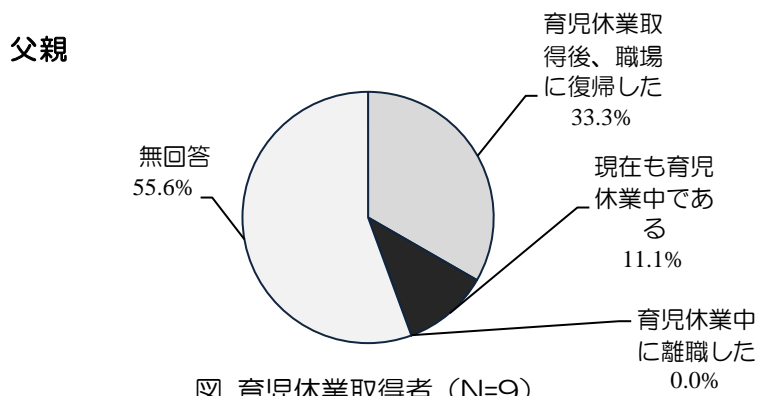


図 育児休業取得者 (N=9)

問 30-3 職場復帰のタイミング（単数回答）

※ 問 30-2 で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選ばれた方を対象

- 育児休業取得後に職場復帰したのは、母親・父親ともに「年度初めの保育所入所に合わせたタイミング以外」が高く、「母親」67.0%、「父親」100%となっています。

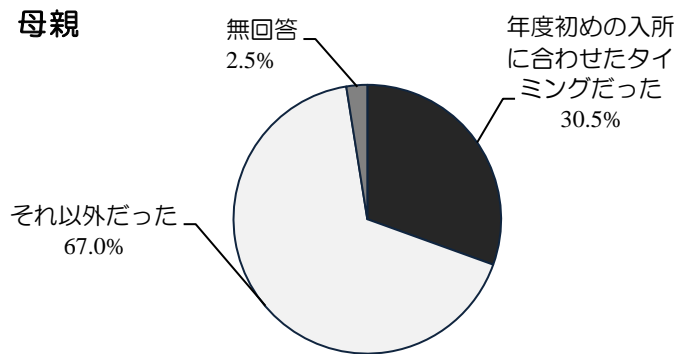


図 職場復帰タイミング（N=239）

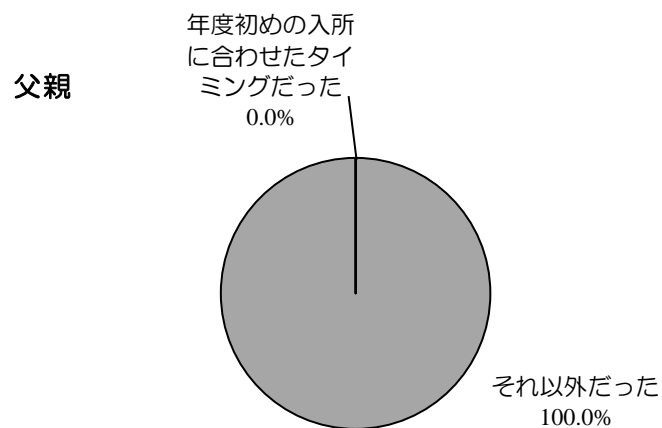


図 職場復帰タイミング（N=3）

問 30-4 復職時の子どもの月齢（数量回答）

※ 問 30-2 で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選ばれた方を対象
 実際の取得期間

- 母親の復職時の子どもの月齢は、「1歳～1歳6ヶ月」が最も高く（23.4%）、次いで「0歳7ヶ月～1歳1ヶ月」（19.7%）となっています。

実際の取得期間

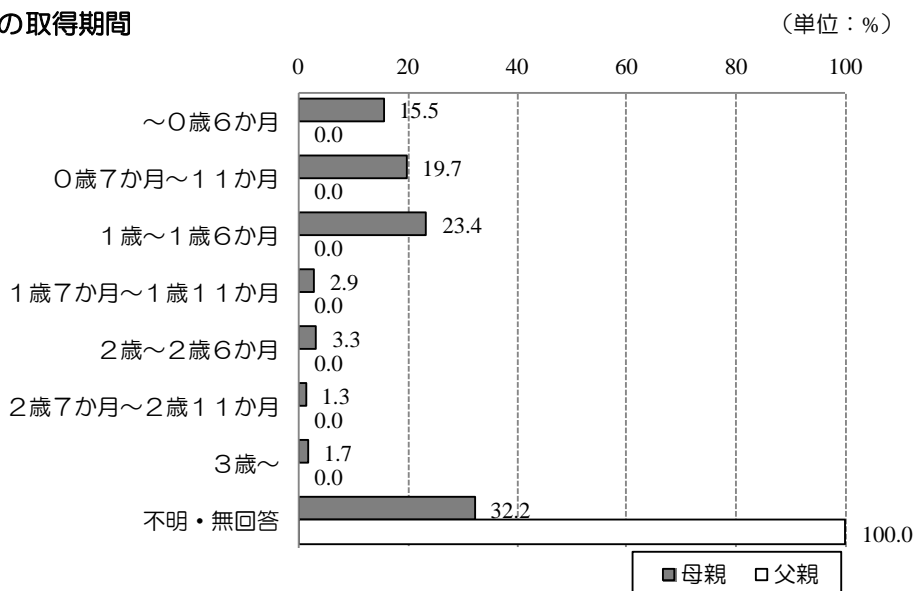


図 復職時の子どもの月齢 [母親 (N=239)、父親 (N=3)]

希望の取得期間

- 母親の復職時の子どもの月齢は、「1歳～1歳6ヶ月」が最も高く（17.6%）、次いで「～0歳6ヶ月」（4.6%）となっています。

希望の取得期間

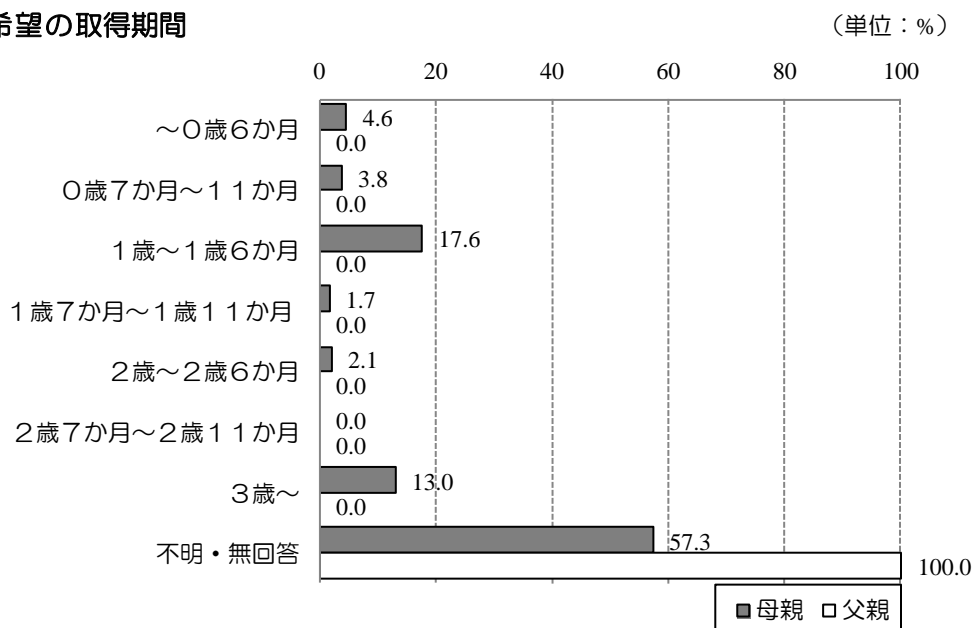


図 復職時の子どもの月齢 希望 [母親 (N=239)、父親 (N=3)]

問 30-5 3歳まで休暇取得できる制度があった場合の希望（数量回答）

※ 問 30-2 で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選ばれた方を対象
希望取得期間

- 子どもの月齢が3歳まで取得できる場合、母親の希望は、「3歳以上」が最も高く（35.6%）、次いで「1歳～1歳6ヶ月」（16.3%）となっています。
- 父親の希望は、「3歳以上」が最も高くなっています（33.3%）。

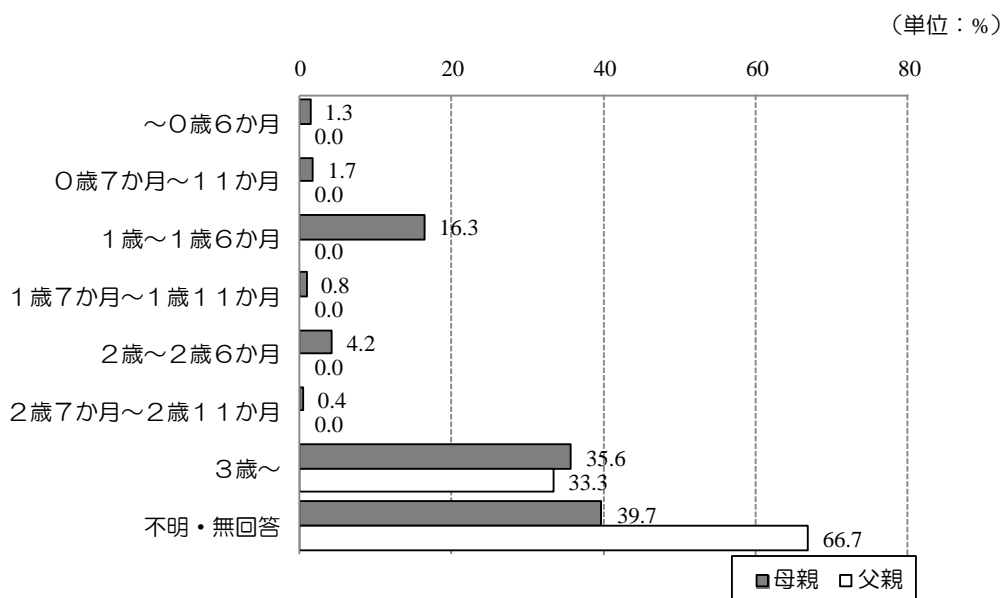


図 復職時の子どもの月齢 3歳まで取得できる場合の希望
[母親 (N=239)、父親 (N=3)]

問 30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由（複数回答）

※ 問 30-4 で実際の復帰と希望が異なる方を対象
(1) 希望より早い復帰の理由

- 母親の理由は、「経済的な理由」が最も高く（33.3%）、次いで「人事異動や業務の節目に合わせるため」（27.0%）となっています。

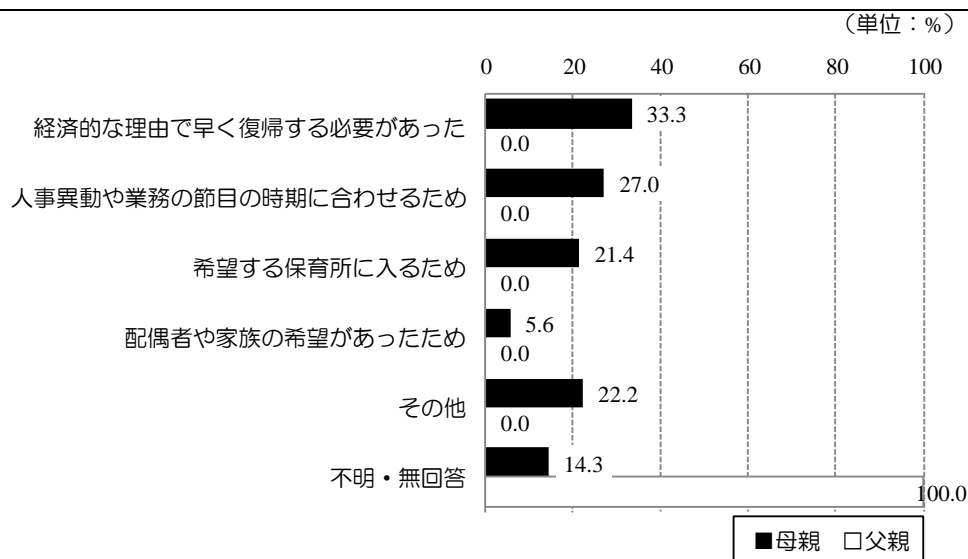


図 早い職場復帰の理由[母親 (N=126)、父親 (N=4)]

(2) 希望より遅い復帰の理由

- 母親の理由は、「希望する保育所に入れなかったため」が最も高く（43.8%）、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」（12.5%）となっています。

※父親は該当者がありません。

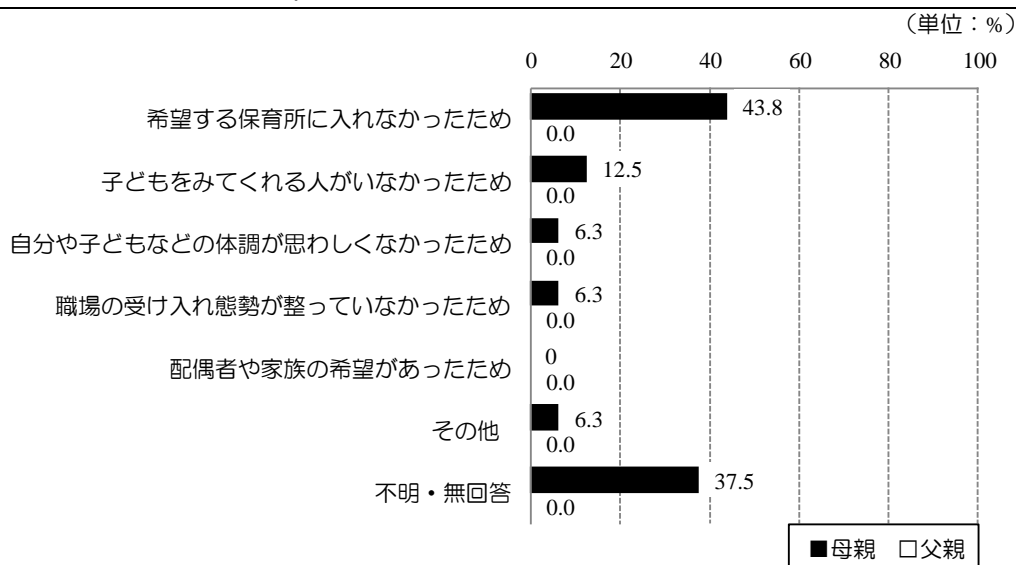


図 遅い職場復帰の理由[母親 (N=16)、父親 (N=0)]

問 30-7 短時間勤務制度の利用の有無（単数回答）

※ 問 30-2 で「育児休業取得後に、職場復帰した」と回答した方を対象

- 職場復帰時に「短時間勤務制度を利用した」は、母親で 26.8%、父親 0%となっています。

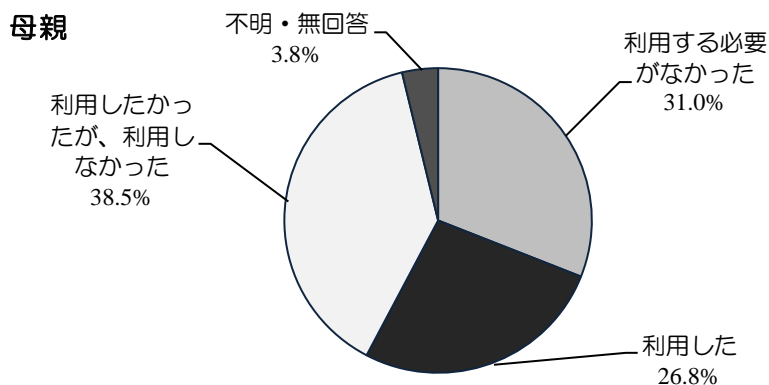


図 職場復帰タイミング (N=239)

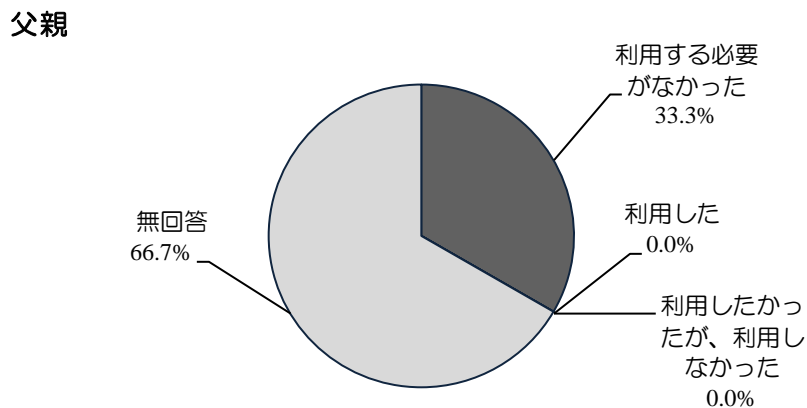


図 職場復帰タイミング (N=3)

問 30-8 短時間勤務制度を利用しなかった理由（複数回答）

※ 問 30-7 で「利用したかったが、利用しなかった（できなかった）」と回答した方を対象

- 母親では、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」（68.5%）が最も高く、次いで「仕事が忙しかった」（41.3%）となっています。※父親は該当者がありません。

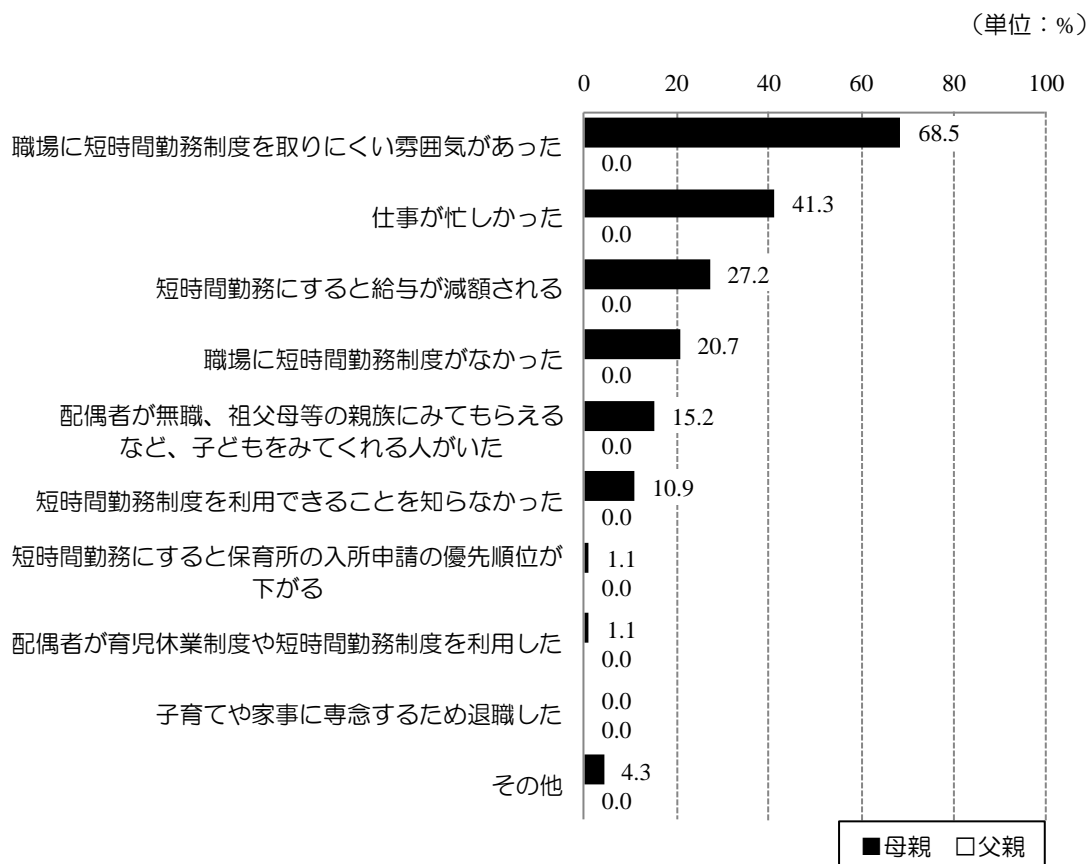


図 短時間勤務制度を利用しなかった理由
[母親 (N=92)、父親 (N=0)]

問 30-9 1歳で必ず利用できる保育事業があるときの育児休業の取得希望（複数回答）

※ 問 30-2 で「現在も育児休業中である」と回答した方を対象

- 「1歳になるまで育児休業を取得したい」は、母親が78.1%となっています。
- 「1歳になる前に復帰したい」は、母親が3.1%となっています。※父親は該当者がありません。

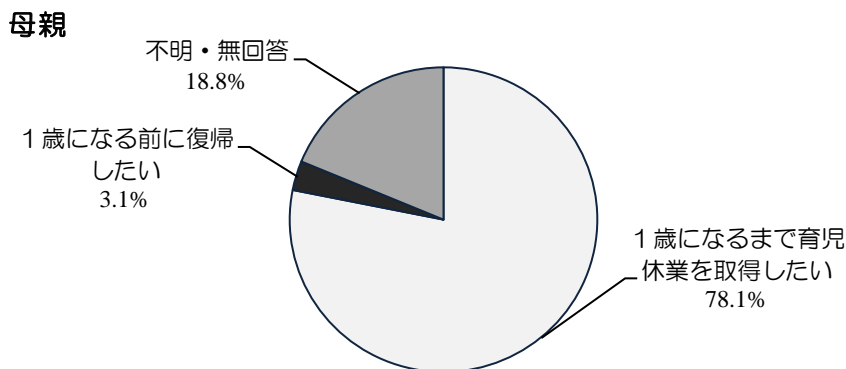


図 育児休業取得 希望 (N=32)

父親

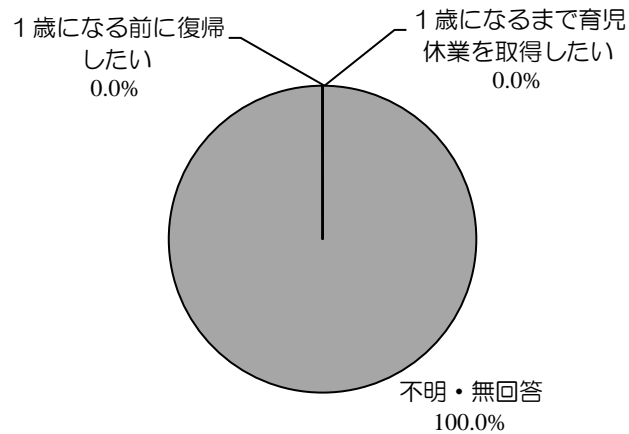


図 育児休業取得 希望 (N=1)

問 31 子育て環境や支援の満足度 (単数回答)

※ 満足度が低い～満足度が高いを、1～5の5段階で評価

- 地域における子育て環境や支援の満足度は、「3 中くらい」(45.5%)が最も高く、次いで「2 やや低い」(23.2%)となっています。
- 居住地区別満足度は、金山地区が最も高くなっています(2.84ポイント)。

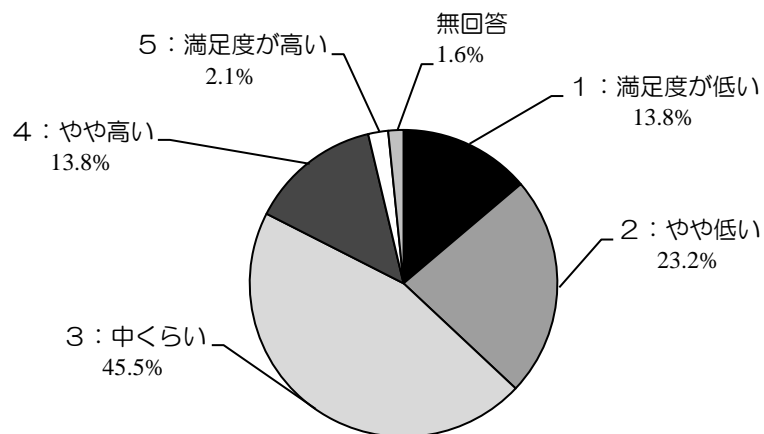


図 満足度 (N=754)

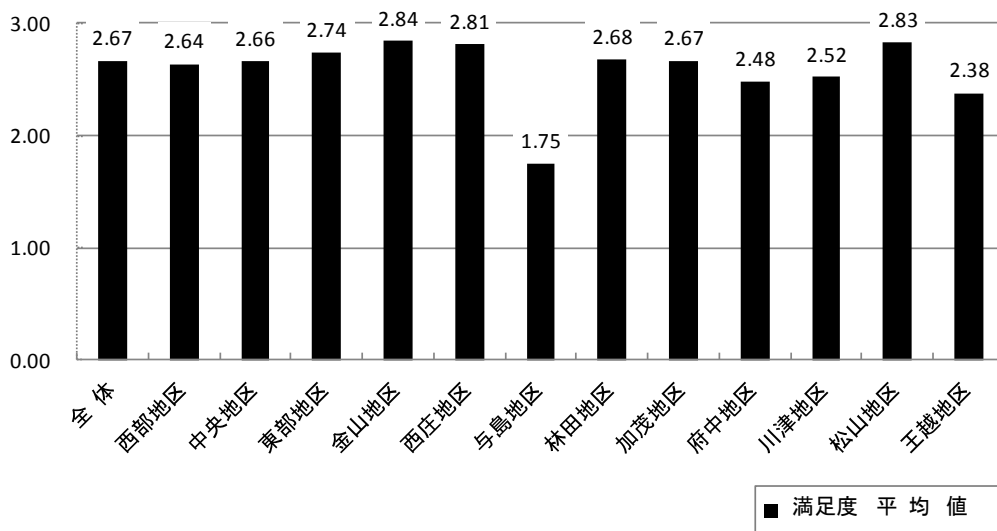
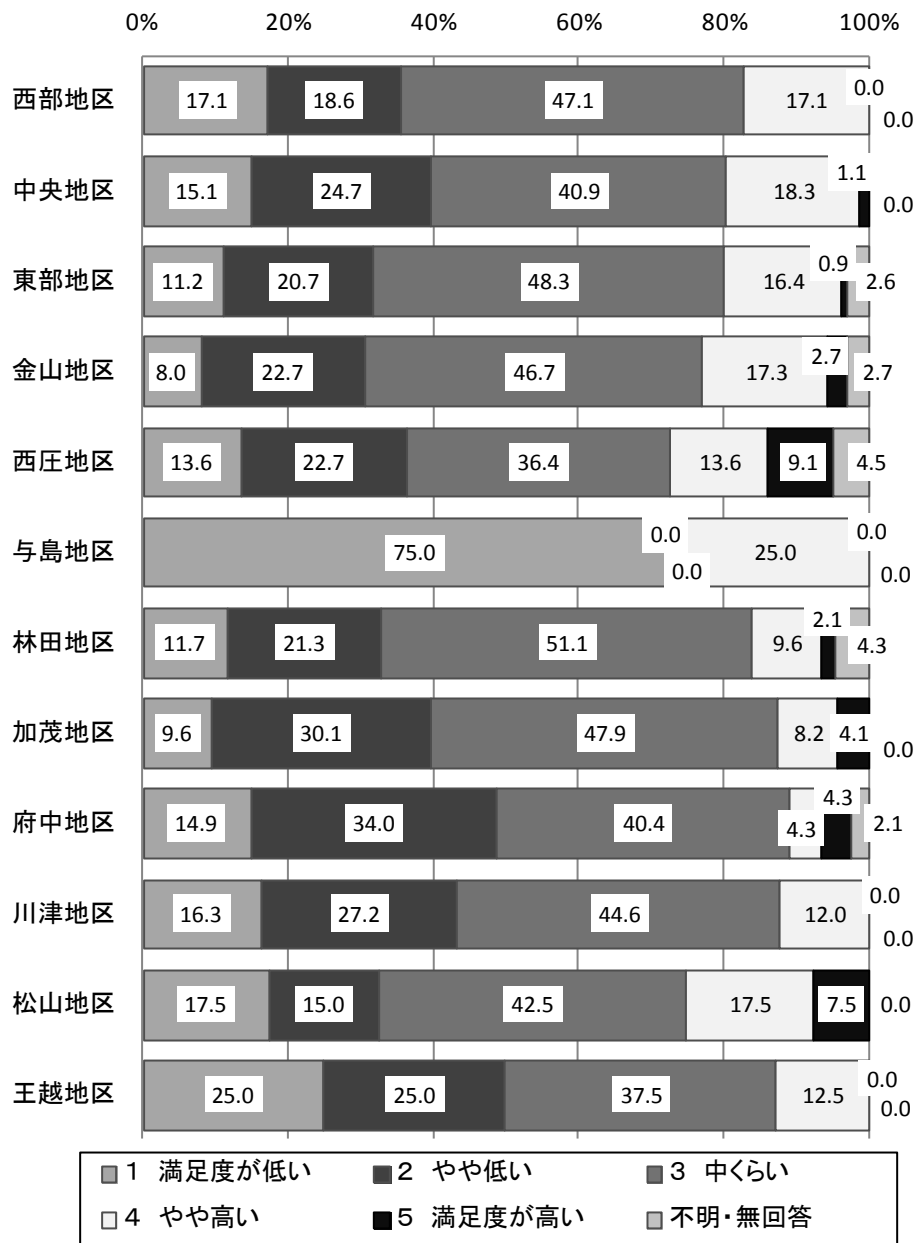
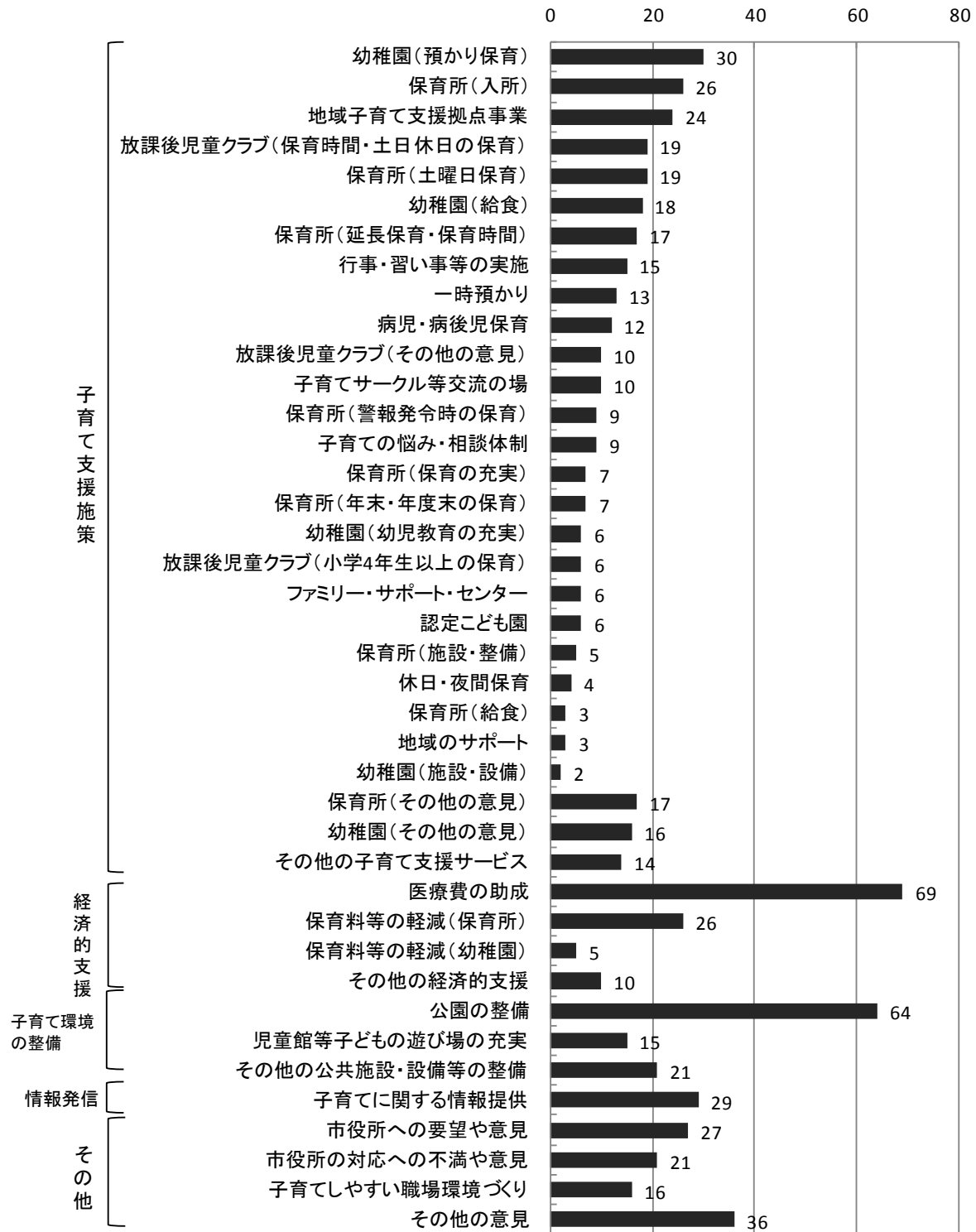


図 居住地区別支援満足度 (N=754)

問 32 子育て環境や支援に関する意見・要望（自由回答）

(件数)



III 小学生保護者対象調査結果

1 回答者の属性

問1 居住地区（単数回答）

- 居住地区は、「東部地区」が最も高く（14.5%）、次いで「中央地区」（13.7%）、「川津地区」（12.0%）となっています。

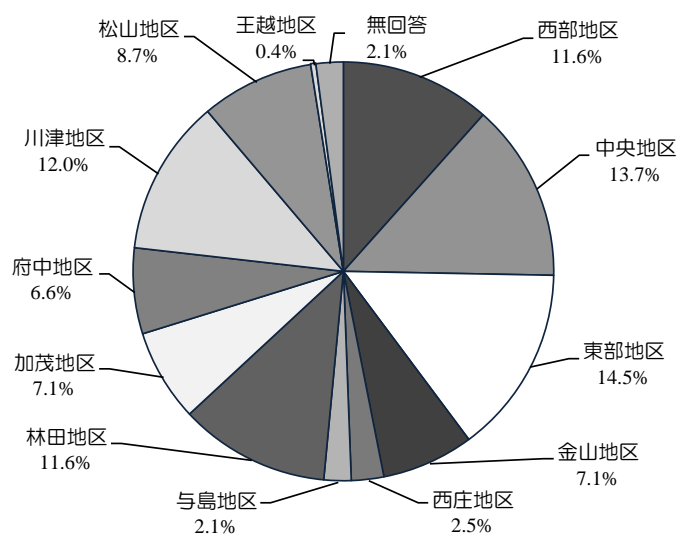


図 居住地区 (N=241)

問2 対象の子どもの年齢（数量回答）

- 子どもの学年は、「3年生」が最も高くなっています（44.0%）。

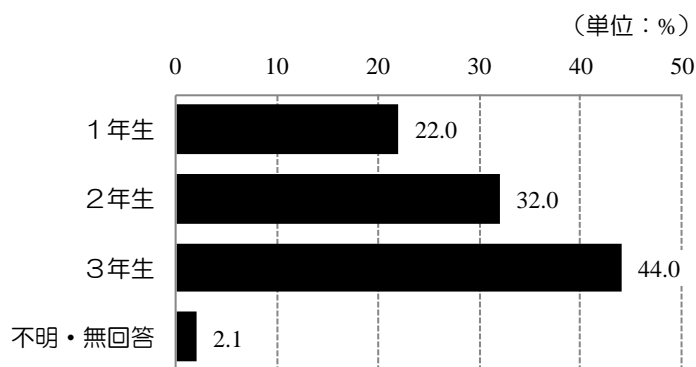


図 子どもの学年 (N=241)

問3 子どもの人数及び末子の年齢（数量回答）

- 子どもの人数は、「2人」が最も高くなっています（53.9%）。
- 2人以上の場合、末子の学年は、「1年生」が最も高くなっています（24.9%）。

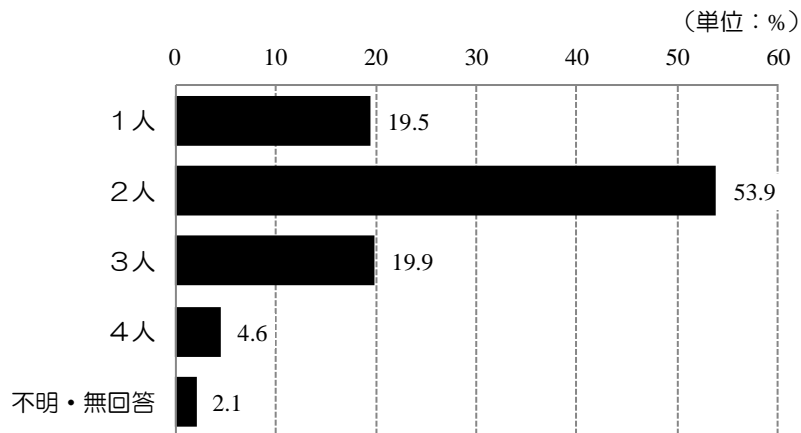


図 子どもの人数 (N=241)

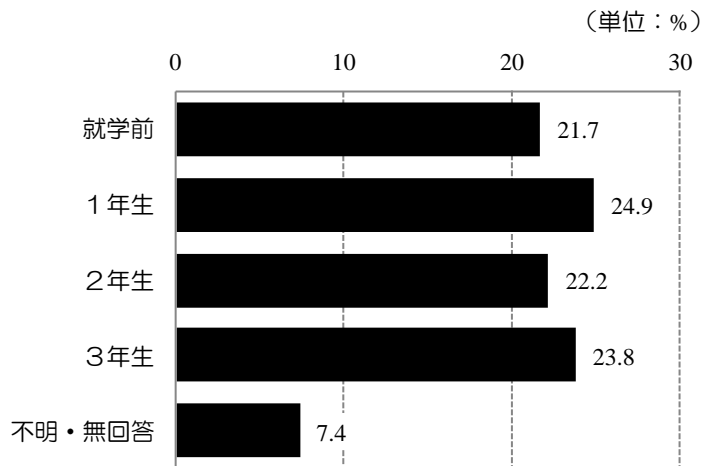


図 末子の学年 (N=189)

問4 調査票記入者（単数回答）

- 調査票記入者は、「母親」が最も高くなっています（92.1%）。

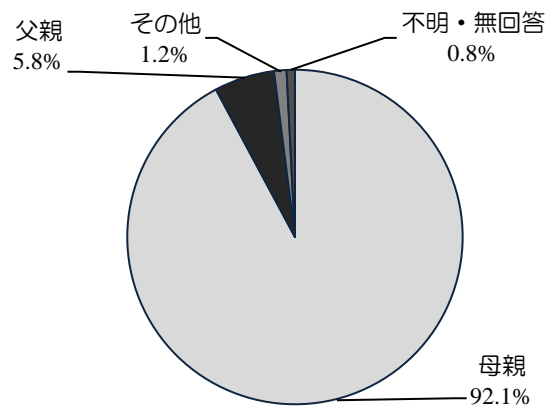


図 調査票記入者 (N=241)

問5 調査票記入者の配偶者の有無（単数回答）

- 調査票記入者の配偶者の有無は、86.8%の方が「配偶者がいる」と回答しています。

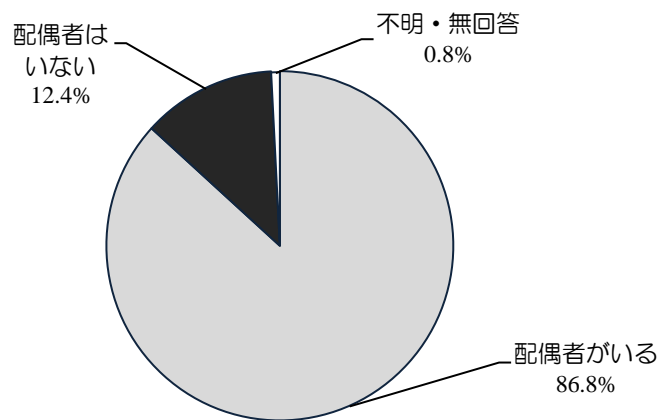


図 調査票記入者の配偶者の有無 (N=241)

問6 子どもの子育て（教育含む）を主に行っている人（単数回答）

- 子どもの子育て（教育含む）を主に行っている人は、「父母ともに」が最も高くなっています（54.8%）。

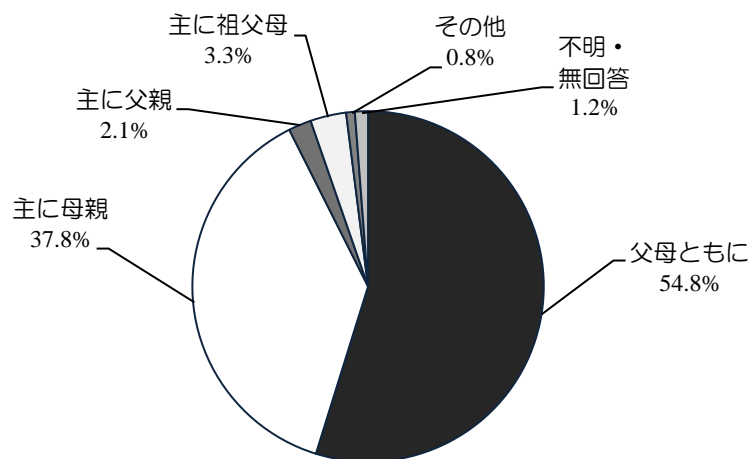


図 子どもの子育てを主に行っている人 (N=241)

2 子どもの育ちをめぐる環境について

問7 日頃、子どもをみてくれる親族・知人の有無（複数回答）

- 日頃、子どもをみてくれる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が最も高くなっています（47.7%）。

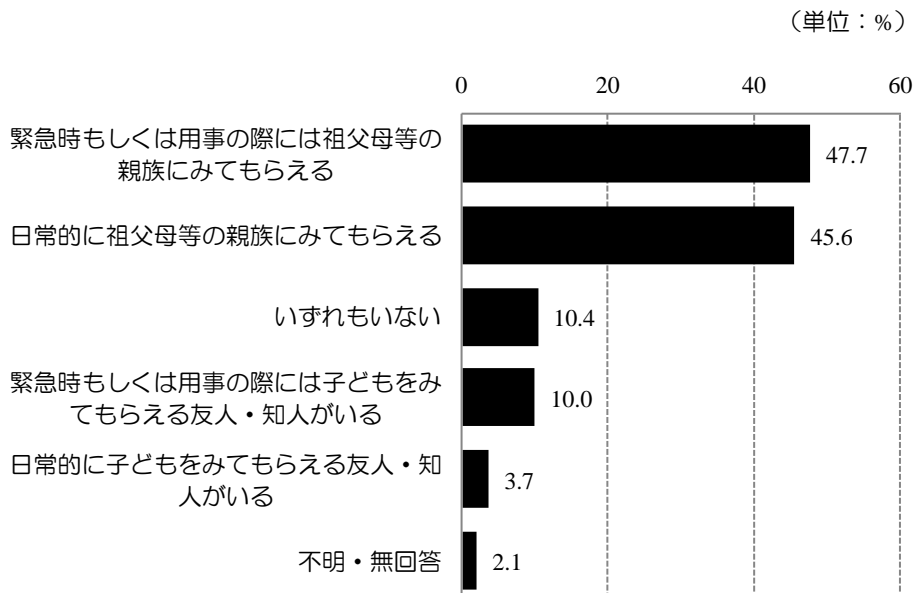


図 子どもをみてくれる人の有無（N=241）

問7-1 祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況（複数回答）

※ 問7で「日常的にまたは緊急時に祖父母等にみてもらえる」と回答した方を集計

- 祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況について、「親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなくみてもらえる」が最も高くなっています（54.1%）。

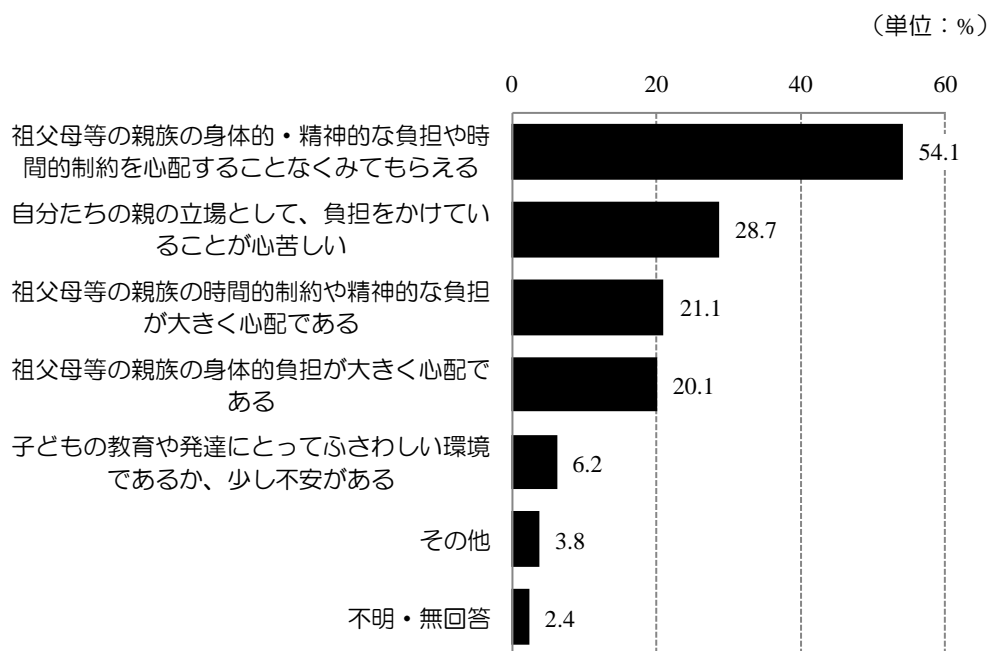


図 親族が子どもをみてくれている状況（N=209）

問7-2 友人・知人に子どもをみてもらっている状況（複数回答）

※ 問7で「日常的にまたは緊急時に友人・知人にみてもらえる」と回答した方を集計

- 友人・知人に子どもをみてもらっている状況について、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなくみてもらえる」が最も高くなっています（62.1%）。

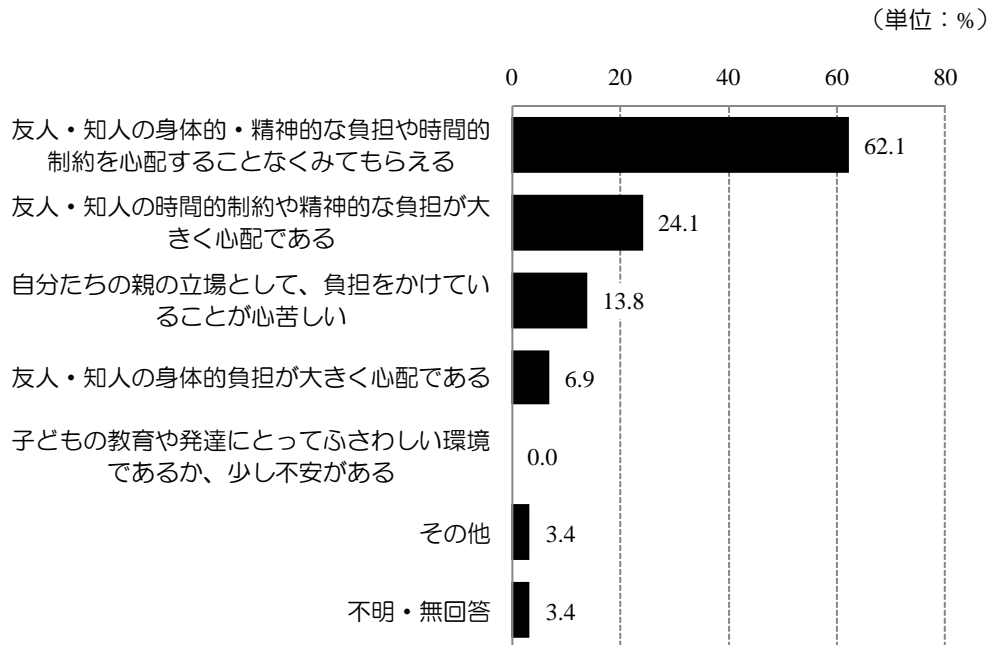


図 友人・知人が子どもをみてくれている状況 (N=29)

問8 お子さんの子育て（教育を含む）をする上で相談できる人（場所）の有無（単数回答）

- お子さんの子育て（教育を含む）をする上で気軽に相談できる人（場所）の有無は、92.9%の方が「いる／ある」と回答しています。

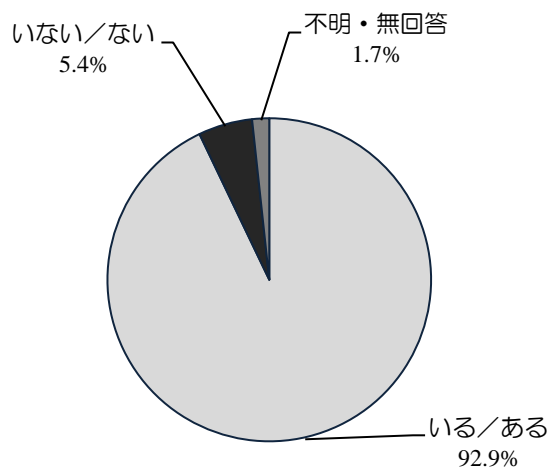


図 相談できる人（場所）の有無 (N=241)

問8-1 子育て（教育を含む）に関して相談できる先（複数回答）

※ 問8で子育ての相談ができる人（場所）が「いる／ある」と回答した方を集計

- 子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、「祖父母等の親族」が最も高く（81.7%）、次いで、「友人や知人」（80.4%）となっています。

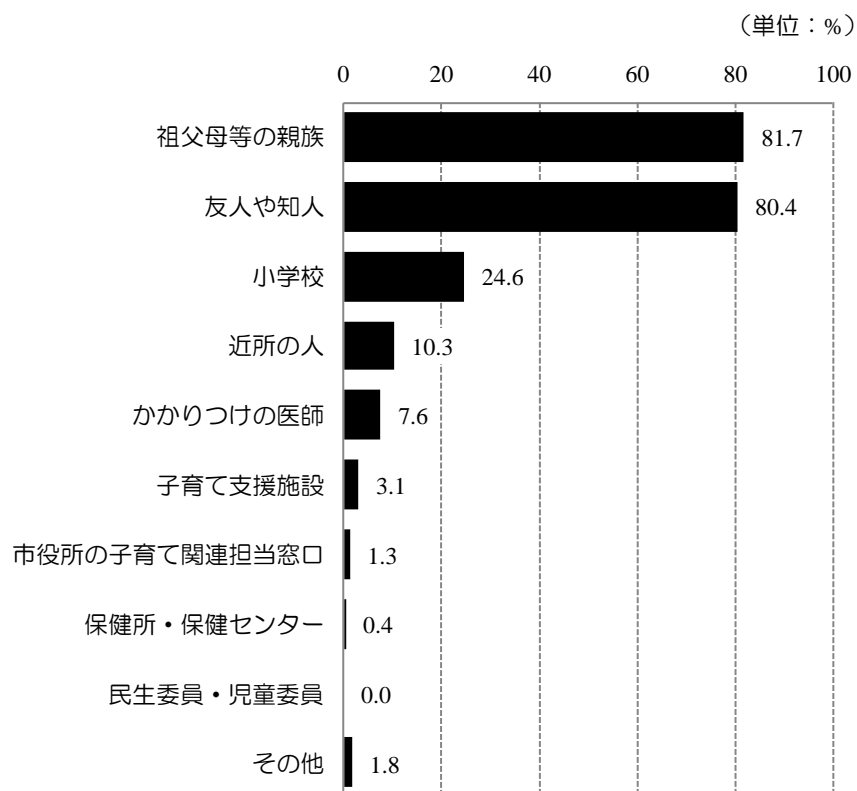
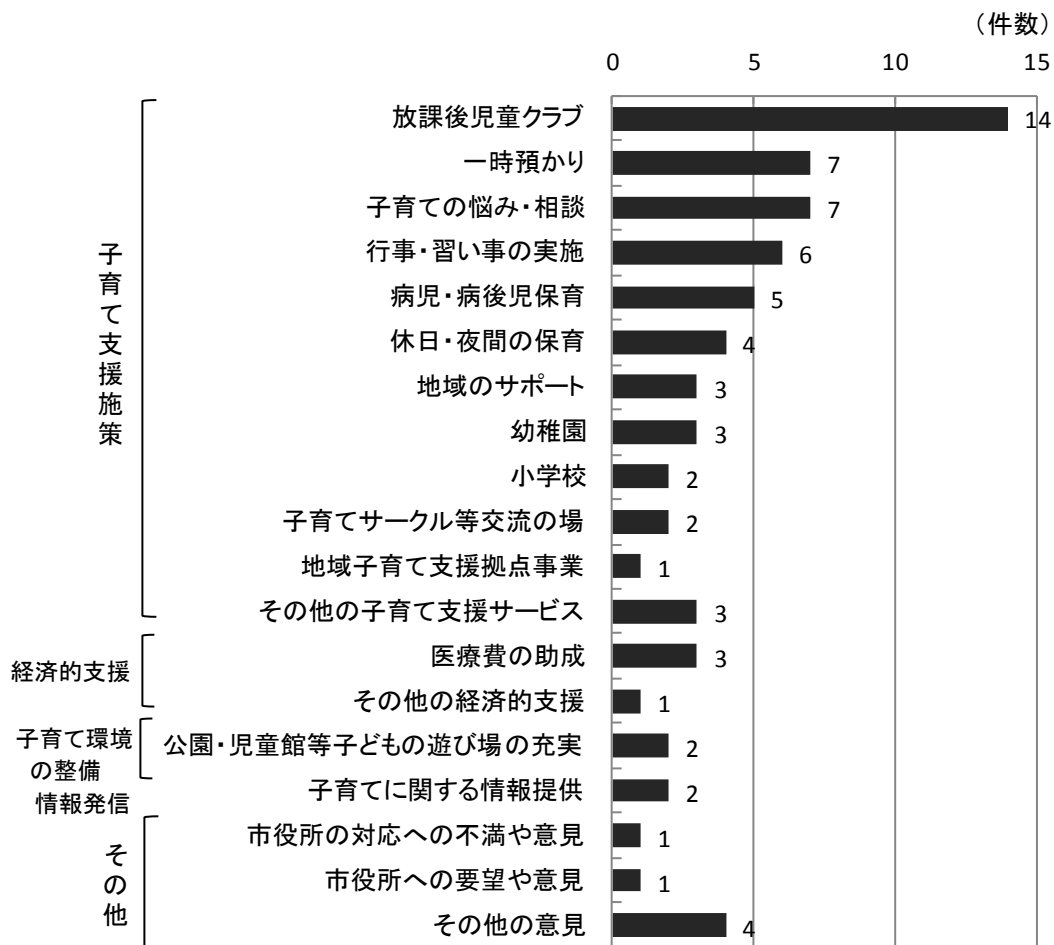


図 相談先 (N=224)

問9 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいか（自由回答）



3 保護者の就労状況

問 10 母親・父親の就労状況（単数回答）

- 母親の就労状況は、「フルタイム以外で就労中」が最も高くなっています（39.4%）。
- 父親の就労状況は、「フルタイムで就労中」が最も高くなっています（78.8%）。

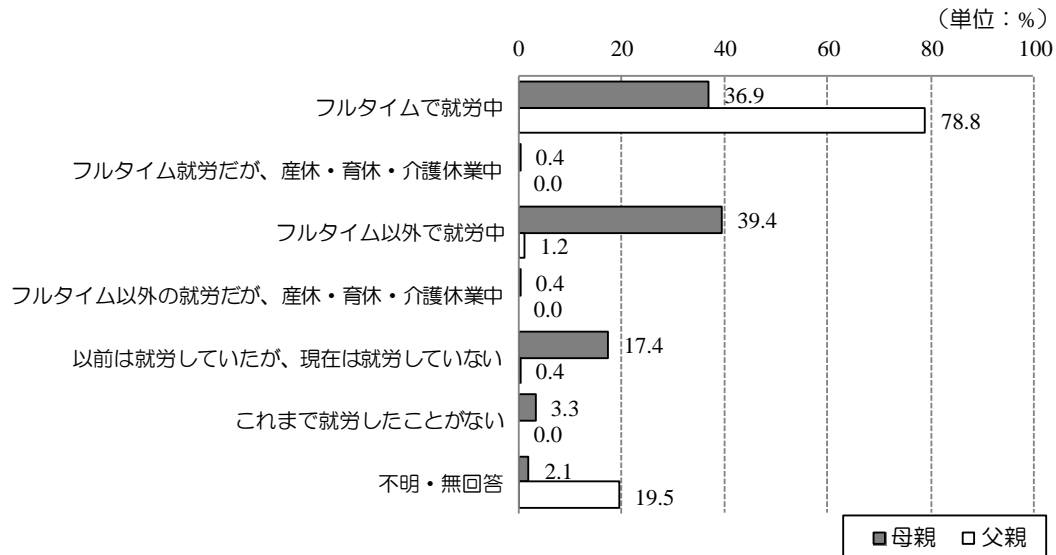


図 就労状況[母親 (N=241)、父親 (N=241)]

就労日数/週、就労時間/日、出宅・帰宅時間

※ 問 10 で「フルタイムで就労中」「フルタイム就労だが産休・育休・介護休業中」「フルタイム以外で就労中」「フルタイム以外の就労だが産休・育休・介護休業中」と回答した方を集計
就労日数/週（数量回答）

- 母親の 1 週当たりの就労日数は、「5 日」が最も高く（62.9%）、次いで「6 日」（17.2%）、「4 日」（9.7%）となっています。
- 父親の 1 週当たりの就労日数は、「5 日」が最も高く（49.2%）、次いで「6 日」（42.0%）、「7 日」（3.6%）となっています。

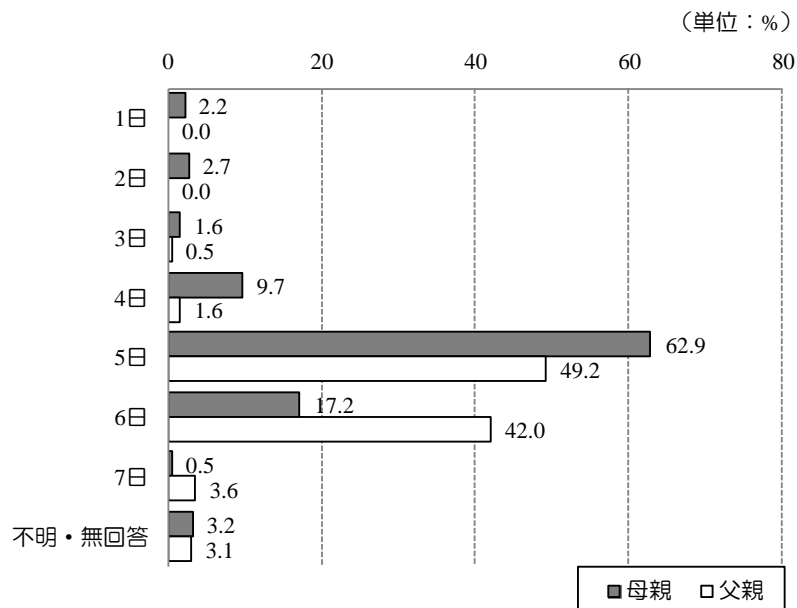


図 就労日数/週[母親 (N=186、父親 (N=193)]

就労時間/日（数量回答）

- 母親の1日当たりの就労時間は、「7～9時間」が最も高く（45.2%）、次いで「4～6時間」（36.0%）、「10時間以上」（8.6%）となっています。
- 父親の1日当たりの就労時間は、「7～9時間」が最も高くなっています（47.2%）。次いで「10時間以上」（46.6%）となっています。

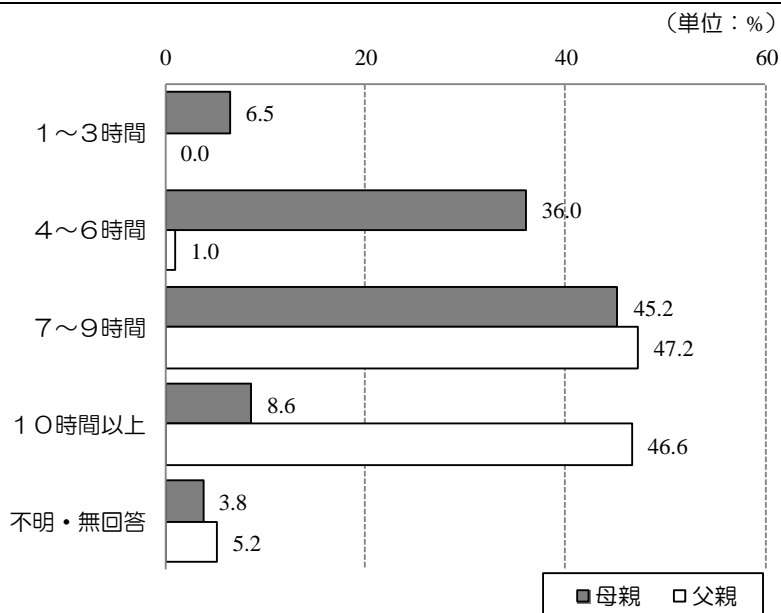


図 就労時間/日 [母親 (N=186)、父親 (N=193)]

出宅時間（数量回答）

- 母親の出宅時間は、「8時」が最も高く（48.4%）、次いで「7時」（22.6%）となっています。
- 父親の出宅時間は、「7時」が最も高く（48.2%）、次いで「8時」（24.9%）となっています。

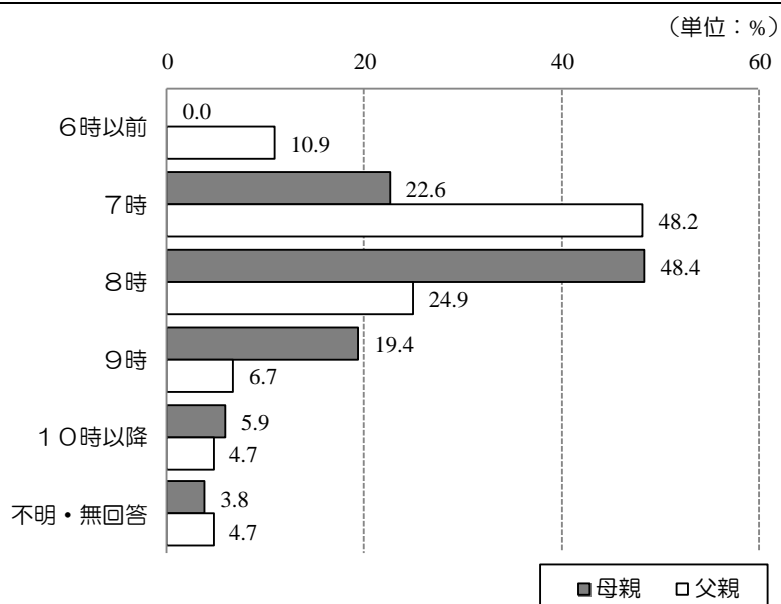


図 出宅時間 [母親 (N=186)、父親 (N=193)]

帰宅時間（数量回答）

- 母親の帰宅時間は、「16時以前」が最も高く（35.5%）、次いで「18時」（25.8%）となっています。
- 父親の帰宅時間は、「20時」と「21時以降」が最も高く（23.8%）、次いで「18時」と「19時」（18.1%）となっています。

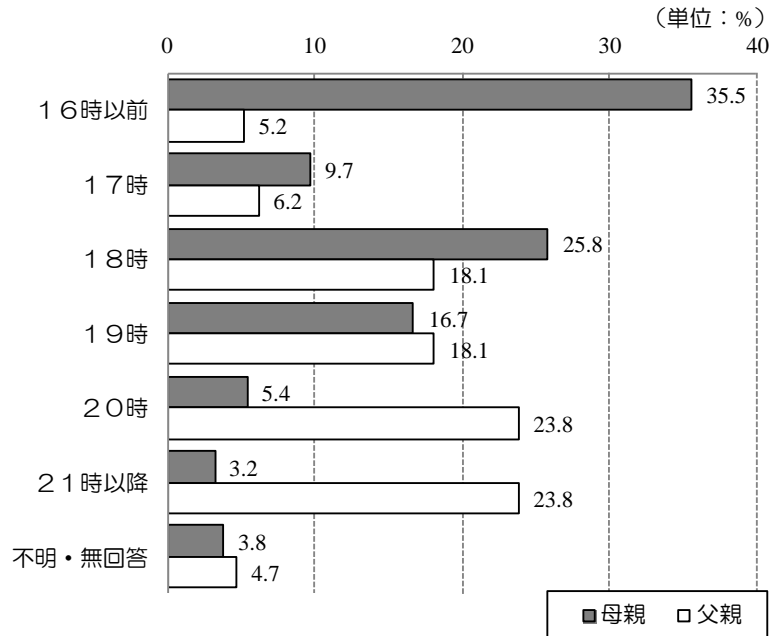


図 帰宅時間[母親 (N=186)、父親 (N=193)]

問 11 フルタイム就労への転換希望等（単数回答）

※ 問 10 で「フルタイム以外で就労中」「フルタイム以外の就労だが、産休・育休・介護休業中」と回答した方を集計

- 母親は、「フルタイム以外での就労を続けることを希望」が最も高くなっています(51.0%)。
- 父親は、「フルタイム以外での就労を続けることを希望」が最も高くなっています(66.7%)。

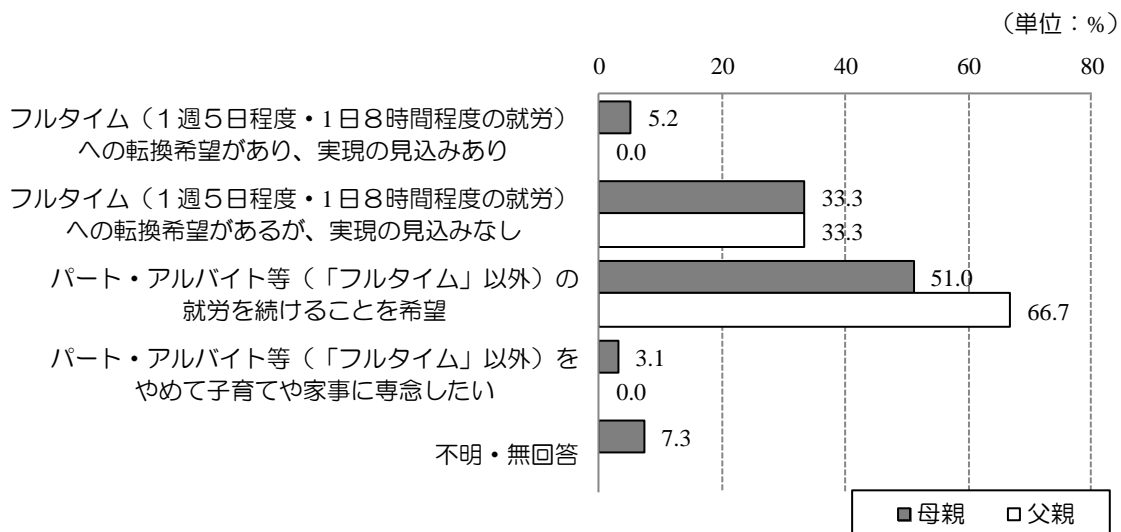


図 フルタイム就労への転換希望[母親 (N=96)、父親 (N=3)]

問 12 母親・父親の就労希望（単数回答）

※ 問 10 で「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」と回答した方を集計

- 母親の就労希望は、「すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」が最も高くなっています（38.0%）。
- 父親の就労希望は、「すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」が最も高くなっています（100%）。

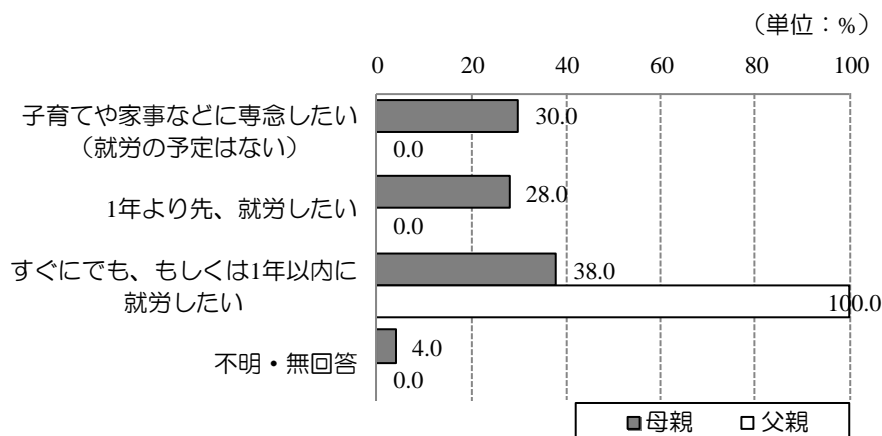


図 就労についての希望[母親 (N=50)、父親 (N=1)]

希望就労開始時期（数量回答）

※ 問 12 で「1 年より先に就労したい」と回答した方を集計

- 母親の就労開始時期は、一番下の子どもの年齢が「7 歳」と「10 歳以上」が最も高く（35.7%）、次いで「6 歳」（14.3%）となっています。※父親は該当者がありません。

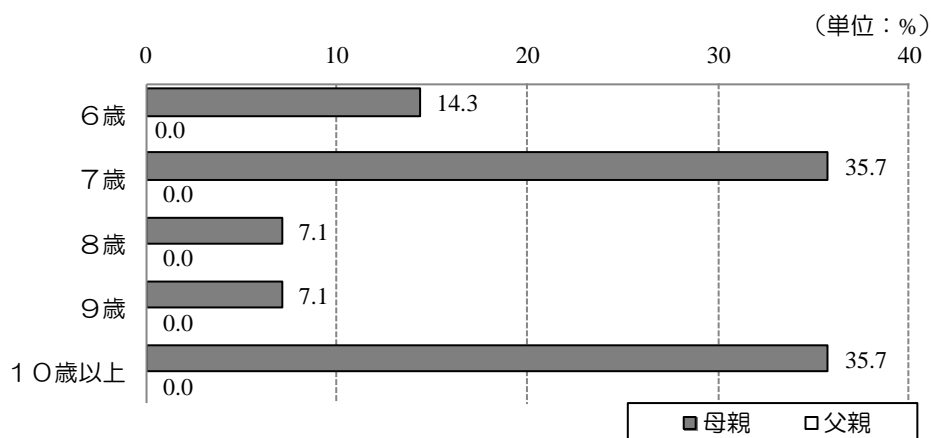


図 就労開始時期[母親 (N=14)、父親 (N=0)]

母親・父親の就労についての希望の就労形態（単数回答）

※問 12 で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した方を集計

- 母親の希望する就労形態は、「パート・アルバイト等」が高くなっています（94.7%）。
- 父親の希望する就労形態は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が高くなっています（100%）。

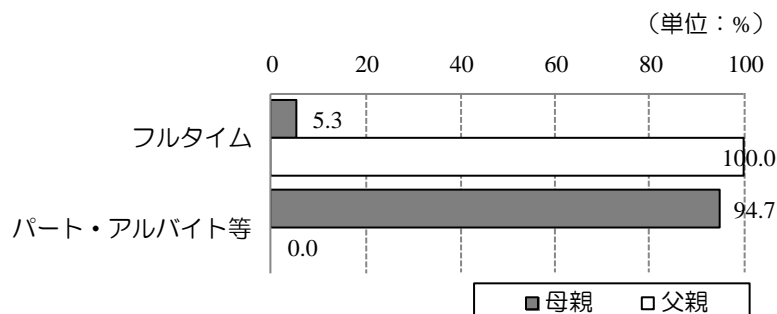


図 希望する就労形態[母親 (N=19)、父親 (N=1)]

希望就労日数/週、希望就労時間/日

※問 12 で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と就労形態「パート・アルバイト」と回答した方を集計

希望就労日数/週（数量回答）

- 母親の1週あたりの希望就労日数は、「3日」が最も高く（33.3%）、次いで「5日」（27.8%）、「4日」（22.2%）となっています。※父親は該当者がありません。

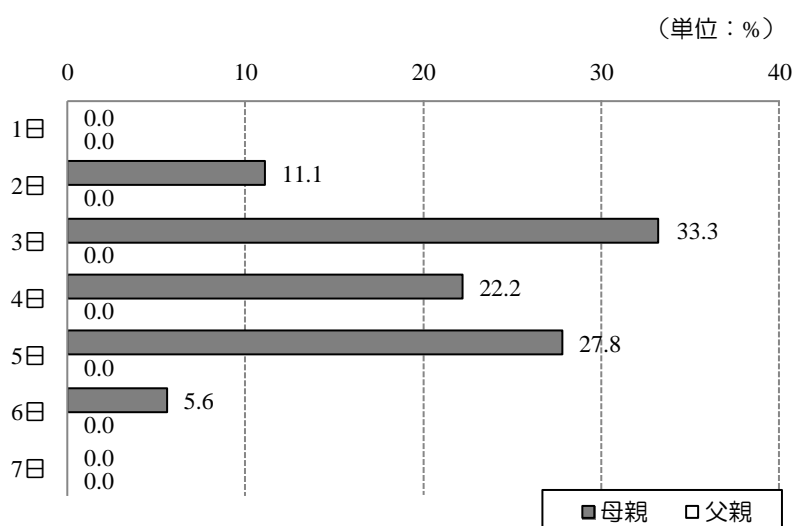


図 希望就労日数/週[母親 (N=18)、父親 (N=0)]

希望就労時間/日（数量回答）

- 母親の1日あたりの希望就労時間は、「4～6時間」が最も高く（88.9%）、次いで「1～3時間」（11.1%）となっています。※父親は該当者がありません。

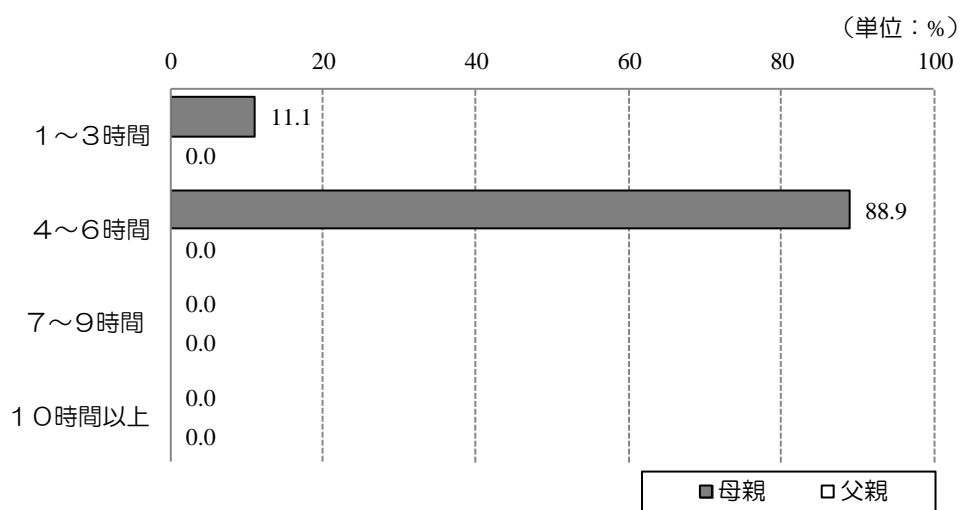


図 希望就労時間/日[母親 (N=18)、父親 (N=0)]

4 病気の際の対応について

問 13 1年間に子どもが病気やケガで学校を休んだ有無（単数回答）

- 6割以上（64.3%）が「あった」と回答しています。

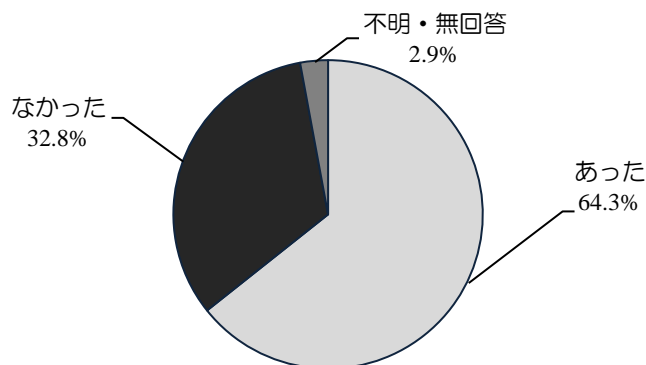


図 病気やケガで学校を休んだ（N=241）

問 13-1 病気やケガで学校を休まなければならなかった場合の対処方法

※ 問 13 で「あった」と回答した方を集計
対処方法（複数回答）

- 対処方法は、「母親が仕事を休んだ」が最も高く（60.6%）、次いで「（同居者を含む）親族・知人に子どもを看てもらった」（30.3%）、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た」（22.6%）となっています。

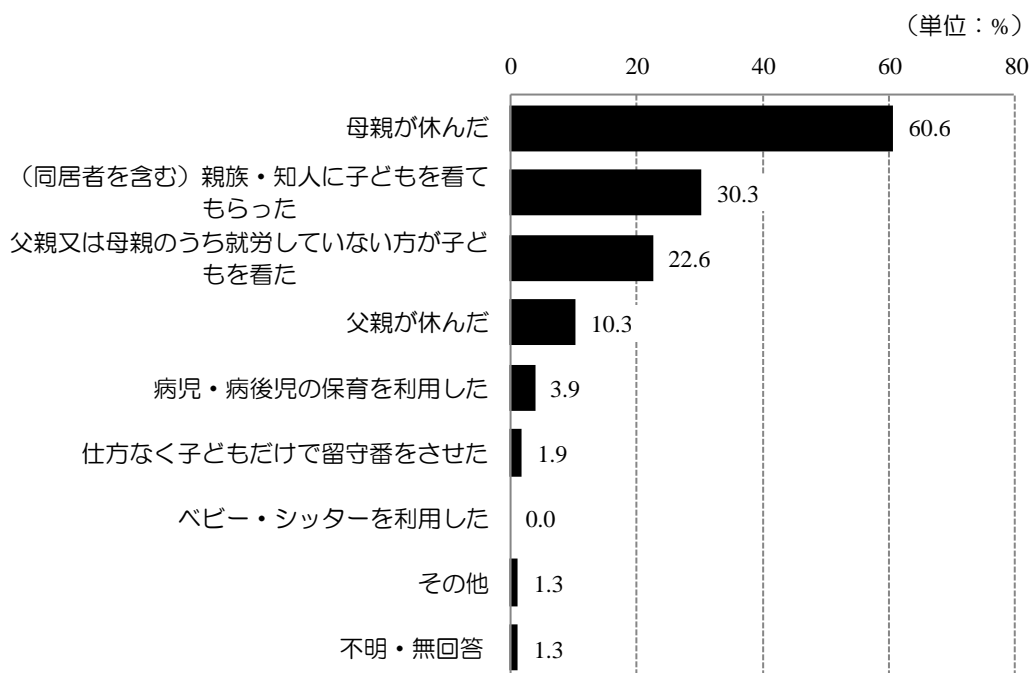


図 対処方法（N=155）

対処方法別日数（数量回答）

上段：回答数 下段：%	1日	2日	3日	4日	5日	6～10日	11～20日	21日～	不明・無回答
父親が休んだ(N=16)	5 31.3	4 25.0	2 12.5	0 0.0	2 12.5	1 6.3	0 0.0	0 0.0	2 12.5
母親が休んだ(N=94)	15 16.0	23 24.5	20 21.3	7 7.4	12 12.8	8 8.5	5 5.3	0 0.0	4 4.3
親族・知人に子どもを看てもらった(N=47)	8 17.0	8 17.0	8 17.0	1 2.1	12 25.5	8 17.0	0 0.0	0 0.0	2 4.3
父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た(N=35)	2 5.7	7 20.0	1 2.9	3 8.6	6 17.1	10 28.6	4 11.4	0 0.0	2 5.7
病児・病後児保育を利用した(N=3)	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
ベビーシッターを利用した(N=0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
子どもだけで留守番をさせた(N=6)	4 66.7	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他(N=2)	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

表 対処方法別日数

問 13-2 病児・病後児保育施設等の利用希望

※ 問 13-1 で「父親が休んだ」または「母親が休んだ」と回答した方を集計
利用希望（単数回答）

- 利用希望は、約2割（21.6%）の方が「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答しています。

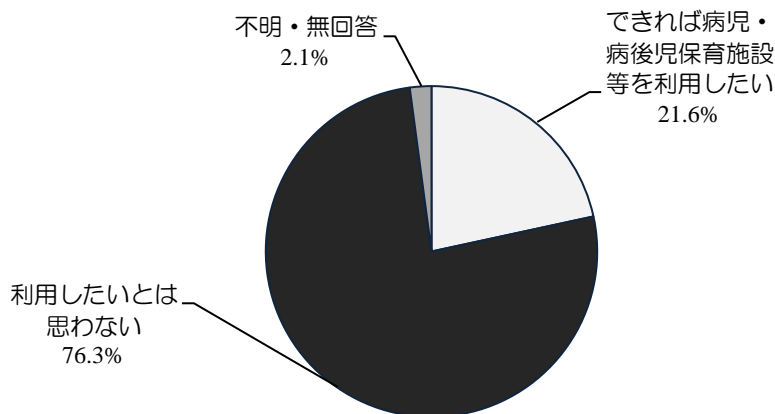


図 病児・病後児保育の利用希望 (N=97)

利用希望日数（数量回答）

- 利用希望日数は、「5日」と「6～10日」が最も高くなっています（28.6%）。

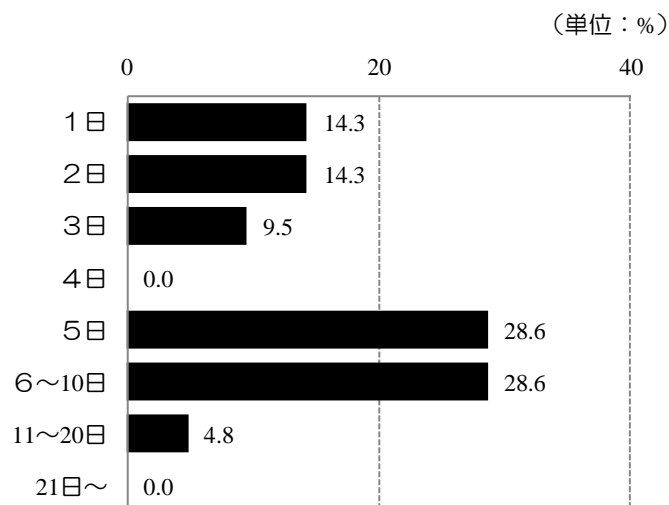


図 病児・病後児保育の利用希望日数 (N=21)

問 13-3 希望の事業形態

※ 問 13-2 で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した方を集計
希望の事業形態（複数回答）

- 希望の事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が最も高く（76.2%）、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」（42.9%）となっています。

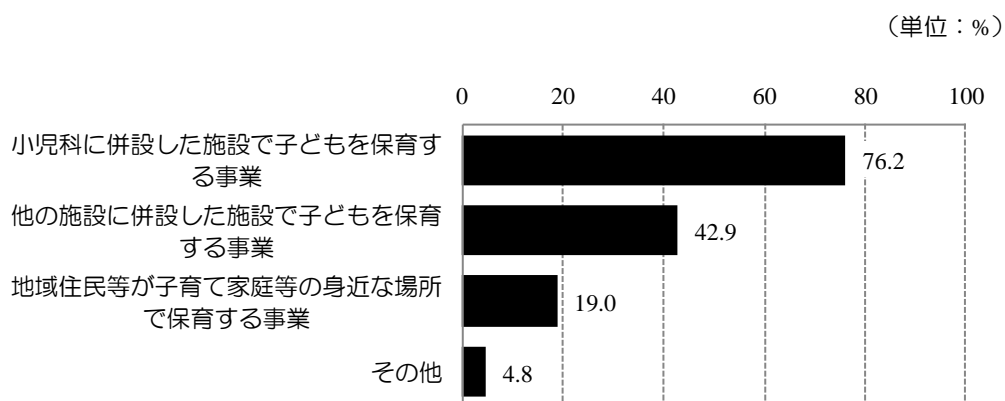


図 病児・病後児保育の事業形態 (N=21)

問 13-4 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由

※ 問 13-2 で「利用したいと思わない」と回答した方を集計

利用したいと思わない理由（複数回答）

- 「親が仕事を休んで対応する」が最も高く（58.1%）、次いで「親族・知人に看てもらおう」（36.5%）となっています。

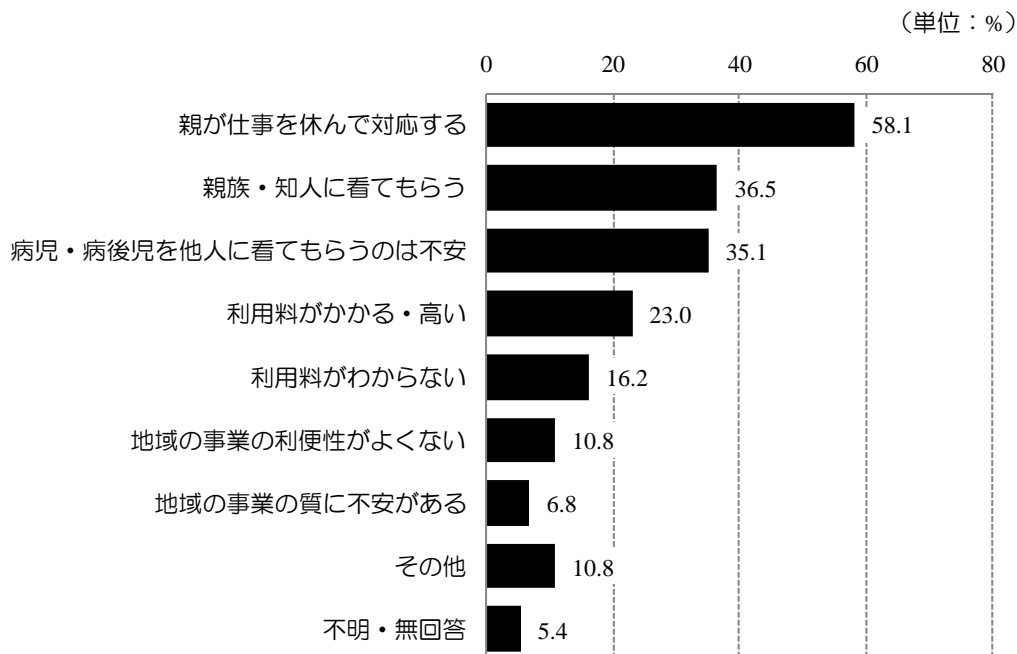


図 利用したいと思わない理由 (N=74)

問 13-5 「父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思ったか

※ 問 13-1 で「父親または母親が休んだ」以外を回答した方を集計

病児・病後児への対応希望（単数回答）

- 「できれば仕事を休んで看たい」（45.3%）が高く、「休んで看ることは非常に難しい」（23.3%）となっています。

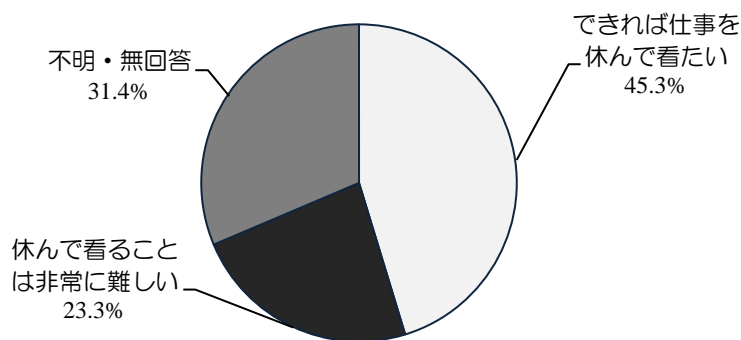


図 病児・病後児への対応希望 (N=86)

休んで見たかった日数（数量回答）

- 仕事を休んで見たかった日数は、「2日」が最も高く（30.8%）、次いで「1日」（23.1%）となっています。

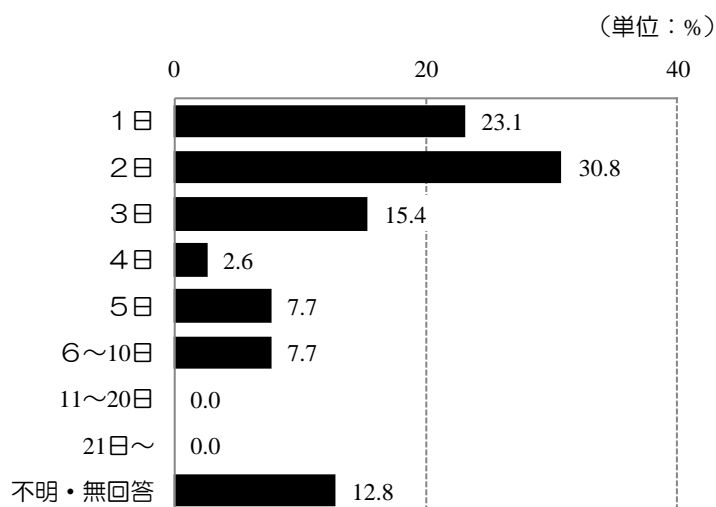


図 休んで見たかった日数 (N=39)

問 13-6 「休んで見ることは非常に難しい」理由（複数回答）

※ 問 13-5 で「休んで見ることは非常に難しい」と回答した方を集計

- 「休んで見ることは非常に難しい」理由は、「子どもの看護を理由に休めない」が最も高くなっています（55.0%）。

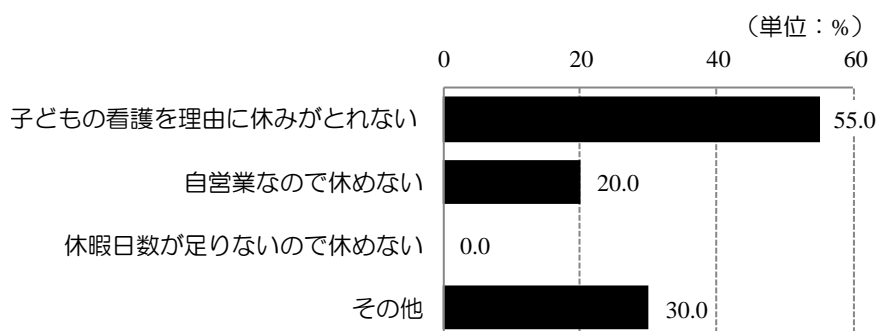


図 休んで見ることは難しい理由 (N=20)

5 不定期の教育・保育事業及び宿泊を伴う一時預かり等事業の利用状況

問 14 一時預かり等事業の利用

一時預かり等の利用（単数回答）

- 一時預かり等の利用は、「利用する必要はない」（74.3%）が高くなっています。

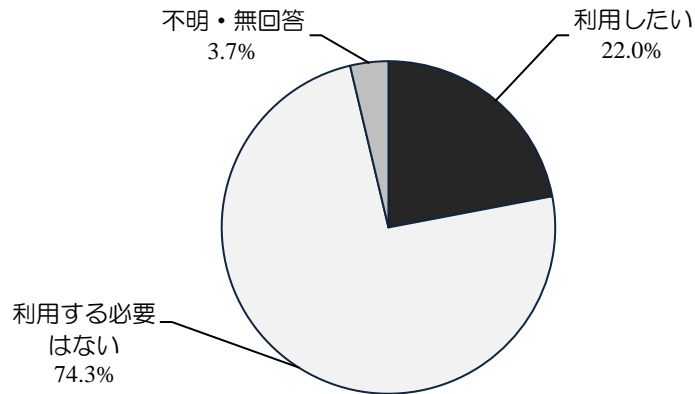


図 一時預かりの利用（N=241）

一時預かり等の利用目的（複数回答）

※ 問 14 で「利用したい」と回答した方を集計

- 利用目的は、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が最も高く（64.2%）、次いで「私用、リフレッシュ目的」（43.4%）、となっています。

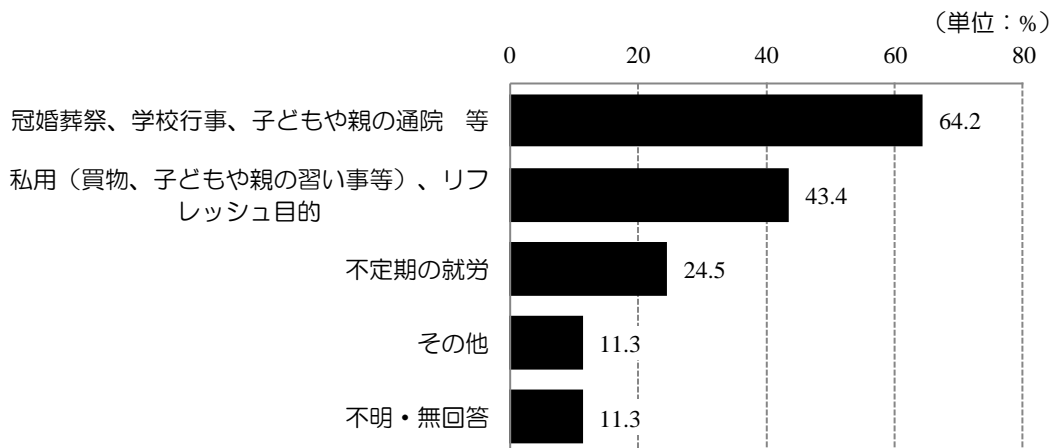


図 利用目的（N=53）

目的別利用希望日数

上段：回答数 下段：%	1日	2日	3日	4日	5日	6～10日	11～20日	21日～	不明・無回答
私用（買物、子どもや親の習い事等）、 リフレッシュ目的(N=23)	0 0.0	2 8.7	2 8.7	0 0.0	6 26.1	4 17.4	3 13.0	4 17.4	2 8.7
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等(N=34)	1 2.9	3 8.8	6 17.6	1 2.9	9 26.5	8 23.5	3 8.8	0 0.0	3 8.8
不定期の就労(N=13)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 61.5	2 15.4	2 15.4	1 7.7
その他(N=6)	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	2 33.3	2 33.3

表 目的別利用希望日数

問 15 泊りがけでの預けの有無

不在状況（単数回答）

- 保護者の用事により、泊まりがけで預けたことが「あった」は17.8%となっています。

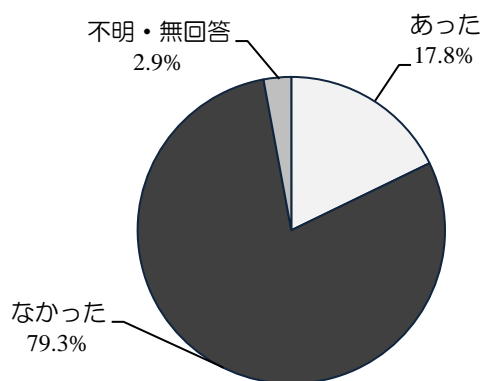


図 泊りがけの預け (N=241)

対処方法（複数回答）

※ 問 15 で「あった」と回答した方を集計

- 対処方法は、「親族・知人にみてもらった」が最も高く（88.4%）、次いで「子どもを同行させた」（16.3%）となっています。

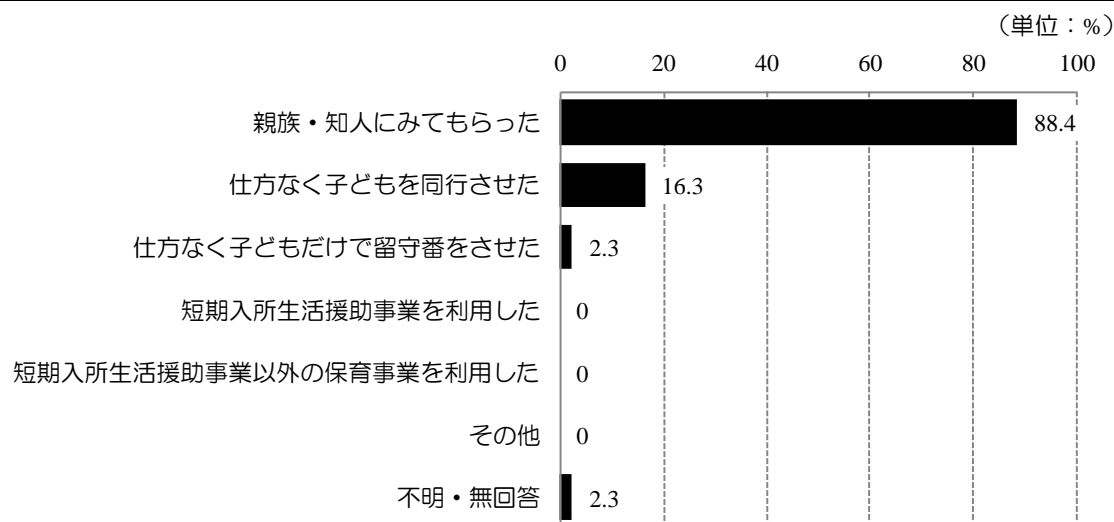


図 対処方法 (N=43)

対処方法別年間泊数

上段：回答数 下段：%	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6～10泊	11～20泊	21泊～	不明・無回答
親族・知人にみてもらった (N=38)	3 7.9	11 28.9	6 15.8	0 0.0	5 13.2	7 18.4	1 2.6	3 7.9	2 5.3
短期入所生活援助事業を 利用(N=0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
短期入所生活援助事業以 外(N=0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
子どもを同行させた(N=7)	0 0.0	4 57.1	1 14.3	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3
子どもだけで留守番をさ せた(N=1)	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他(N=0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

表 年間泊数

問 15-1 子どもを「親族・知人にみてもらった」場合の困難度（単数回答）

※問 15 で「親族・知人にみてもらった」と回答した方を集計

- 「特に困難ではない」が最も高く（65.8%）、次いで「どちらかという困難」（28.9%）となっています。

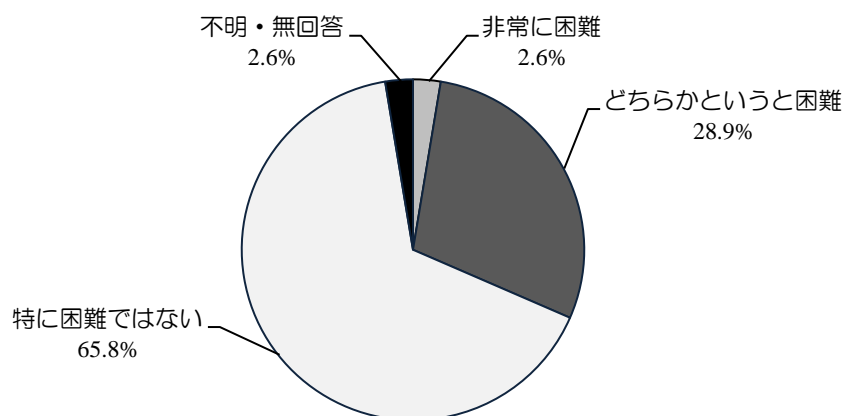


図 困難度 (N=38)

6 放課後の過ごし方

問 16 (1) 【平日】 放課後児童クラブ(学童保育)の利用状況(単数回答)

- 「放課後児童クラブ」の平日の利用は、「週4日以上利用」が最も高く(27.0%)、次いで「週1~3日利用」が7.5%となっています。

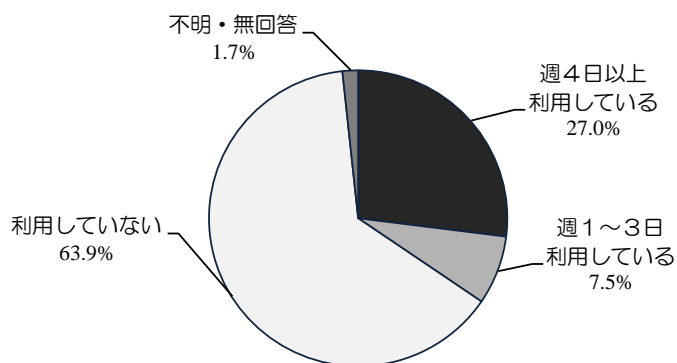


図 放課後児童クラブ利用状況【平日】(N=241)

問 16 (1) -1 利用時間帯

※問 16 (1) で「利用している」と回答した方を集計
利用開始時間

- 「15 時台」が最も高く(62.7%)、次いで「14 時台」(22.9%)となっています。

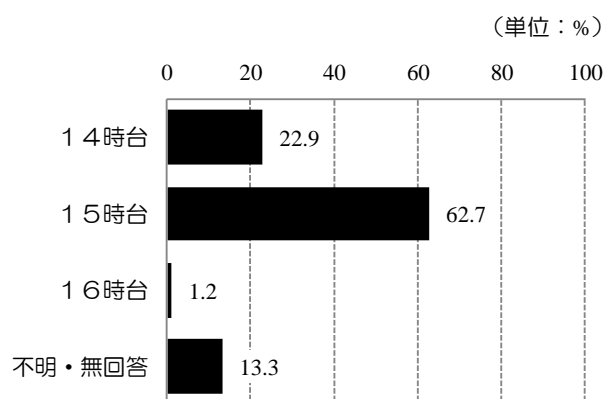


図 開始時間【平日】(N=83)

利用終了時間

- 「16 時台」が最も高く(45.8%)、次いで「17 時台」(27.7%)となっています。

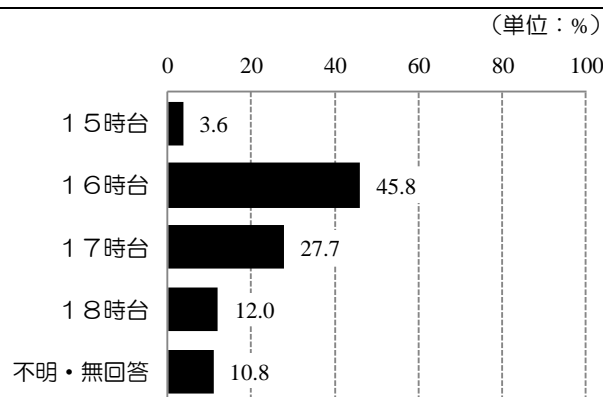


図 終了時間【平日】(N=83)

問 16 (1) -2 放課後児童クラブ（学童保育）を利用している理由（単数回答）

※問 16 (1) で「利用している」と回答した方を集計

- 利用している理由は、お子さんの身の回りの世話を主にしている方が「現在就労している」が最も高くなっています（89.2%）。

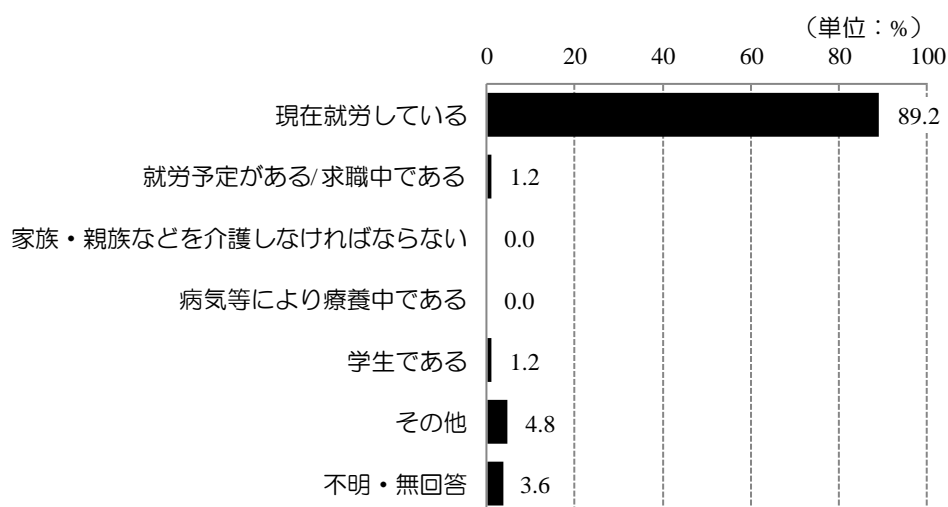


図 放課後児童クラブを利用している理由【平日】(N=83)

問 16 (1) -3 放課後児童クラブを利用していない理由（単数回答）

※問 16 (1) で「利用していない」と回答した方を集計

- 利用していない理由は、お子さんの身の回りの世話を主にしている方が「現在就労していないから」が最も高く（33.8%）、次いで「就労しているが、放課後の短時間ならば子どもだけでも大丈夫だと思うから」（9.7%）、「就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているから」（7.8%）となっています。

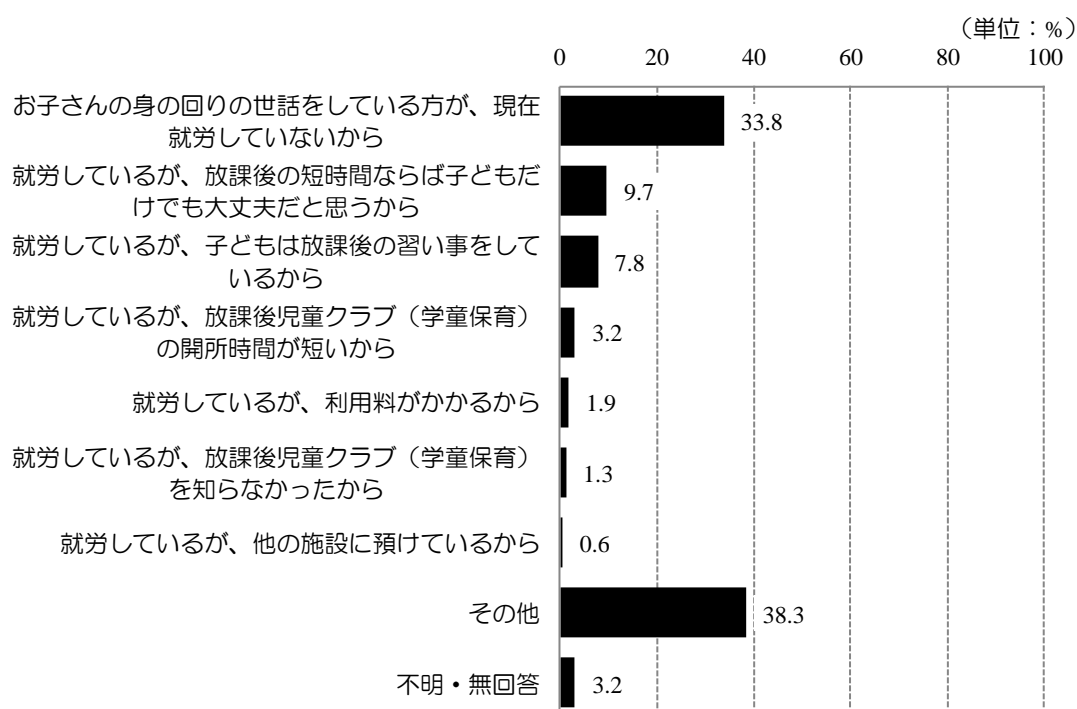


図 放課後児童クラブを利用していない理由【平日】(N=154)

問 16 (2) 【土曜日】 放課後児童クラブ (学童保育) の利用状況 (単数回答)

- 「放課後児童クラブ」の土曜日の利用は、「ほぼ毎回利用」が 1.7%、「利用していない」が 92.1%となっています。

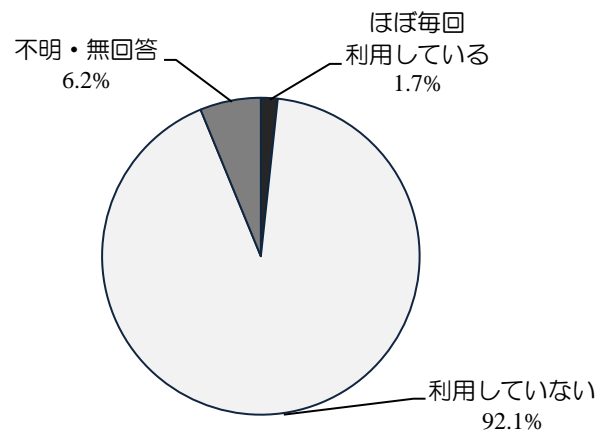


図 放課後児童クラブの利用状況【土曜日】(N=241)

問 16 (2) -1 利用時間帯

※問 16 (2) で「利用している」と回答した方を集計

利用開始時間

- 「8 時台」が高く (75.0%)、「9 時台」は 25.0%となっています。

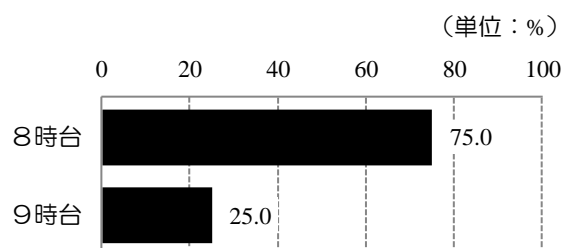


図 開始時間【土曜日】(N=4)

利用終了時間

- 「16 時台」が最も高く (75.0%)、「18 時台」は 25.0%となっています。

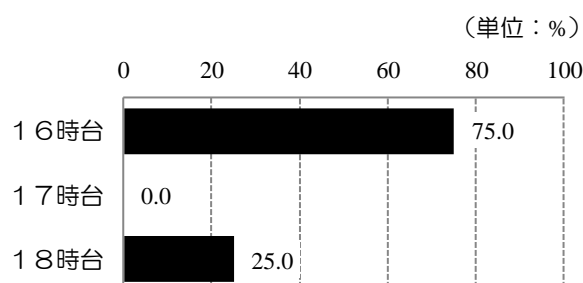


図 終了時間【土曜日】(N=4)

問 16 (2) -2 放課後児童クラブ（学童保育）を利用している理由（単数回答）

※ 問 16 (2) で「利用している」と回答した方を集計

- 利用している理由は、お子さんの身の回りの世話を主にしている方が「現在就労している」が 100%となっています。

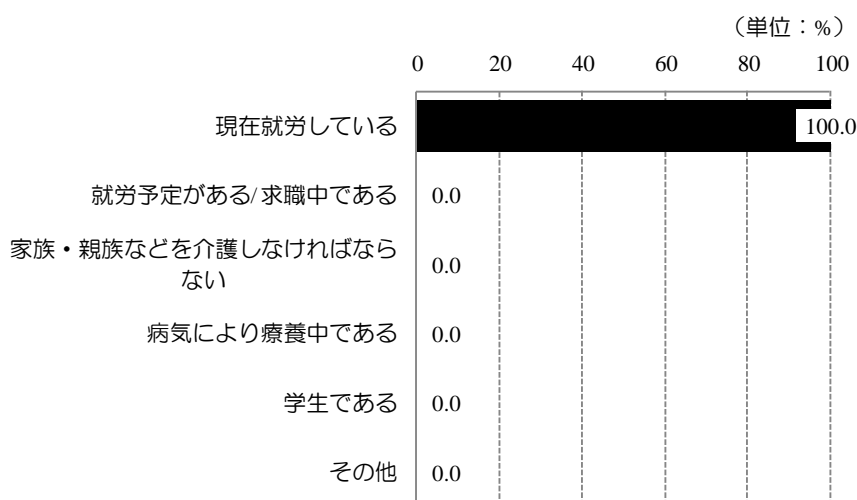


図 放課後児童クラブを利用している理由【土曜日】(N=4)

問 16 (2) -3 放課後児童クラブ（学童保育）を利用していない理由（単数回答）

※ 問 16 (2) で「利用していない」と回答した方を集計

- 利用していない理由は、お子さんの身の回りの世話を主にしている方が「就労しているが、土曜日は仕事が休みだから」が最も高く（39.6%）、次いで「現在就労していないから」（24.3%）、となっています。

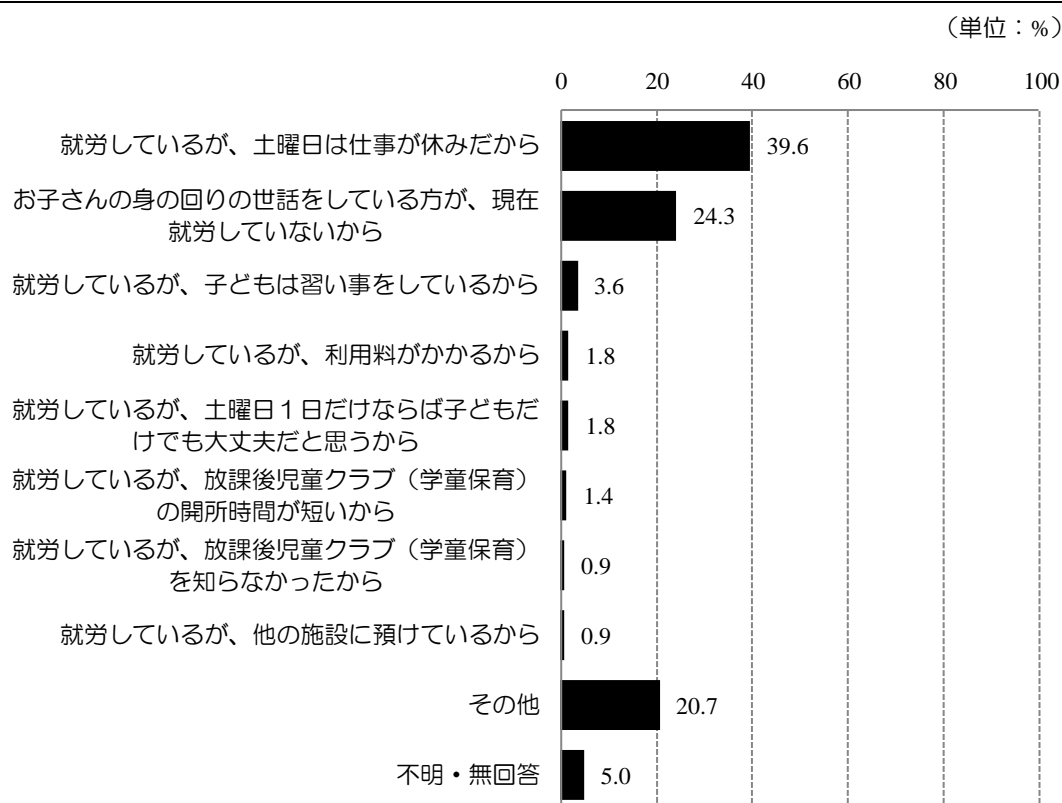


図 放課後児童クラブを利用していない理由【土曜日】(N=222)

問 17 小学校高学年（4～6年生）における放課後の過ごし方

放課後の過ごし方（複数回答）

- 放課後の過ごし方の希望は、「自宅」が最も高く（70.5%）、次いで「習い事」（49.0%）、
「祖父母宅や友人・知人宅」（27.8%）となっています。

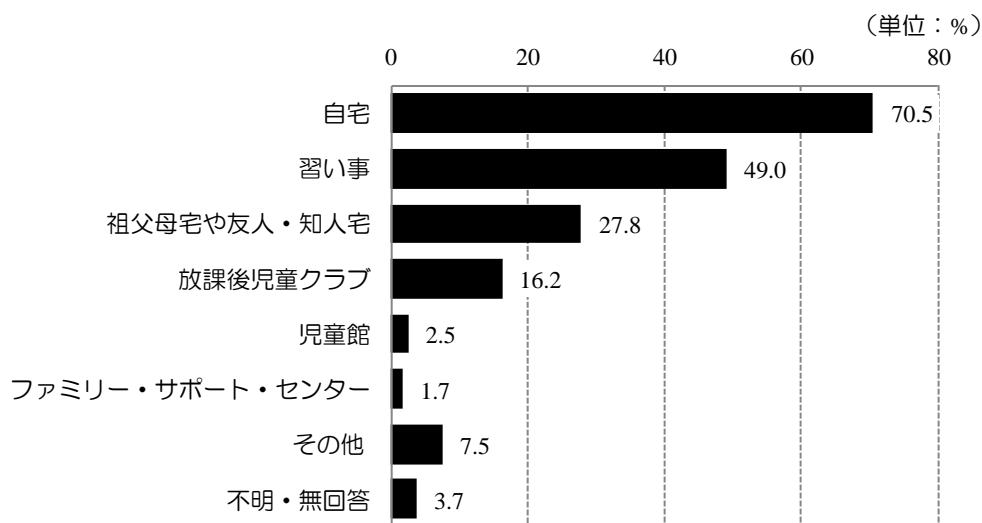


図 放課後の過ごし方（N=241）

放課後児童クラブの希望利用時間（数量回答）

※ 問 17 で「放課後児童クラブ」と回答した方を集計

- 希望終了時間は、「18時」が最も高く（46.2%）、次いで「17時」（28.2%）となっています。

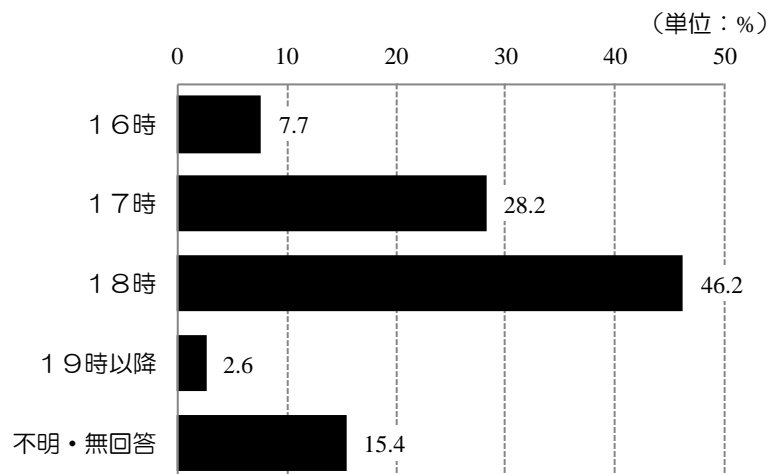


図 放課後児童クラブ 希望終了時間（N=39）

希望日数

上段：回答数 下段：%	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	不明・ 無回答
自宅 (N=170)	13 7.6	33 19.4	33 19.4	15 8.8	47 27.6	2 1.2	7 4.1	20 11.8
祖父母宅や友人・知人宅 (N=67)	18 26.9	14 20.9	4 6.0	2 3.0	18 26.9	2 3.0	0 0.0	9 13.4
習い事(ピアノ教室、サッカー クラブ、学習塾など)(N=118)	19 16.1	40 33.9	35 29.7	13 11.0	6 5.1	1 0.8	0 0.0	4 3.4
児童館 (N=6)	1 16.7	1 16.7	0 0.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	2 33.3
放課後児童クラブ(N=39)	0 0.0	6 15.4	5 12.8	1 2.6	22 56.4	0 0.0	0 0.0	5 12.8
ファミリーサポートセンター (N=4)	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0
その他(公民館、公園、総 合センターなど)(N=18)	4 22.2	8 44.4	2 11.1	1 5.6	1 5.6	0 0.0	0 0.0	2 11.1

表 希望日数/週

問 18 放課後児童クラブ(学童保育)についての満足度

※ 「放課後児童クラブ」を利用している方を集計

- 満足度(「満足」「ほぼ満足」の合計)が高い項目は、「病気やけがの時の対応」(92.8%)が最も高く、次いで「施設・環境」(90.4%)、「安全対策」と「衛生対策」が(90.3%)、となっています。

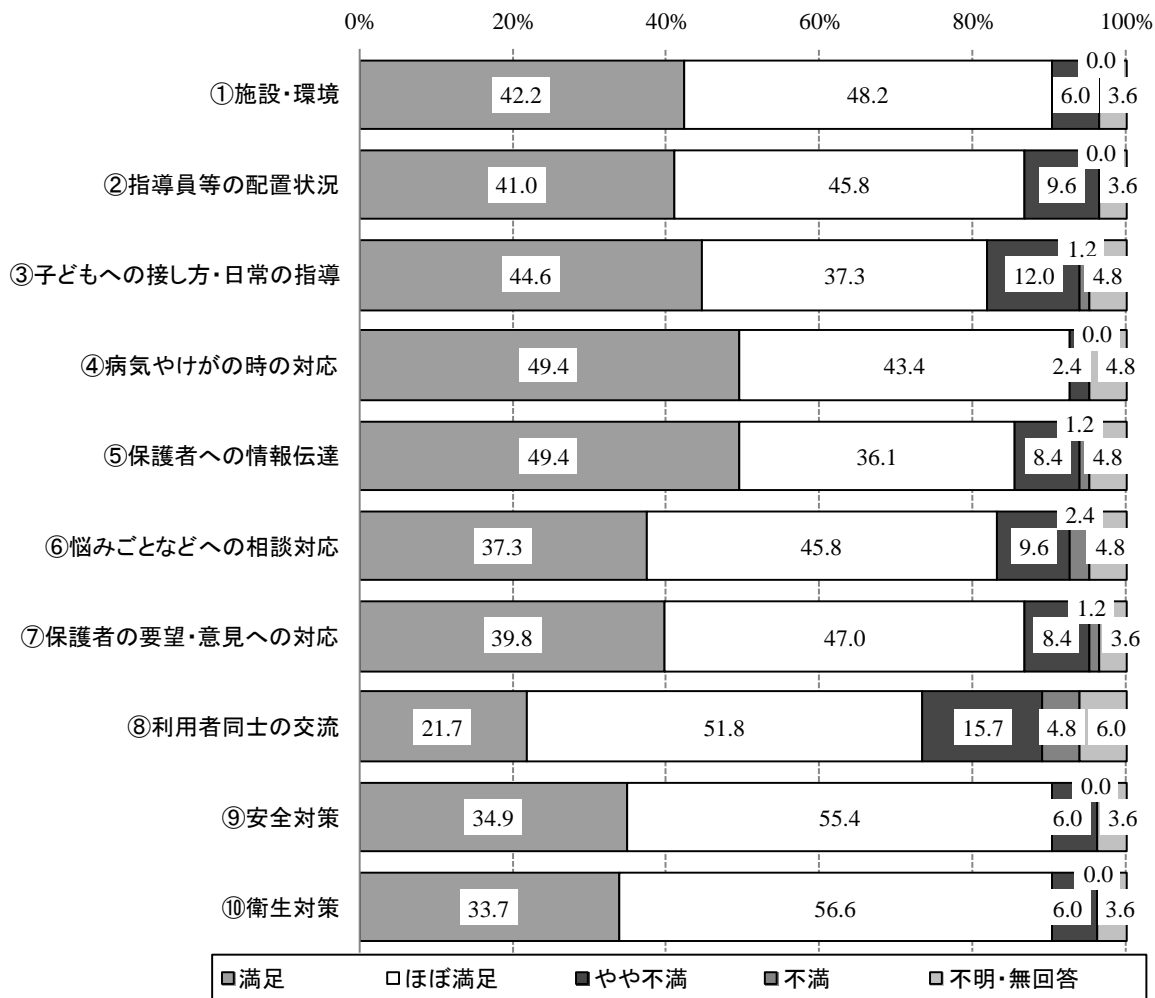
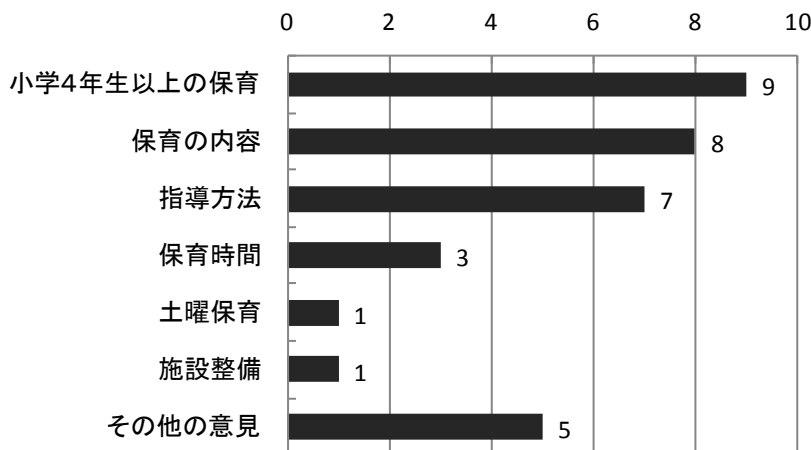


図 放課後児童クラブの満足度 (N=83)

問 19 現在通っている放課後児童クラブ(学童保育)に関する意見・要望(自由回答)

(件数)



7 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 20 育児休業取得者（単数回答）

- 育児休業取得者は、「母親」29.5%、「父親」0.4%、となっています。

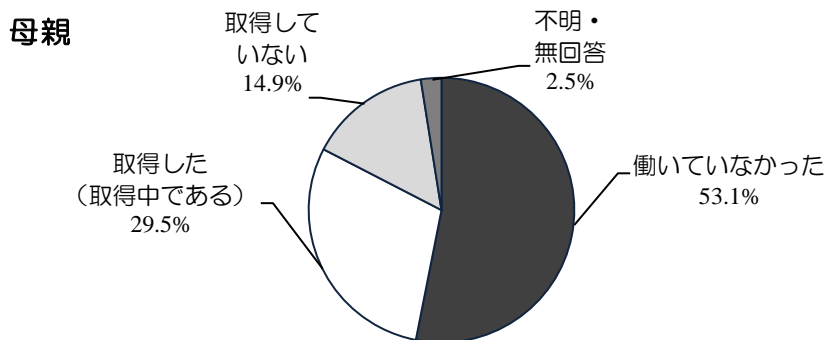


図 育児休業取得者 (N=241)

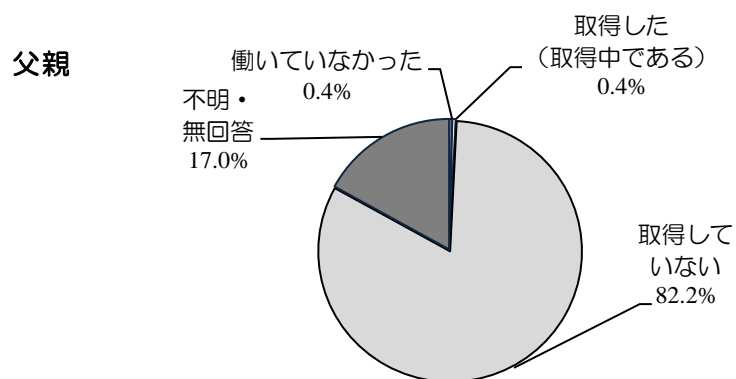


図 育児休業取得者 (N=241)

育児休業を取得していない理由（複数回答）

※ 「取得していない」と回答した方を集計

- 母親の理由は、「職場に育児休業をとりにくい雰囲気があった」、「収入減となり、経済的に苦しくなる」、「子育てや家事に専念するために退職した」、「職場に育児休業制度がなかった」（22.2%）が高くなっています。
- 父親の理由は、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」（35.4%）が最も高く、次いで「仕事が忙しかった」（29.8%）となっています。

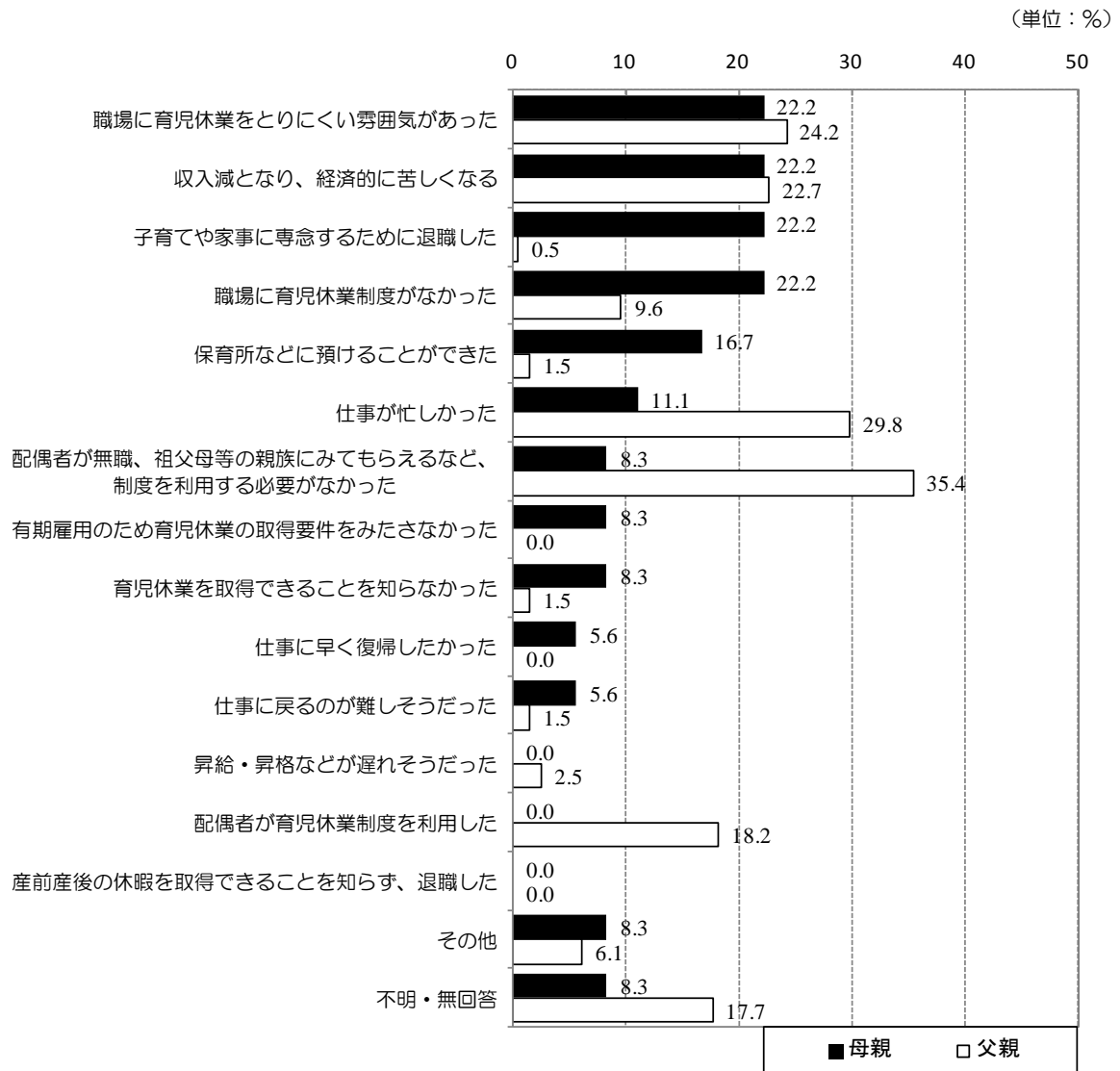


図 取得していない理由[母親 (N=36)、父親 (N=198)]

問 20-1 育児休業給付・保険料免除の認知（単数回答）

- 育児休業給付・保険料免除について、「いずれも知らなかった」が最も高く（36.1%）、次いで「いずれも知っていた」（32.0%）となっています。

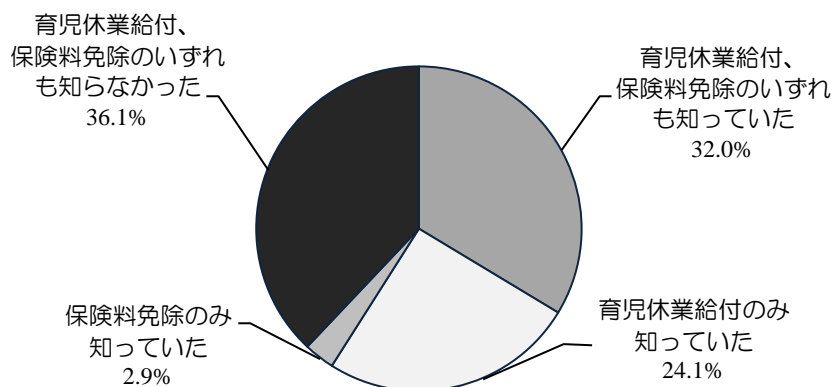


図 育児休業給付・保険料免除の認知（N=241）

問 20-2 育児休業取得後の職場復帰（単数回答）

※ 問 20 で「取得した」と回答した方を対象

- 育児休業取得後について、母親・父親ともに「復帰した」が最も高く、「母親」95.8%、「父親」100%となっています。

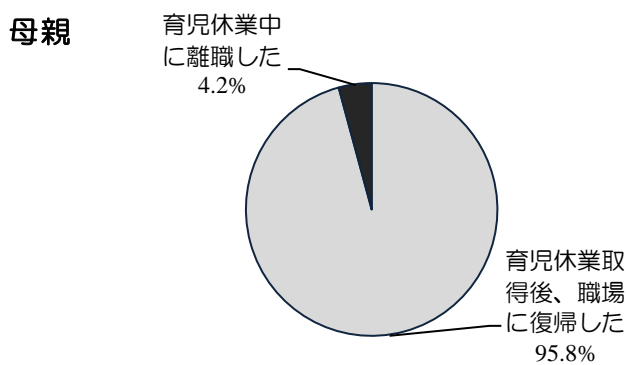


図 育児休業取得者（N=71）

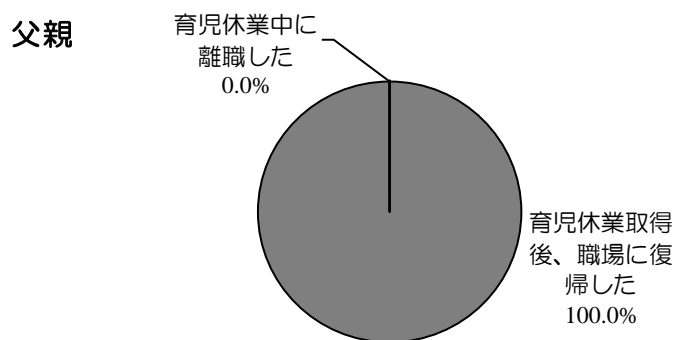


図 育児休業取得者（N=1）

問 20-3 復職時の子どもの月齢（数量回答）

※ 問 20-2 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方を対象
 実際の取得期間

- 母親の復職時における子どもの月齢は、「～0歳6ヶ月」が最も高く（25.0%）、次いで「1歳～1歳6か月」（19.1%）となっています。

実際の取得期間

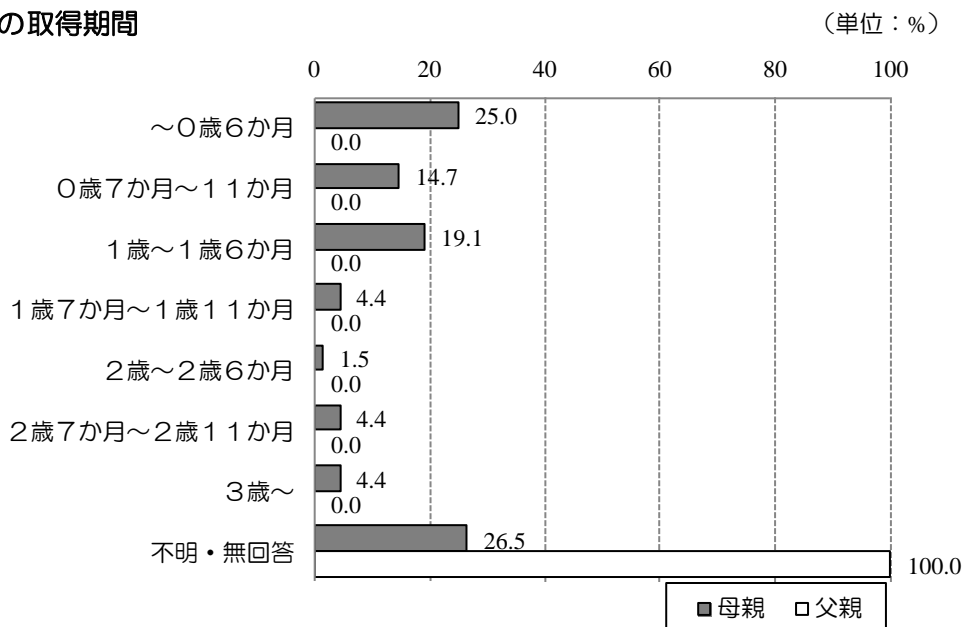


図 復職時の子どもの月齢 [母親 (N=68)、父親 (N=1)]

希望の取得期間

- 母親の復職時における子どもの月齢は、「3歳～」の希望が最も高く（19.1%）、次いで「1歳～1歳6か月」（17.6%）となっています。※父親は該当者がありません。

希望の取得期間

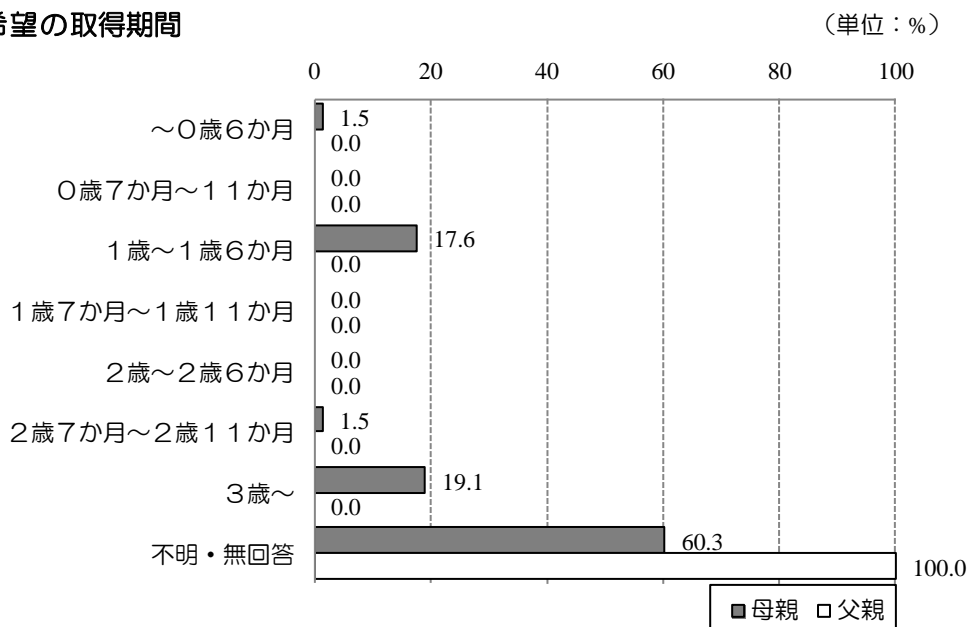


図 復職時の子どもの月齢 希望
 [母親 (N=68)、父親 (N=1)]

問 20-4 3歳まで休暇取得できる制度があった場合の希望（数量回答）

※ 問 20-2 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方を対象
希望取得期間

- 子どもが3歳まで休暇を取得できる場合、母親の希望は、「3歳以上」が最も高く（36.8%）、次いで「1歳～1歳6ヶ月」（16.2%）となっています。※父親は該当者がありません。

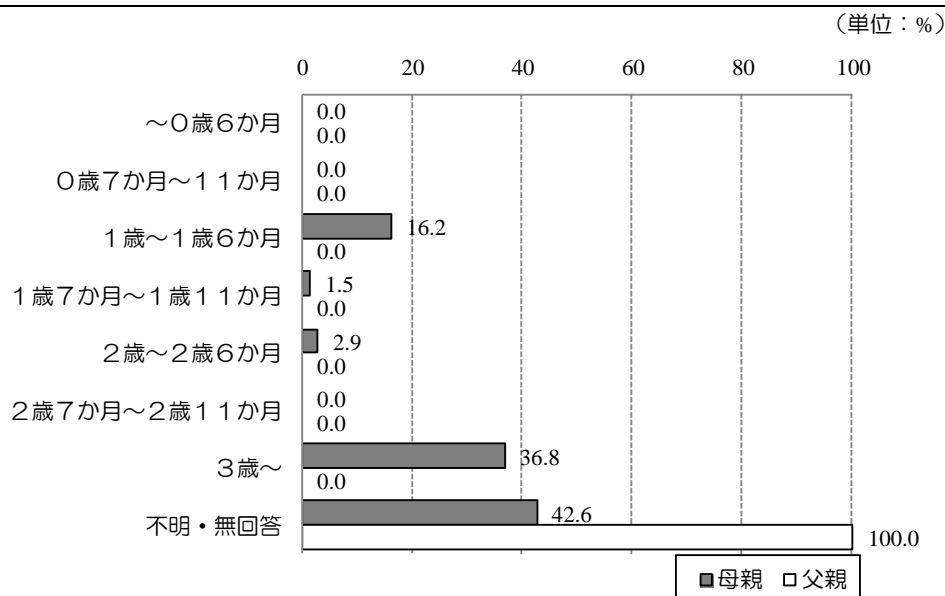


図 3歳まで休暇が取得できる場合の希望
[母親 (N=68)、父親 (N=1)]

問 20-5 希望の時期に職場復帰しなかった理由（複数回答）

※ 問 20-3 で実際の復帰と希望が異なる方を対象

(1) 希望より早い復帰の理由

- 母親の理由は、「経済的な理由」と「人事異動や業務の節目に合わせるため」が最も高く（31.3%）、次いで「希望する保育所に入るため」（25.0%）となっています。※父親は該当者がありません。

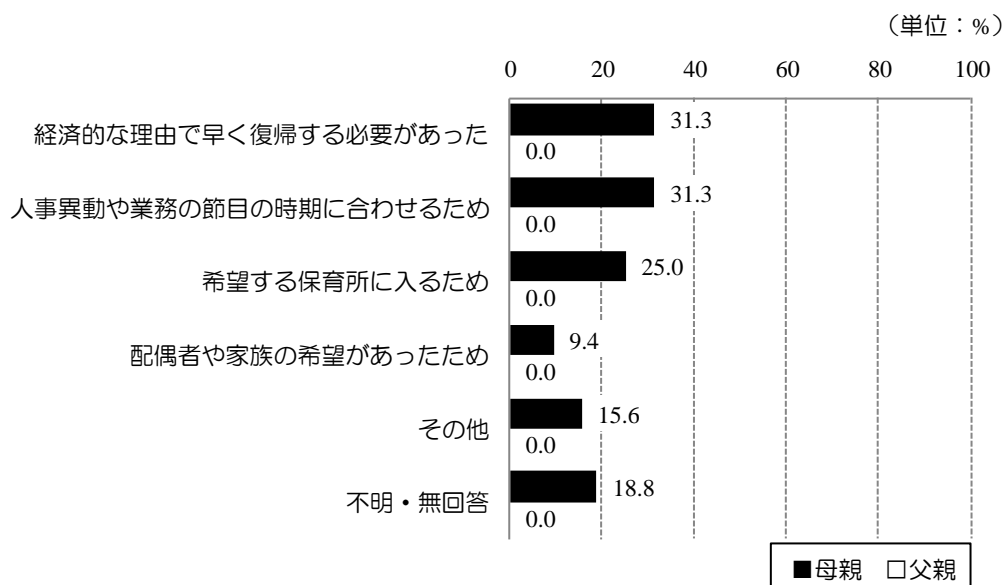


図 早い職場復帰の理由 [母親 (N=126)、父親 (N=4)]

(2) 希望より遅い復帰の理由

- 母親の理由は、「希望する保育所に入れなかったため」「子どもをみてくれる人がいなかったため」が最も高くなっています（50.0%）。※父親は該当者がありません。

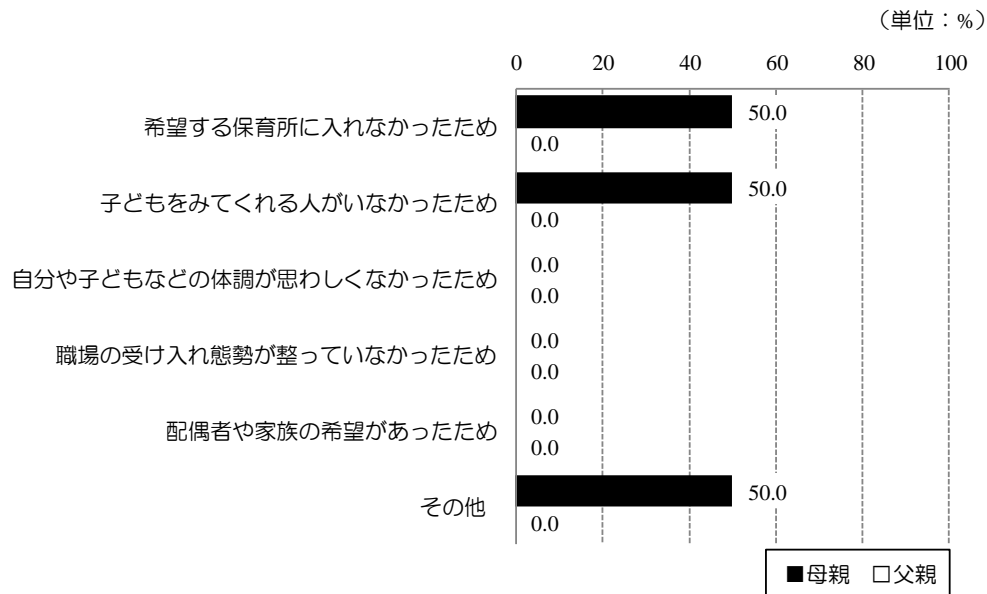


図 遅い職場復帰の理由[母親 (N=2)、父親 (N=0)]

問 20-6 短時間勤務制度の利用の有無（単数回答）

※ 問 20-2 で「育児休業取得後に、職場復帰した」と回答した方を対象

- 職場復帰時に「短時間勤務制度を利用した」は、母親で 17.6%となっています。※父親は該当者がありません。

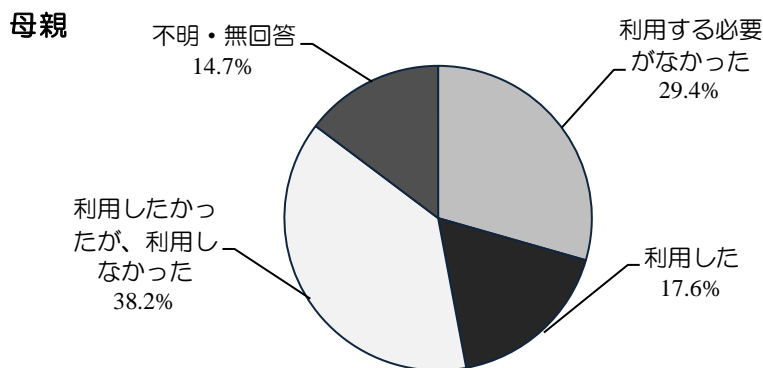


図 短時間勤務制度の利用の有無 (N=68)

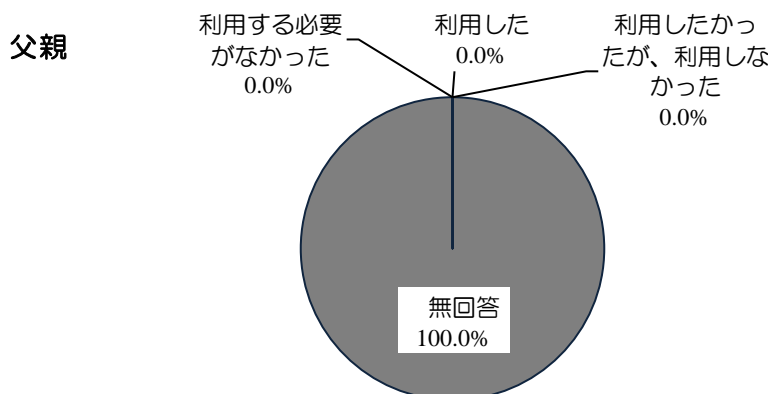


図 短時間勤務制度の利用の有無 (N=1)

問 20-7 短時間勤務制度を利用しなかった理由（複数回答）

※ 問 20-6 で「利用したかったが、利用しなかった（できなかった）」と回答した方を対象

- 職場復帰時に「短時間勤務制度を利用しなかった」理由は、母親では「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が最も高く（76.9%）、次いで「仕事が忙しかった」（50.0%）、「短時間勤務にすると給与が減額される」（30.8%）となっています。

※父親は該当者がありません。

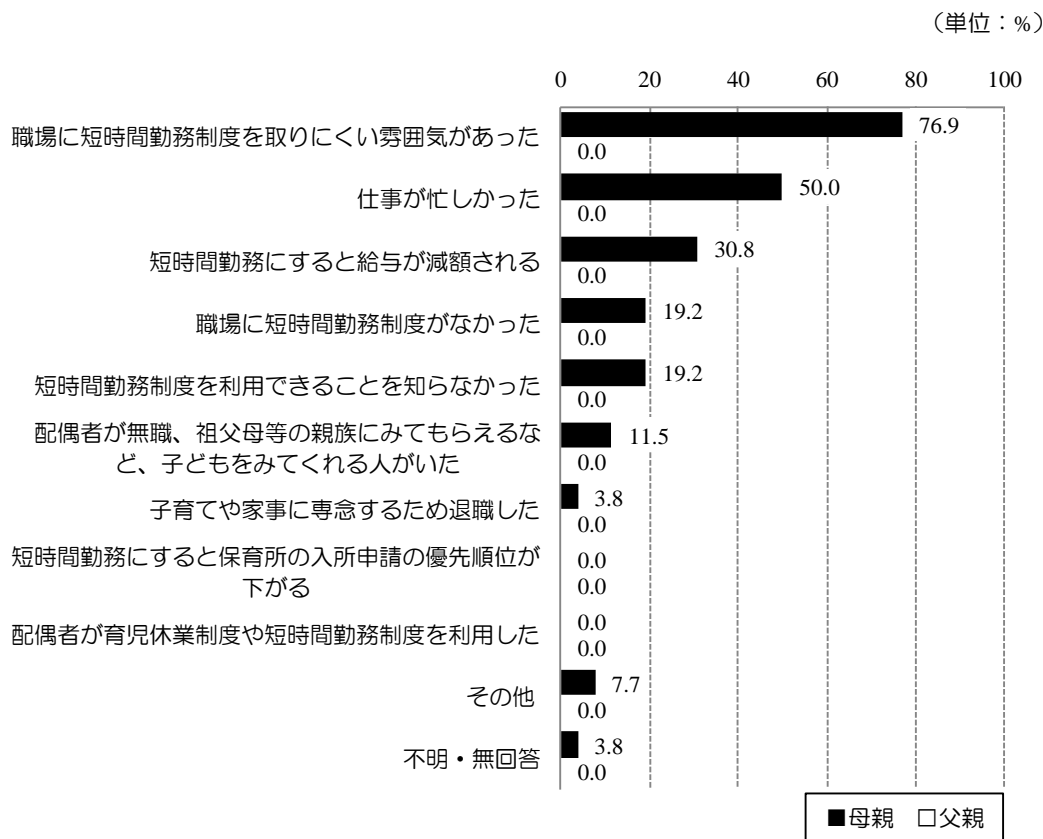


図 短時間勤務制度を利用しなかった理由
[母親 (N=26)、父親 (N=0)]

問 21 子育て環境や支援の満足度（単数回答）

※ 満足度が低い～満足度が高いを、1～5の5段階で評価

- 地域における子育て環境や支援の満足度は、「3 中くらい」が最も高く（48.5%）、次いで「2 やや低い」（28.6%）、「4 やや高い」（14.1%）となっています。

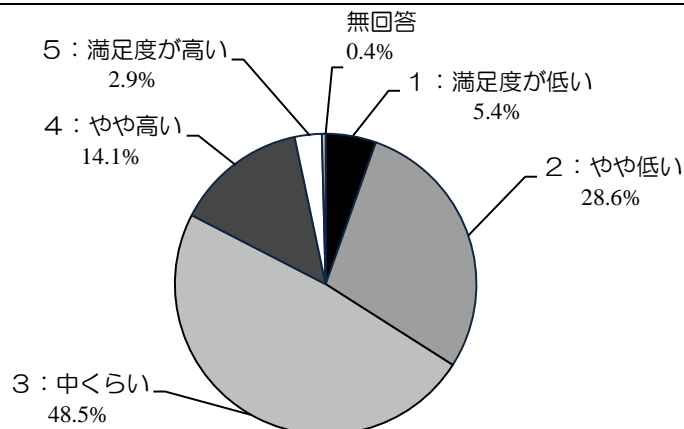


図 支援満足度 (N=241)

● 居住地区別の支援満足度は、西部地区が最も高くなっています（3.14ポイント）。

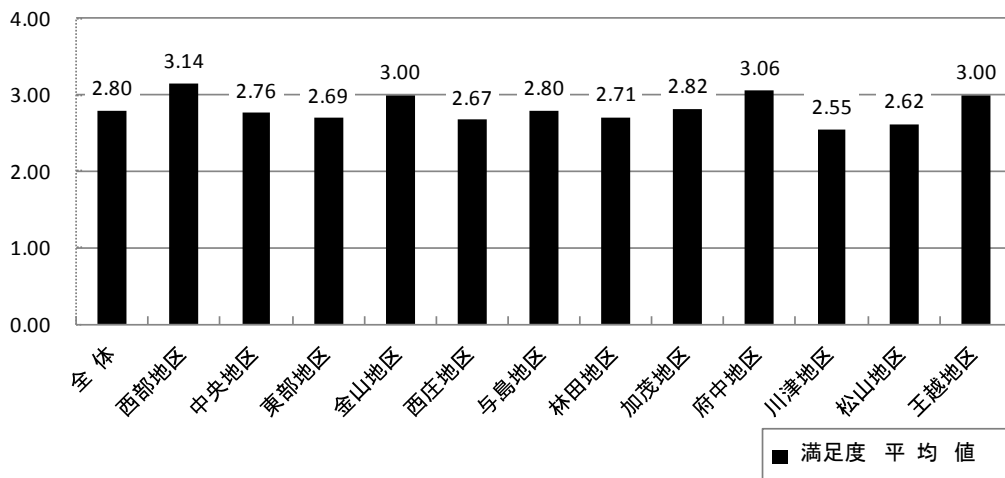
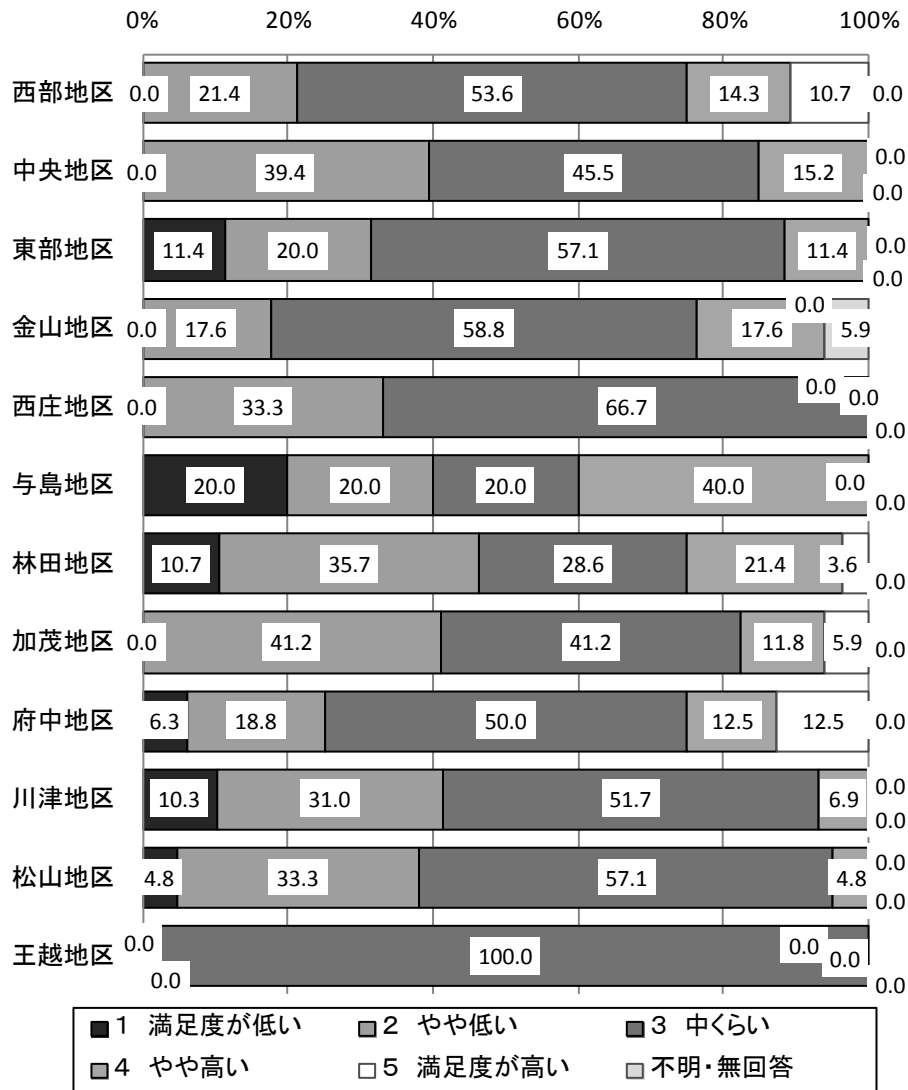


図 居住地区別満足度 (N=241)

問 22 子育て環境や支援に関する意見・要望（自由回答）

